

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-25))」

2. 日時：令和5年2月20日(月) 10時00分～10時50分
13時30分～18時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸
川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他20名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

北海道電力株式会社 原子燃料サイクルグループリーダー

三菱重工業株式会社 原子力セグメント プラント設計部

総合配置計画課長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認の対応状況について」

「申請対象設備の類型分類 第五条・第六条」

「申請対象設備の類型分類 第八条：竜巻」

「申請対象設備の類型分類 第三十二条・第三十三条・第三十六条」

「設工認申請におけるSA関連情報の相関整理」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 令和5年1月5日
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:00 | 録音を開始しました。 |
| 0:00:02 | 規制庁志水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。 |
| 0:00:17 | まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からカミデタジリタカナシフジワラシミズ。 |
| 0:00:27 | その他WEBからコサクオオカオオハシキシノタケダ。 |
| 0:00:33 | 以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割の説明と本日も説明予定の説明事項の内容、 |
| 0:00:45 | 事項について紹介した上で説明を開始してください。 |
| 0:00:52 | はい。日本原燃事務局中浜でございます。 |
| 0:00:55 | 元日本原燃側の出席者紹介いたします。 |
| 0:00:59 | まず、事務局より、サトウタカハシ。 |
| 0:01:04 | イシハラセガワ。 |
| 0:01:07 | フジノ。 |
| 0:01:08 | ナカハマ。 |
| 0:01:09 | 本日の案件でございますけど介護資料ですけれども、事務局に加えまして、タナカエビナ。 |
| 0:01:18 | サカモリタナカ。 |
| 0:01:21 | 二つ目の案件でございますけど、SAの進め方につきまして、ホリグチ、 |
| 0:01:28 | 以上参加者となります。 |
| 0:01:31 | それではまず会合資料の方からご説明を差し上げたいと思います。 |
| 0:01:39 | 日本原燃の藤野です。これは会合資料の方について説明させていただきます。 |
| 0:01:45 | 資料提出Bが本日の朝ですね提出させていただいたものになってございます。簡単に変更点だけ、主 |
| 0:01:52 | 説明したいと思います。 |
| 0:01:54 | 2ページ目のところなんですけども、別添123ですね、ちょっと今言ったのはさを出したんですが表のフォーマットをちょっと私の方の修正ミスでまだ修正し続けてますので、 |

| | |
|---------|--|
| 0:02:07 | 修正終わりましたらまた提出させていただきたいなというふうに考えております。 |
| 0:02:13 | それから資料 34 ページは特になくてですね 6 ページ目のところですね、表の注記、※1、※2 ですね、火災だったり溢水の扱いの話を、 |
| 0:02:23 | 書き直させていただいたのと、主な説明内容の矢じりの一つ目ですね、ここにも注記で既設設備のソジウムだったり、解析モデルの話を精査していく話を追加しております。 |
| 0:02:35 | 6 ページ目の方も、5 ページ目と同様に、主な説明内容のところの注釈を追加した程度の変更あります。 |
| 0:02:44 | それから七、八ページ目 9 ページ目、特になくて 10 ページ目、8 条の竜巻のところですね、こちらも表の下ですね注記のところ、36 条の扱いについて |
| 0:02:57 | 追加させていただいております。それから説明内容同じように工事の有無だったりの話を追加していると。 |
| 0:03:03 | 野中辰己です。 |
| 0:03:06 | それから 11 ページ目ですね、こちらの申請対象設備の分類について記載、それから括弧の中に具体的なものを示して形の変更しております。 |
| 0:03:18 | それから 12 ページ目、こちらはダイヤの一つ目のところで労働実績のない設計だったり第 1 回の採用を説明しますというようなところを追加させていただきます。 |
| 0:03:31 | から、13 ページ目は特に、何か大きい変更はなくて 14 ページ目ですね、こちらの |
| 0:03:38 | 8 条の設計方針に基づいて設計飛来物より大きい飛来物がという記載をですね、追加するとともに地震の変位ですね、こちらあるのでクリアランスを確保しますと。 |
| 0:03:52 | いう話を追加でべしお示しすると。 |
| 0:03:55 | いう感じです。 |
| 0:03:57 | それから最後、15 ページ目のところですが、こちらはですね一番下のダイヤのところで、申請書の不備ですね、これ次回の会合で説明しますという話を追加させてもらったというのが、主な変更点になります。 |
| 0:04:11 | 説明簡単ですけど以上になります。 |
| 0:04:14 | 規制庁清水ですとただいまの説明について規制庁側から確認でございますでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 0:04:22 | 規制庁谷です。確認ではないんですけど、11 ページの北換気等の等が、 |
| 0:04:31 | 対応が間違っていたら、限られたんです。 |
| 0:04:35 | 右下でございます北関東は東和筒でして主排気塔側の検討とか、そう。 はい。はい。逆じゃないですか。 |
| 0:04:45 | いや、もう 1 回確認 |
| 0:04:46 | させますけど。はい。この間確認したときはそうだったんですけどもう 一度だけすみません、中で確認します。 |
| 0:04:54 | はい。北上北本は実例は問題ありませんでしたっけ。糸賀堤です。はい 人はずっと思ってたんですけど。 |
| 0:05:06 | はい。藤赤城と阿久津の方で、集配布団後藤の方が鉄塔とか郷の方、ア ークてたので、すみません認識が違ったら申し訳ないんですけどどっちで したっけ。 |
| 0:05:26 | 米田です。 |
| 0:05:27 | そこは多分田尻さんの方がアピールでちょっと目のため確認とれており ます。はい。 |
| 0:05:33 | 規制庁土肥です本社の施設ですので、正しい名前を書いていただければ いい。 |
| 0:05:46 | 規制庁、志水ほか、介護資料回収で規制庁側から確認ございますでしょ うか。 |
| 0:05:54 | 藤。 |
| 0:05:56 | 補足です。介護資料というわけでもないんですけど先ほど藤野さんが、 資料修正別添まだって言ってなくて、ということでしたけど、 |
| 0:06:09 | その辺りで修正のポイントっていうのを、 |
| 0:06:13 | 理解をしてす、確実に作業する。 |
| 0:06:18 | それをチェックするっていう体制は一体、 |
| 0:06:21 | どうなってるんでしょうか。 |
| 0:06:27 | 日本原燃須賀です。ちょっと |
| 0:06:30 | 1 節も実は今、ちょっと |
| 0:06:33 | いただいた |
| 0:06:35 | なんていうのでリストの修正の趣旨のところ、ちょっと自分の解釈が 間違ってたところがあってですね設備の分類だったり繰り返し記載して いる情報っていうのを、 |

| | |
|---------|--|
| 0:06:46 | 削除して、お示しするっていう作業指示が的確に飛んでなかったというところが原因でしてそこは今タナカ進めて、関係者集まって共有して、作業の方を今やってるといような感じになってます。 |
| 0:07:01 | 申しわけませんでしょうか。 |
| 0:07:04 | はい。コサクです。 |
| 0:07:08 | こちらからの、 |
| 0:07:10 | コメント等正しくキャッチして作業を的確に進めるっていう、 |
| 0:07:15 | のを確実にするためにコミュニケーションをとるように、 |
| 0:07:20 | いろいろとこれまでやってきたわけで、 |
| 0:07:23 | まだそういう体制がしっかりできていない、それぞれの人今回だとフジノさんっていうことですけど、内容を把握できる。 |
| 0:07:33 | 訴状ができてないと、いうことで、 |
| 0:07:37 | ちょっとまた、体制というかですねそれぞれの力量アップということについても、少し検討が必要なのかなというふうに |
| 0:07:47 | てます。具体はこれからまたお話しいただければと思いますけど、とりあえずコメントして、 |
| 0:07:53 | 議長。 |
| 0:07:55 | 規制庁規制庁田井です。若干だけ下がったんで年のためなんですけど、僕が認識してる修正点は2ヶ所あって、今言われたように今ひとつの設備につき4ページぐらいあると評価されていて2ページ目1、2回目3回目4回出てくるところで頭の部分たくさん書いてても仕方ないので、 |
| 0:08:14 | 番号と機器バージョンだけが2ページ目から書かれますよっていうのと、あと一番最後に書かれているAからB4までの結果のところが一番最後になってしまってるので、 |
| 0:08:24 | これを最初に出てくる1ページ目の交通量の後ぐらいに挿入されるという認識なんですけどこの後者の方もやられてるとい認識でよかったですかね。 |
| 0:08:34 | これは日本原燃の藤田です。最後の今野郡のところもう1回教えてもらっていいですか。規制庁土岐です。もう1回だけ言いますね今、衛藤。 |
| 0:08:44 | 特定の設備が出てきたら、一番最後のところで条文が全部並んだ後2AとかBとかB2B3b 応答どこですよっていうのが一番最後、各設備ごとの最後のところに載ってると思うんですけど、 |
| 0:08:58 | これ、結果で、一応、最初に確認したい項目だから、これを最初に、 |

| | |
|---------|---|
| 0:09:06 | 設備の名前が出てきたタイミングで、設備名称とかそういうのが書かれた後に数量が書かれていて備考というふうになっているところのその間のところに挿入されるというふうに認識してるんですけどここは認識大丈夫でしょうかね。 |
| 0:09:17 | 日本原燃の藤尾です。はい。大丈夫です。 |
| 0:09:20 | 規制庁タジリず、今回は伝わったと信じますのでよろしくお願ひします。はい。ちょっとですな何回も繰り返している列の示し方のちょっと抜き抜き差しっていうですかね |
| 0:09:34 | うまくこう示していくのにちょっと苦労してるのもう少し時間もらって修正かけたものをお出ししたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。 |
| 0:09:42 | 規制庁田井です。正しく修正いただければそれでいいですよろしくお願ひします少なくとも今日中には提示されるものと認識してるのでよろしくお願ひします。 |
| 0:09:50 | 日本原燃藤尾です。よろしくお願ひします。コサクですけど、駄目ですけど今の抜き差しって何ですか。 |
| 0:09:57 | すいません。日本原燃の藤尾です。熱を |
| 0:10:01 | 何ですかね、列を表示させたり表示させなかったりみたいなのは結構エクセル上だと難しい形だけなので、はい間違いないようにしっかり対応します。 |
| 0:10:12 | そうです。それがわからなくて、 |
| 0:10:15 | 何かあれですか。 |
| 0:10:17 | 印字してこれまで提出される場所以外にもいろいろとすですが、ただそれを消したりしてるから、 |
| 0:10:26 | 実際の確定版としての作業が、 |
| 0:10:29 | 見た目以上にいろいろあるってことですか。いや、日本原燃志田です。単純な話でして、エクセルで今左側列を固定して、それぞれ以下繰り返してという設定をしているので、 |
| 0:10:42 | 単純にエクセル力でそれぞれ張りつけていけば、答えは解消します。はい。コサクです。それすらもちょっとどうかと思ってて、固定を固定の位置を変えりゃいいだけなんじゃないんですか。 |

| | |
|---------|--|
| 0:10:55 | はい。日本原電車でございます。はい。おっしゃっていただいておりますやり方そうやってるって聞いたんですけど単純に最初の方の4、三行ぐらいだけ固定しときゃいいんじゃないかなと私も思います。はい。 |
| 0:11:08 | はい。補足です。その上で一番右の列っていうのを、適切な場所に移すと。 |
| 0:11:14 | ということでカタームペースだけで全然問題はないはずで、 |
| 0:11:19 | 作業は一瞬だと思ってたんですよ。 |
| 0:11:24 | 大丈夫ですかね筐体です。そういった意味でいうと自分の言い方が混乱を招いてる気がするって一緒なんすけど、番号から機器名称までを固定軸にして、そそこの時点で固定して最初のページは数量をAからBからBの判定のやつ、ピコをあと条文っていうふうに並んで、 |
| 0:11:42 | 2ページ目からは、番号から機器名称だけが毎回乗っかっているっていうふうに思えばいいですかね、今現在の作業。 |
| 0:11:50 | 日本原燃の藤です。ちょっと2ページ目以降の何ですかね |
| 0:11:56 | 範囲が変わってしまってる場所の作業にちょっと付与してるだけでは、しっかり対応したいと思います。支店長と技術屋で自分の言い方がよくなって番号ってやつと、機器名称ってところでやろうとすると、 |
| 0:12:09 | 接続部分とか、設備区分とかのところを削除するのに手間かかってるっちゅう話をされてますかねそれだったら、付けろ村にかけるよりは、番号から機器名称っていうところを固定して、 |
| 0:12:21 | そっから先の固定を配慮して、数量は最初のページだけ数量をAからB4の判定備考というふうに続ければ、手間がかからないんじゃないかっちゅう話しかミスしないんじゃないかっちゅう話をしてるんですけど。 |
| 0:12:33 | わかります。ちょっとそのようにやらせてもらいますちょっとそこは苦労したところだったので、そのように対応させます。はい。 |
| 0:12:43 | コサクです。今みたいな話をですね、言われたからこうしなきゃとかっていうので無理くり作業をするそれによって時間を要す。 |
| 0:12:51 | 作業ミスをお犯すみたいなのがもったいないとずっと申し上げていて、 |
| 0:12:56 | 今の話をしているように、趣旨としたらこういうことだから、こう作業すれば大丈夫でしょうかというようなことを聞けばいい。 |
| 0:13:06 | いうのをやらずに、なぜか進んでしまうというのがよくない。 |
| 0:13:11 | そういうところのコミュニケーションをとるのに、今ヒアリングをやっているということで、それをちゃんと言ってこないという事態を私は今 |

| | |
|---------|---|
| | まで一応やることは、そんなに混乱せずに行けるようになったと思っていいですか。 |
| 0:13:28 | ちなみに、今野で言うと、表の順番としてはどうなったっていう理解でいるかもう一度言ってもらっていいですか。 |
| 0:13:37 | 日本原燃の藤野です。1枚目のところに番号施設区分設備区分、機器名称数量、そのあとにAからB4までの、 |
| 0:13:47 | 識別で備考という形。 |
| 0:13:52 | になってですね2ページ目以降は |
| 0:13:56 | 同じように、数量までが入って、あと、 |
| 0:14:00 | 序文が繰り返されていくっていう、有数のスタイルになるというふうに認識してます。 |
| 0:14:08 | うん。 |
| 0:14:11 | 知覧。古作です。備考ってそもそも何が書いてあったんでしょう。 |
| 0:14:26 | あ、 |
| 0:14:35 | わかりました。 |
| 0:14:41 | 海野藤尾です。ちょっと待ってますあんまりたくさん。 |
| 0:14:46 | 場合はない。 |
| 0:14:51 | うん年タナカです。備考欄の方で記載してたのが |
| 0:14:55 | 竜巻とかの工事で、扉を交換する建屋があって何ヶ所扉を交換したか、その箇所数と、とかを表示するために備考欄というのを設けております。 |
| 0:15:07 | コサクですわかりました。 |
| 0:15:09 | それ、 |
| 0:15:12 | 先ほどの話だと、結局、作業が大変だから区分について省略スルーのはやめましょうという感じでしたけど、 |
| 0:15:23 | 例えば、 |
| 0:15:26 | 機器名称、数量を、 |
| 0:15:30 | 左に持って行って、そのあと区分、 |
| 0:15:34 | を書くと。 |
| 0:15:37 | ということでは駄目ですかね。 |
| 0:15:43 | 日本原燃の布施です。それもちょっと案として出て行ったんですけど分類が最初に細かくて、 |
| 0:15:50 | 大きく何ていうかね施設区分設備区分という記載になっている。奥。 |

| | |
|---------|---|
| 0:15:56 | どうかなっていう話があって今の中身にしてみました。保坂さんおっしゃるように、致命傷数量を頭に持っていけば今みたいな対応できると思います。はい。 |
| 0:16:07 | はい。手間でなければそうしていただけると。 |
| 0:16:12 | そのあとのページが非常に見やすくなるので、わかりました今のアドバイスちょっと踏まえて、そのまま我々も作業しやすいので、はい、そうさせていただきます。 |
| 0:16:22 | はい。よろしくお願いします。 |
| 0:16:26 | 安保コサクです以上です。 |
| 0:16:28 | 規制庁谷です。本当の目のための確認なんですけど、最初のページか、番号を機器名称をしてつくる設備区分数量を、 |
| 0:16:39 | タービンを復興店長分がなんていって、次のページから、要は番号と機器名称のところだけがいつも乗っかっていって、あと条文が続くってことですよね。 |
| 0:16:51 | 日本原燃の藤江です。はい。はい。 |
| 0:16:53 | はい。清町長よろしくお願いします。 |
| 0:16:56 | コサクです。私は数量は前の方で行ったんですけど、 |
| 0:17:00 | はい。後でいいですか。 |
| 0:17:03 | 規制庁タジリ手数料は、これ最初のページ名称と数量前に出してって私は言ったんですけど、数量すいません。失礼しました。なんでじゃすいません認識今わかりました。 |
| 0:17:15 | というわけでもう1回繰り返しますねごめんなさい。 |
| 0:17:17 | 何で番号か記名シオン数量、施設区分設備区分、そのあと2、 |
| 0:17:25 | Aから見ようか。それからB4日こで次のページから、番号。 |
| 0:17:32 | 機器名刺を数量、条文、 |
| 0:17:35 | ていうことで認識みなあたりですかね。 |
| 0:17:38 | 古作です。工事の種別的な、ちょっと字が小さくて読めないんですけど、 |
| 0:17:46 | 二つ列が、 |
| 0:17:49 | 耐震だと、工事有無、工事内容というのが入っていて、それはその場所で残しておくということでもいいとは思いますが。 |
| 0:18:04 | 日本原燃、はい。わかりました。 |

| | |
|---------|---|
| 0:18:07 | はい。後の分類については備考の前ということでもいいですかね。そうです。そうです。 |
| 0:18:13 | はい。大丈夫です以上です。 |
| 0:18:16 | はい、古作です。以上です。 |
| 0:18:21 | 清長シミズほか会合資料関係で、規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 0:18:29 | はい。 |
| 0:18:30 | 藤。 |
| 0:18:31 | なければ念のため減免から振り返りをお願いします。 |
| 0:18:39 | 下のビジネス、振り返りですけど |
| 0:18:44 | 大きくリストのところですね、 |
| 0:18:47 | 上を |
| 0:18:50 | 並び替えを実施して番号機器名称数量、設備区分、 |
| 0:18:55 | 接遇設備区分、 |
| 0:18:57 | この後にAからBを載せずに、備考という並びにして22ページ目以降は番号として作るならさ、名称数量が並ぶようにして表示していくと。 |
| 0:19:08 | 整理し直したいというふうに考えております。以上です。 |
| 0:19:15 | はい。規制庁清水です。修正版をまた急に提出していただければと思います。 |
| 0:19:22 | 以上です。はい、了解しました。はい。 |
| 0:19:26 | 続いて据えの進め方について原燃側から説明をお願いします。 |
| 0:19:33 | 原電の堀口です。提出が間に合わなくてすみません場面共有で説明をさせていただきますまた画面共有したものに関して |
| 0:19:42 | 壊死手続き、 |
| 0:19:45 | いいですか、提出を行った新保れから手続きを進めて提出するようにします。 |
| 0:19:52 | 画面、1ページ目。 |
| 0:19:55 | ですけど、機軸スケジュールとしてはすみませんコサクです。 |
| 0:19:59 | 今の説明が前回は混乱を招いていて、 |
| 0:20:03 | 後で提出しますと言われるんですけど、これはどの資料の何ですかというのが明確じゃなくて、変に浮いた資料を毎回ポロポロポロポロ出されると困るんですよ。 |
| 0:20:15 | どうせいです。 |

| | |
|---------|---|
| 0:20:19 | はい。そん原電の瀬川です。すいません。先週の金曜日、申し訳ございませんでした。この資料ですね4段票というキーワード、これが軸になって、説明を展開していきたいという趣旨でしたので、 |
| 0:20:33 | 十時17の資料の方にですね、進め方の考え方という項目一つ起こしてですね、収めたいと考えてございます。以上です。 |
| 0:20:47 | はい。補足です。わかりました。最初にそういう旨を説明していただかないとヒアリングが成り立たないので、今後よろしくお願ひしますで進めてください。 |
| 0:20:57 | 申し訳ありませんでした。はい。 |
| 0:20:58 | わかりました。 |
| 0:21:01 | 説明を続けます。基軸スケジュールとしまして、 |
| 0:21:07 | Sカクウ外部要因へのS A Sの設計方針基本設計方針、健全性説明書、あと重大事故と対設備の設計方針っていう健全性説明書の子添付、 |
| 0:21:20 | そして設計基準側の設計方針を比較表対比表として整備しまして、S A側、D B側双方からの設計方針の妥当性を確認をしたいと考えてます。 |
| 0:21:33 | そして、1ページ目の真ん中よりちょっと上の方で、し、別紙4っていう、形式対比表を殊、十時17を使いまして、 |
| 0:21:45 | 並べまして、まずは竜巻から2月24日毎週木曜日、ちょっと今週は木曜日が休みだったので24日の金曜日になる。 |
| 0:21:57 | ありますが、毎週木曜日にそれぞれ対比表を提出してその翌週にヒアリングで説明をしたいと考えています。 |
| 0:22:05 | 2月24日に竜巻、3月2日に溢水、3月9日に外部火災のそれぞれ、すみません、古作です。ごめんなさい書いてある内容一つ一つ言う必要はなくて、 |
| 0:22:18 | どういふことを考えてるかを簡単に言っただけであればいいんですけど、わかりました。それでですね、大枠として4段票つん、2、4Wとか4段票を作って、 |
| 0:22:30 | 対応関係整理をし、 |
| 0:22:32 | その整理をした結果何かっていうと、 |
| 0:22:36 | まとめて説明できるもの、プラスアルファとして、スティールのことを説明するというこの説明。 |

| | |
|---------|--|
| 0:22:48 | S E 本部江藤と関連性をはっきりさせて、どの範囲の説明がされているのかということがわかるようにしていくということかと思うんですけど、趣旨はそういうことでいいですかね。 |
| 0:23:03 | 日本原燃の堀口です。おっしゃる通りです。歯医者里見です。はい。コサクです。その上で、その大臣なのか |
| 0:23:11 | 嘘。 |
| 0:23:12 | 3行目に書いてるところでいうと健全性説明書括弧というのと、DBの比較ということになるんですけど、 |
| 0:23:21 | そもそもDBのヒアリングとして、ヒアリングじゃないや資料として、 |
| 0:23:27 | 対応できるものっていうのが整備されているのか否かというところなんですけど。 |
| 0:23:34 | これは第1回で出てる範囲で大丈夫ってことなのか。 |
| 0:23:39 | まだ出てなくてこれからDBとしてもヒアリングをしなければいけないところなのかはどちらでしょうか。 |
| 0:23:52 | 本江の瀬川です。デービー側の大きなココスというかですね、骨組みはもう第1回できていて、そこに第2回の登場人物がさらに肉付けされていくというのがデービー側のステータスとっております。 |
| 0:24:09 | ですので、第2回の肉付けしてる部分の妥当性みたいなところ、水ともですね、 |
| 0:24:16 | 私はできるんじゃないかなと思っておったところですが、 |
| 0:24:21 | どうも日本エリアでございます。そういう意味でいくと竜巻と外部火災は第1回で、別紙の共同評価とか、火災の影響評価までやってますので、 |
| 0:24:34 | DB側の路線は第1回で確認させていただいていると。 |
| 0:24:38 | 水がですね別紙4-2ぐらいまでしか、第1回できてないので、SAの設定とかあと溢水評価そのものですね、が、 |
| 0:24:49 | 第2回で初出しなのでそれはDB側としても話を進めないと、ジョイントもできないかなと思ってました。以上です。 |
| 0:24:58 | はい、古作です。そうだと思っていまして、そうすると溢水でこのタイミングでどこまでやってどうやっていくかっていうのがよくわかんなかったんですけどその戦略はありますか。 |

| | |
|---------|--|
| 0:25:11 | 日本原燃の瀬川です溢水の方もいろいろご指摘受けていて、きちんと今一度ですね、今一度っていう言い方もおかしいのかもしれませんが上流からしっかり、 |
| 0:25:23 | もう一度、順を追って説明していかなきゃいけないステータスだという認識でございます。そこの中にですね、S Aの話をどう取り込んでいくかといったところもあわせて一緒にやらせていただけると。 |
| 0:25:37 | いいかなと思っていたところですよ。はい。以上です。 |
| 0:25:43 | 補足です。今日、午後にヒアリングがあると思いますけど、 |
| 0:25:49 | そこでの話を踏まえて、この3月2日どこまでできるのかその後どうしていくのかっていう話をするってことになるんですかね。 |
| 0:26:01 | 日本原燃のセガワですはいそのようになろうかと思っております。 |
| 0:26:06 | 古作です。館李さんなり、シミズさんなり何かありますか。 |
| 0:26:13 | 京谷です。 |
| 0:26:15 | 藤さん、後で岡野担当チーフからも言ってもらいますけど今日やろうとしているヒアリングっていうのが三つ前回1回溢水に関してヒアリングしてるんですけど、 |
| 0:26:24 | とりあえず1回位、絶対飾って見ないとそもそもどこまでちゃんとやれてるのかもわからないからやりましょうぐらいのレベルでやっているので、ちょっと今日の溢水のヒアリングでどこまで話が整理始まっているかかっていうところを次第なところもあるかなというふうには思ってるんですけど。 |
| 0:26:38 | 3月2日というふうに書かれてはいるけど実際1週間しかない、2週間10日ぐらいから4日ぐらいしかないでメールなので、無理にスケジュールありきでやられていただければ、それ以上のコメントは自分からいいです。清水さん他に何かあればお願いします。 |
| 0:26:54 | 一応シミズです。私はまだ溢水は今日のヒアリングで1から順に確認していくっていう段階だと思ってて、そもそも、 |
| 0:27:03 | D B側をまずは等、 |
| 0:27:06 | 重たい対象の選定評価対象の選定っていうところから順にやっていくって言うてる中で、 |
| 0:27:12 | D B側もちゃんと整理できていないっていう状態で、サトウS、 |
| 0:27:19 | 今溢水が出てる申請書の別紙とかを読んでも、S Aのことがほとんど書かれてない。 |

| | |
|---------|--|
| 0:27:27 | そういう状態なので、 |
| 0:27:30 | 耳が一も丸入口から整理をするところで、2月末までかかりますって言うてるので、 |
| 0:27:39 | ちょっと、 |
| 0:27:41 | 今日のヒアリングでの、 |
| 0:27:44 | 確認も踏まえてですけど、 |
| 0:27:46 | ちょっと地味。 |
| 0:27:48 | 側がまず入口からできてない中でS Aも、 |
| 0:27:53 | 全体入れてくのも、ちょっと確認がどこまでできるかわからないので、 |
| 0:27:58 | 今日のヒアリングを踏まえて検討していければと思います。よろしくお願ひします。 |
| 0:28:05 | 日本原燃の瀬川ですすみません私がちょっと前のめりになり過ぎてたのがちょっと溢水、溢水がこの日に置いたのはちょっと私の意向だったんですけれども、 |
| 0:28:15 | 前回ヒアリングからもう1週間以上経って、あのときにですね1.2 S s 数という、そういうS A側からのインプット、これをどう椅子デービー側の書類として受けるんだといったような宿題をもらっていて、 |
| 0:28:31 | そこに対する回答を早く示さなきゃいけないというちょっと思いがあつてですね、3月2日という、 |
| 0:28:38 | 医師を置いてしまつてたんですけれども、今、田尻さん清水さんがおっしゃられた通りですね。 |
| 0:28:43 | ベデービーそのものたてつけてどうすんだといった部分のそもそものところもありますので、S Aとしては溢水のその書類の流れといったところをきちんと横目に見ていつでも出せるように、 |
| 0:28:56 | タイムリーに生米しておくといった対応というふうに認識いたしました以上です。 |
| 0:29:04 | コサクです。別紙4と言つてもう枝番がいっぱいあるわけで、 |
| 0:29:10 | そのうちこの部分は最低限今のその1.2 S sとの関係から関係性を示しておく必要があるということであれば、 |
| 0:29:19 | 話を聞いておく必要もあろうかとは思ふんですけど、そのあたりがわかるようにしていかないと、認識共有はできないかなと思います。 |
| 0:29:30 | 今日のヒアリングを踏まえてまた改めてその考えを示していただければと思います。 |

| | |
|---------|---|
| 0:29:36 | それで |
| 0:29:39 | 竜巻溢水外部火災を優先。 |
| 0:29:42 | ということなんですけど今の話なんかも踏まえると何でそれが優先なのか。 |
| 0:29:48 | 内部火災なんかは比較的その登場人物は同じでありつつも、やりやすいような話だと思うんですけど、なぜこの優先になったんでしょうか。 |
| 0:29:59 | 日本原燃の堀口です。厚真キーに関しては |
| 0:30:06 | 1.2 S s の華 C が、直接 D B 側に書かのかからない部分があるので、説明として、最初に入口を固めるにはいいのかなというふうなことで、竜巻を最初に置いています。 |
| 0:30:20 | で、2 番目の溢水に関しては先ほど瀬川からありましたそして 3 番目に外部火災があるのについても、 |
| 0:30:28 | ノー。 |
| 0:30:29 | I T S S 絡みが入らないので、そういう点で、説明として、入りやすいのではないかということで、外部火災をす、最初の方におきました。以上です。 |
| 0:30:43 | コサクですちょっと私の理解と根本的にずれているような気がしてて、1.2 S s があるものは早くしたいんじゃないかなって思ってたんですけど、 |
| 0:30:55 | 上野セガワです。1.2 が絡むのは、なるべく早くしたいんですが、 |
| 0:31:00 | 実力的に無理だろうというのでワンテンポ暮らしたのが今のスケジュールでした。以上です。 |
| 0:31:08 | コサクです。 |
| 0:31:11 | 結局、一斉についてはその D B との関係もあって、先走ることもできずというので時期を、 |
| 0:31:20 | 見計らいつつということであるとは理解をしましたが、そうすると、竜巻外部火災、そのあと、 |
| 0:31:31 | 火山内部火災という順番は全くわからなくて、 |
| 0:31:36 | と言いつつ、竜巻の方は小木場空装置とか、耐震強度をいろいろ検討しなきゃいけないパーツがあるので先行したいという、 |
| 0:31:47 | ことじゃないかなと思ってたんですけどそういう説明にもなってないし、 |
| 0:31:52 | D に対して外部火災は何かそういう、 |

| | |
|---------|---|
| 0:31:55 | 先行したい理由があったってっていうとあまり思いつかないしということでもよくわからないんですけど。 |
| 0:32:03 | 日本の須川です。コサクさんに指摘された通りですね、三つ目の外部火災からはあまり戦略が、 |
| 0:32:11 | なかったのが正直なところですよ出せそうなものといったところで、本当であれば関連する全部出したいところなんですけど、実力的になかなかそこは多分無理だろうなといったところで、 |
| 0:32:24 | じゃあ何だというので選定したのがこの三つだったというのが実態でございます。 |
| 0:32:33 | はい。すコサクです。そうしましたらまずは今日のヒアリングを踏まえて溢水をどうしていくのかお話をさせていただいて、 |
| 0:32:43 | 竜巻は私の認識だと優先すべきものがあるんだろうと思いますから、その意識をちゃんと県内整理をした上で提示して説明に当たっていただきたいと。 |
| 0:32:56 | あと、外部火災とかは、竜巻対応での、 |
| 0:33:03 | 飛来物防護ネットとかですけど、その外部火災、或いは火山の対応と、 |
| 0:33:10 | ということ等ものとしては一体となって話をすることがいくつかあると思いますので、 |
| 0:33:17 | その点では、なるべく合わせてやりたいということかなとは思いつつも、そうすると外部火災と火山分ける必要があるのかという気もするので、そういうこと内容も含めて整理をして説明いただければと思います |
| 0:33:32 | この点でいうと共通 12 の方で、構造概要説明されるというのと、 |
| 0:33:39 | なるべく足並みをそろえて対応してもらいたいなと思いますのでよろしくをお願いします。 |
| 0:33:47 | 上野ほりうちです。了解しました。 |
| 0:34:02 | 規制庁シミズです。とうぎんがもともと説明してた土地だった気もする特に資料の説明は、 |
| 0:34:11 | 同じで、 |
| 0:34:13 | 他こちらからの確認に進めばよろしいでしょうか。 |
| 0:34:17 | コサクですけど、このこの s t a g e の下側、従来話をしてたことと大きく変わらないと思うんですけど、原燃として何か変更してるとかっていうのありますか。 |

| | |
|---------|---|
| 0:34:30 | 日本原燃の堀井ホリグチです大きく変更してるところはありません個別補足説明資料として許可の整理資料としてつけていたものを個別で出せるものを、 |
| 0:34:41 | 順番に出していくってことを追加で説明する以外には、新しいことはありません。以上です。 |
| 0:34:48 | はいコサクですありがとうございます。高見さん何か、この辺りで確認しておきたいことってあります。 |
| 0:34:54 | はい高橋です。そうですね。 |
| 0:34:58 | まず、 |
| 0:34:59 | 念のためですけども、まずは2月20日のこの別紙4、 |
| 0:35:04 | 蒸発乾固の別紙4別括弧別段評価をやるというと、やつはこれ十時17につけるサンプルの別紙4っていう理解でいいですね実施資本全体じゃなくて、 |
| 0:35:18 | 日本原燃のホリグチでおっしゃる通りサンプルとしてのものになります。 |
| 0:35:22 | はい。それがそれで、3月3日ってなってるのは、そのサンプルの反映版なのかそれとも別紙の全体の2番のかってところそこはどうなんでしょうか。 |
| 0:35:36 | 日本原燃の堀口です。いただいたコメントを反映した全体版を考えておりました。以上です。 |
| 0:35:42 | はい、規制庁タカハシそれであれば、以前確か確か宗に、2が今、ちょっと別紙1の方に行きますけど、2月24日のところで、00資料なんか一式 |
| 0:35:53 | っていう話だったかと思ったんですけども、この表で、表っていう数で見ると、24日別紙一位の、何ていうかこれまでの資料のコメント反映版っていうような、 |
| 0:36:05 | 書き方のように見えるんですがそのような理解なんでしょうか。 |
| 0:36:15 | はい。日本原燃の瀬川です。思惑よりも、若と当時見込んでた思惑よりも心進んできてないというのが実態でして、 |
| 0:36:26 | まず別紙4の上の通りですね、もう1回トライして、3月3日に最終版00資料の更新という形で出させていただこうといったところを踏まえますと、 |

| | |
|---------|---|
| 0:36:37 | ここの 24 日というのもですね、それに先立って意識出すってことはできなくて、まず前回もらってた別紙 1 のコメント回答をまずやって、その内容を 7 日に取り込んでお出しするというので、 |
| 0:36:51 | 実態別紙 4 と別紙 1 が最新化されるのが、3 日 7 日というタイミングで二段階で、 |
| 0:36:59 | 二段階で出す必要があるのかってのありますが、二段階で出すということをご予定してございました以上です。 |
| 0:37:06 | はい。規制庁高橋です。じゃわかりましたと当面だから 1A、確認するのは別紙 14 ということで、その反映を踏まえて全体がそのあたり出てくると。 |
| 0:37:16 | 有利、今スケジュール感で考えているということ、理解でいいと思いますがそれそういう考え方でよろしいですか。 |
| 0:37:26 | 日本原燃の保育施設は、その理解でいいです。 |
| 0:37:29 | 規制庁の藤原です。一旦一式出すって言ったのは冷却機能だけではなくて、水素なり水供給とかの話もあったかと思っています。 |
| 0:37:40 | あと十時ずれとかっていう話もどこかで入ってきたような気がするんですけど、その辺の一覧ってどうなってますか。 |
| 0:37:50 | はい、日本へのセガワですちょっと資料中表現しきれてございませんし、またちょっと表現もちょっと曖昧で、00 なのか、補足でやるつもりなのかといったところもわからないのでそこは明確にさせていただきます。 |
| 0:38:04 | 今 36 条の十時 00 の方ですね、こちらは対応のメインが上を書いて別紙 4 の断片を整理していくといったところが、 |
| 0:38:15 | 基軸になりますので、 |
| 0:38:18 | 先日 1 回誤記修正等の綺麗化をさせていただいておりますのでそこに上書きする形で別紙 4 を拡充していくという対応を、 |
| 0:38:29 | 上のスケジュールの通りですね、順を追ってやっていきたいと考えてございました。以上です。 |
| 0:38:41 | コサクです。 |
| 0:38:43 | 藤原さんが発言してるかもしれないですけどちょっと聞こえないので私から言ってしまうと、10G の方、別紙 4 はこれで進むのかもしれないですけどその大本の別紙 1 をちゃんとしないと最終確定できないので、 |

| | |
|---------|--|
| 0:38:58 | それはスケジュールに入れていただく必要があらうかと思いますがいかがですか。 |
| 0:39:07 | はい。日本原電の瀬川です。 |
| 0:39:10 | はい。前回までのヒアリングで別紙1に対するご指摘いただいておりますので、そこを綺麗化したといったところもあってようやくリスタート切れる状態になりましたので、 |
| 0:39:24 | まずその出した00資料、先日提出は00資料を基にですね別紙1の |
| 0:39:30 | ヒアリングというのを設定申し込みさせていただきたいと思います。以上です。 |
| 0:39:41 | はい。瀬川さん。 |
| 0:39:44 | 千原ですけど、別紙決定。 |
| 0:39:48 | 他の条文は出さない。 |
| 0:39:50 | 今まで3点セットだって言ってんだよ。 |
| 0:39:55 | 他の条文というのは、今言われているのが今皆さんは蒸発乾固と水素と水供給やりますって言って、突然ここで蒸発乾固だけの話をされて、 |
| 0:40:07 | 他は一体どこ行ったんだってというのがさっきの藤原さんの指摘のあったんですよ。 |
| 0:40:12 | 失礼しました。ですね、すみません相川ちょっと39条しか書いてなくて、情報が、 |
| 0:40:19 | 古いんですが、39条側で、39条の別紙1ですねこれ慣行例にまず1回やらせていただいて、 |
| 0:40:29 | その内容を水素水供給にも水平展開して、改めてその別紙1というのは、出そうと考えております3月、 |
| 0:40:40 | 7日のタイミングですかね。はい。以上です。 |
| 0:40:46 | 規制庁の梶原です。別所も同じような状況ですか水素とか、別途熱供給についても、 |
| 0:40:54 | はい。日本原燃の瀬川です申し訳ございません。実態として、 |
| 0:41:00 | 実力が、 |
| 0:41:02 | 追いついてなくてですね、蒸発乾固を今整えてるので精一杯の状況でございますので、蒸発乾固でまず、基本、流れをしっかり固めさせていただいて、 |
| 0:41:14 | それを水素水供給へ展開するというようなやり方をさせていただけると助かります以上です。 |

| | |
|---------|--|
| 0:41:23 | 規制庁のフジワラですわかりました。 |
| 0:41:32 | 日本原燃野瀬ガウスちょっといずれにしてもですねやはり今のこういったご質問が出るし、あと石原からも指摘があった通りですね、全体の相関というのが、まだ全然示しきれてませんので、 |
| 0:41:46 | これ十時 17 につけてお出ししますが、もうちょっと図他の代表条文との関係性もきちんと整理してですね、再度、提出させていただければと考えております。以上です。 |
| 0:42:03 | 規制庁の内村です。では今日の提出ということだったと思うんですけど、今日提出されるときには少し整理をされて出てくるってことですかね。 |
| 0:42:13 | はい。日本原燃瀬古でその認識でございます。 |
| 0:42:16 | 規制庁吉浦です。わかりました。 |
| 0:42:27 | はい。規制庁吉見です。 |
| 0:42:29 | これ、 |
| 0:42:30 | 当資料 1 ページ目だと思うんですけど、続いて、原燃側から説明ありますでしょうか。 |
| 0:42:41 | 原燃の堀口です今この 1 ページ目のところで、様々な部分のコメントいただいたように修正をして改めて出し直します |
| 0:42:51 | どんなことを作ろうとしていたかの個別、2 ページ目以降だけささらっと指名いただきます。2 ページ目は、個別の補足説明資料として、 |
| 0:43:02 | このようなものを出そうか、あとは突き抜けたことを説明しようとしたものでそれで 3 ページ目が今度は蒸発乾固に関する、 |
| 0:43:11 | 部分で、 |
| 0:43:12 | 4 ページ 5 ページ目に関してはスケジュールを示しながら最後、その次のページで、今十時として、これから提出しようと思っていた |
| 0:43:24 | 青野提出するべき補足説明資料が何か、最後のページは今度は蒸発乾固の補足説明資料、 |
| 0:43:31 | を挙げましてそれで、こういったものを説明していきますということで、作ってありました水、 |
| 0:43:39 | 容器や水素関係、全体相関などわかるように、現状とあと今までいただいたコメントの反映をしながら出せるように見直しを図っていきます。以上です。 |

| | |
|---------|--|
| 0:43:51 | 規制庁清水です。藤 S E 関係について規制庁側から何か確認ございますでしょうか。 |
| 0:44:00 | 特によろしければ、 |
| 0:44:03 | と。 |
| 0:44:03 | 本日説明予定の事故はこれですべてでしょうか。 |
| 0:44:12 | はい。日本原燃事務局仲間です。はい。本日予定していたものは以上となります。はい。 |
| 0:44:18 | 規制庁清水ですと。いや全体通して規制庁側からは特によろしいでしょうか。規制庁田尻です。さっきちょっとすいません自分コメントで言って見せたんで訂正なんですけど喜多さん 1 頭なんですけど新成長みたいな普通でもそうなんですけど、すいません。 |
| 0:44:33 | これ多分集配 1 とした換気塔とかで排気と関係の方が違うだけで、ドア、いずれも筒でした。失礼しました。 |
| 0:44:44 | こちらこそこちらこそ申し訳ございませんきちんと回答できずに、ありがとうございます。 |
| 0:44:50 | はい、規制庁指名下川規制庁はパーセンタ一通しよろしいでしょうか。 |
| 0:44:56 | 藤原案は特によろしいでしょうか。 |
| 0:45:02 | 以上です。 |
| 0:45:03 | はい。それではこれでヒアリングを終了しますので録音を、 |
| 0:00:00 | お返ししました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和 4 年 12 月 26 日に申請があった設工認申請について、資料を基にヒアリングにて事実確認を行うものになります。 |
| 0:00:17 | 山崎規制庁側の出席者を紹介しますと本庁会議室からタジリシミズ。 |
| 0:00:24 | この壁部からコサクをフジワラ、タカナシ以上になります。 |
| 0:00:30 | それで日本原燃の方からまずは出席者の紹介と、 |
| 0:00:34 | それぞれの役割について説明してください。 |
| 0:00:41 | はい。日本原燃事務局の中浜でございます。 |
| 0:00:44 | 日本原燃側の出席者を紹介いたします。まず、事務局より、サトウタカハシイシハラフジノナカハマ。 |
| 0:00:55 | 本日ご確認いただきます資料関係の溢水薬品関係で、エビナ、 |
| 0:01:02 | シノザキ、シミズ、カシワムラ、 |
| 0:01:06 | ヤマモト、 |

| | |
|---------|---|
| 0:01:08 | アカマツ、 |
| 0:01:09 | サトウ、 |
| 0:01:11 | ほりうちって、 |
| 0:01:12 | タモリ。 |
| 0:01:14 | ホリグチ。 |
| 0:01:15 | 仲村。 |
| 0:01:16 | あと関西電力様より、笹川様。 |
| 0:01:20 | 畑村と笠井工業様より、桜井様、塚本様。 |
| 0:01:25 | 以上、参加者となります。 |
| 0:01:28 | 本日ご確認いただきます資料でございますけれども、溢水及び薬品のそれぞれ00-01となっております。 |
| 0:01:37 | それでは説明の方開始させていただきます。 |
| 0:01:41 | すいませんコサクです。 |
| 0:01:44 | 条文関係での参加者が非常に多いんですけどそれぞれどういう、 |
| 0:01:49 | 役割というか、対応されてるのか、紹介いただけますか。 |
| 0:01:55 | はい。日本原燃の篠崎でございます。全体を通しての御説明私の方でさせていただきますけれども、細かいQ Aになった時にですね、ちょっとこの場で説明し切れるように、 |
| 0:02:09 | これよりメインで、 |
| 0:02:12 | 作業分担して仕事してるものですから、古作です。 |
| 0:02:16 | はい。それはわかっていて、だからその分担はどういうふうになってるんですかっていうことを聞いてるんです。 |
| 0:02:24 | はい、承知いたしました失礼しました。 |
| 0:02:28 | 名前挙げたものから言いますと、蒸気影響評価とかそういったところで、シミズ、 |
| 0:02:34 | 溢水耐震関係でカシワムラ、 |
| 0:02:38 | あと、許可整合とかですねそういったところで、この00シリーズを作り込んできたものとして、ヤマモトで溢水評価全般に関してアカマツ、 |
| 0:02:51 | 今評価対象の見直しをやってございますので、そういったところでサトウ、 |
| 0:02:56 | 戸谷品でほりうち、あとこの後ご説明差し上げますが、プールのスロッシング関係で、いろいろ論点ございますので、 |
| 0:03:05 | そこで燃料管理係、燃料管理課施設課よりタモリ、 |

| | |
|---------|---|
| 0:03:10 | あと重大事故、 |
| 0:03:13 | 画面でホリグチ、中村ということで役割分担をもって、出席しております。 |
| 0:03:22 | 坂です。わかりました。では角さん。 |
| 0:03:28 | はい。日本原燃篠崎でございます。令和5年1月5日に提出させていただきました椅子、 |
| 0:03:37 | 0001、R23を用いて、説明させていただきます。本日は、溢水 |
| 0:03:46 | 溢水による損傷の防止として、どういう対策、どういう評価をやってきたといったものを、共通00シリーズを使って導入として、 |
| 0:03:56 | 全全般へ説明させていただこうと思っております。 |
| 0:04:00 | で、基本的には添付書類、別紙4を使って説明させていただきたいんですが、別紙4-1、 |
| 0:04:11 | 99ページからにつきましては、これ基本方針ということで、これを具体が別紙4-2以降に展開されているという位置付けの資料でございますので、 |
| 0:04:21 | 詳しくは4-2から説明させていただこうと思っております。 |
| 0:04:26 | 中に入る前にですね、清条文からの1条文への設計要求、 |
| 0:04:35 | 樋渡ですとか、それを受けて溢水条文でどう中身に展開していくといったところに、 |
| 0:04:41 | まだ整理が弱いところがあって十分反映しきれていないというのは認識しております。 |
| 0:04:46 | 今朝のヒアリングでもありました通り、 |
| 0:04:52 | まずはそのSAとしてどこに溢水上の何を展開していくんだと、やる前にですね、まず、JBとして、どういうことをやってるのかといったのを、今日、 |
| 0:05:02 | 今日で終わらなければ、また別途ですけども、上流から説明させていただいた上で、 |
| 0:05:08 | 今度SA条文の説明には溢水量の位置に入り込んでですね、どこにどういった引き落としをして、整備のところに具体的にどう変えていくのかといったのを一緒にヒアリングさせていただきたいなというふうに、 |
| 0:05:20 | 思っているところでございます。ちょっとまだ中身全然プアーだというのは |
| 0:05:25 | 我々も認識、認識している状況でございます。 |

| | |
|---------|--|
| 0:05:29 | 今日の進め方でございますけれども、すみません、S Aの話なんですけど、どう飛ばすとかどう書くかというよりは、中身として検討が終わってるんだったら、どういうふうに書こうとか、そういうふうな設計になる予定ですっていうところを説明して欲しいかなと思っていて、 |
| 0:05:47 | 今、どこの部分までS Aの書類に書いてどこの部分から一緒に書くかとかの話は、設計決まってからある程度調整もできると思うんですけど、どんな設計にするかっていうところを、もう不明なところ今多いんですけどそこらっていうのは話せるんですけど。 |
| 0:06:05 | はい。日本原燃篠崎でございます。 |
| 0:06:08 | 間に、つまり切っていないところもございますので話せる部分と清、話し切れない部分があるんですけども、それも含めて、今日は説明に加えさせていただきます。はい。規制庁谷井です煮詰まってない部分は何なのかで何です止まっているのかとかも含めて言っていただければ、今後の見直し見直しとして |
| 0:06:28 | 何が解決すれば先に進みそうなのかどうかも掴んでいけるような気がするので、その点も踏まえた上で説明いただければと思いますよろしくお願ひします。 |
| 0:06:37 | はい、承知しました。 |
| 0:06:39 | 読める。 |
| 0:06:40 | 日本原燃篠崎です。今日の進め方ですけども、お出ししている 00 資料をすべて読むのではなくて、 |
| 0:06:47 | ざっとこういうことが書いてあるこういうことをしてますよと言ったのを、説明させていただきますが、区切りいいところで、 |
| 0:06:55 | 区切らせていただいて、その中で我々説明すべきポイント、例えば炉との違いですね、とか、そういったものをここで必要といったものを紹介させていただきます、説明させていただきますながら進めさせていただきますと思います。 |
| 0:07:09 | では早速ですけども 164 ページをご覧ください。 |
| 0:07:14 | 溢水防護対象設備の選定の添付書類になります。 |
| 0:07:21 | 本店の書類では、溢水防護対象設備の選定、166 ページにあり、あります通り、具体的には、D Bでは安重設備を溢水防護対象設備として、まずは選定しますよと。 |
| 0:07:37 | その上で、170。 |

| | |
|---------|--|
| 0:07:41 | 3 ページにございますが、 |
| 0:07:43 | 明らかにですね、溢水により安全機能を損なう恐れのない設備については、評価対象から除外するというので、(1) から (4) の考え方を書いてございます。 |
| 0:07:57 | この詳細具体何かというのは、補足説明資料の方で説明する。 |
| 0:08:04 | 一昨年でございます。 |
| 0:08:06 | で、この添付書類 2 は、では、結果ですね、その選定の結果、 |
| 0:08:13 | こういったものが、評価対象設備、 |
| 0:08:17 | 失礼しました評価対象となる溢水防護対象設備だよと言ったのを明確にし、 |
| 0:08:23 | 企画部に、それがどこに置かれているよと言った東失礼しました。それが置かれた区画を溢水防護区画として設定しますので、その位置を示すことも、 |
| 0:08:36 | 適とした添付書類でございます。 |
| 0:08:39 | この企画部につきましてはちょっとこれでは情報が足りないといった話もこれまでヒアリングでご指摘をいただいて、我々も改善していこうと思っておりますので、 |
| 0:08:49 | ここに載せるか、ちょっと補足という形で、細かい情報まで載せるかっていうところは、検討しますが、中身の拡充を図っていこうと思っております。 |
| 0:08:59 | この中でですね、173 ページに戻っていただきたいんですが、 |
| 0:09:04 | 現在、朝ミーティングでも、をご紹介させていただいてますけれども、 |
| 0:09:12 | 溢水評価対象を選ぶ、そのプロセスにおいてですね、 |
| 0:09:18 | ちょっと我々と方針、意図する通りにですね、評価対象を選ばれていないといったような事象が見受けられておりまして、その再精査を行っているところでございます。 |
| 0:09:29 | この (1) から (4) の考え方そのもの自体に変更があるというわけではないんですが、 |
| 0:09:34 | この |
| 0:09:36 | 表現がですね、結構曖昧なところも、曖昧というか子細まで書いてないところもございますので、 |
| 0:09:45 | そこをうまくですね、各課に展開するときに、ちょっとばらつきとかが生じてしまうといった問題が発生してございます。 |

| | |
|---------|---|
| 0:09:53 | 大変申しわけない資料として間に合わなかったんですが、画面共有で、ちょっと今何をやってるか、どんなことをやってるのかといったのを、ご紹介させていただきたいと思います。 |
| 0:10:03 | すみません画面共有お願いいたします。規制庁田尻です。朝のヒアリングでもよくなるんですけど、この資料は何者で今後どういう形にするかもついて言ってください。 |
| 0:10:14 | はい。日本原燃塩崎でございます。それでこの後申し放送と思ってましたが、すみません本日の時点では画面共有になりますが、こちら先ほど言いました補足説明資料、具体的には102という補足説明資料で、 |
| 0:10:28 | 評価対象の設備の選定の考え方といった、中身の補足説明資料とさせていただきますので、その中で中身を精査して、整理したものを。 |
| 0:10:41 | 中に入れさしていただくことを考えてございます。 |
| 0:10:48 | はい。規制庁田部井です。何か補足資料の1Q分として今後出す予定のイメージかなんかば、されてるだけでもいいですかね。 |
| 0:10:58 | 日本原燃篠崎です。はい。その通りでございます。あと今これ一、こういった方針で、2月末に向けて作業を進めて、すみません、2月末に選定完了を目途に作業を進めてございますが、 |
| 0:11:11 | やり方とか方法ですね、行ったところ、結論を出してを提示する前にです。今こういうことをやってるといったところを、 |
| 0:11:20 | 提示させていただきまして、その方向性とかそういったところに疑義があれば、作って、 |
| 0:11:24 | いただきたいな、議論できればなというふうに思っていました。 |
| 0:11:29 | はい。日本原燃、続けてください。 |
| 0:11:33 | はい。すみませんコサクです。念のためなんですけど、 |
| 0:11:36 | 作業を進めてますと、作業に違いが生じないように説明しますと、ということなんですけど。 |
| 0:11:45 | この資料はいつ提出されます。 |
| 0:11:50 | はい。日本原燃篠崎です。 |
| 0:11:54 | 今日やっている作業の、 |
| 0:11:57 | この方向性というのが、そういうのを確認、ご確認いただければ、最終的にはその評価結果赤瀬失礼しました、補足するとともに、 |

| | |
|---------|---|
| 0:12:07 | 最終では困りますということをお願いだけで、進め方として疑義がないようにということでの確認をしたいのであれば資料提出をしてください。 |
| 0:12:19 | 今日じゃなくてもいいですけど、 |
| 0:12:21 | 一兩日中ぐらいで、 |
| 0:12:24 | 提出いただくと。 |
| 0:12:26 | ということでお願いします。 |
| 0:12:29 | 日本原燃篠崎です。承知いたしました。今回すいませんそういう意味では、サンプルというか例示で持ってきてますので、 |
| 0:12:38 | 中でやってるものですねちゃんと附属説明資料ということで、まとめて提示させていただきます。教科書です。すいません。まとめなくても結構で食べまとめなくてもというところちょっと語弊ありますかね。 |
| 0:12:51 | 実績整理する必要はなくて、現状としてこういうところまでやってます。出してるところも、まだこういう精査中ですよっていうそのステータスがわかるようにしておいていただければいいので、 |
| 0:13:05 | その状況を確認しているんだと確認のために提出したんだという古藤がわかるようにしてください。 |
| 0:13:14 | 宮西尾崎です。はい。承知いたしました。 |
| 0:13:19 | はい。では衛藤。 |
| 0:13:23 | はい資料は、速やかに出させていただきますが、画面共有の方で今日は説明させていただきます。見えてます。さっき気にされて、 |
| 0:13:33 | 直接、 |
| 0:13:36 | はい。 |
| 0:13:38 | はい。衛藤先ほど申しましたように、評価対象の選定の方針というところに変更はないんですが、 |
| 0:13:46 | 求められる防護対象設備に求められる安全機能は何なの、どこが、 |
| 0:13:53 | Unisyshazardをやられると、機能が喪失するんだといった深掘りの時点でですね、弱いところがございました。これ1例でございますけど、これも朝ミーティングでお話しているところでございますが、 |
| 0:14:06 | これ塔槽類廃ガス系の |
| 0:14:10 | 排気系の系統をポンチ絵で示してございますが、 |
| 0:14:15 | この排風金これが、防護対象、評価対象の防護対象設備です。 |
| 0:14:21 | 当然この回数金、或いはこれを制御する盤なんかはですね、 |

| | |
|---------|---|
| 0:14:25 | 溢水影響被水やつとか防水とかで、やられたら機能喪失するということで、 |
| 0:14:31 | 評価対象分、 |
| 0:14:34 | 或いは昨日宗阪手ちゃんと選定していたんですが、もうちょっと系統を広げて考えたときに、 |
| 0:14:40 | この排風機、 |
| 0:14:43 | ウェアを取り込んで、いうライナー整備をして負圧制限線をやっていると いった構成になってございますので、 |
| 0:14:52 | もし仮にこの乳井ラインのルールへの取り入れ口が水没してしまうと、 |
| 0:14:58 | この排風機が困ってしまうことになります。 |
| 0:15:01 | そういうことはこの排風機の時の祖父高さという、 |
| 0:15:04 | そこをやられると競争するかというところでこういったルールエアライン みたいなこんなところもちゃんと選ばなきゃいけないねと。 |
| 0:15:10 | こういったところが、抜けがございました。 |
| 0:15:14 | 今ですね安全機能に着目しまして、 |
| 0:15:18 | 系統図を見ながら、どういうところがやられると、この安全機能が喪失 するのかといったのを、 |
| 0:15:24 | 関係者、関係者施設課と我々だけではなくて許認可業務かとか、何か詳 しいものも入ってですね。 |
| 0:15:30 | 抽出をして、 |
| 0:15:33 | おります。 |
| 0:15:34 | で、 |
| 0:15:37 | 口頭でやってもですね考え、パーツが照射しますので、こういったパタ ーン図なんかを作ったりとか、次のページお願いします。 |
| 0:15:50 | もう、もう次のページ。 |
| 0:15:53 | 次のページです。はい。 |
| 0:15:55 | 小さくてあれですけども、解説、評価対象外とする解説のところにて すね、もうちょっと具体的に、こういったものと言ったのをちゃんと ペーパーで起こしてですね、 |
| 0:16:08 | 考えにばらつきを行わないようにといったような作業をやっているところ でございます。 |
| 0:16:14 | すいません、1ページ戻っていただきまして、 |
| 0:16:17 | 先ほどのAですと、 |

| | |
|---------|--|
| 0:16:20 | その次のページをお願いします。 |
| 0:16:24 | はい。 |
| 0:16:26 | ええ。 |
| 0:16:27 | 部屋番号等とか、おまけになると思うのでお話できませんが、左の方に ある部屋が、 |
| 0:16:32 | 塔槽類廃等、 |
| 0:16:36 | 相田支店のその排風機があるような部屋でこれはもとよりですね、区画 として溢水防護区画として設定していました。 |
| 0:16:44 | 一方で先ほどのルームや配管ですね。 |
| 0:16:47 | は、今まで防護区画として設定してなかった部屋、右側に青四角で書い てますが、こういったフィルターリが置いてあるような部屋にあると。 |
| 0:16:55 | あとこれも確認されてございますので、こういったところが、 |
| 0:17:01 | その評価対象設備の選定とともに、 |
| 0:17:05 | 新たに規格を設定しなきゃいけないといった作業が、今後発生して参り ます。 |
| 0:17:13 | で、 |
| 0:17:14 | すいません、もううまいしてもらえますか。 |
| 0:17:19 | 抜け漏れなく、それを抽出するという観点で、 |
| 0:17:23 | このように系統図を用いまして、これですと、真ん中右の方辺りに排水 当該の配送があるんですが、こういったものに着目した時に、系統図を 追っかけて行ってですね、 |
| 0:17:35 | どこがどんな溢水ハザードやれる可能性があって、ここはやられると、 |
| 0:17:41 | 排風機も昨日そうしてしまうねといったのを、チェックしているところ でございます。 |
| 0:17:48 | これ後、 |
| 0:17:52 | 作業結果ですね。 |
| 0:17:54 | 条文担当としてもチェックできるようにちょっとこういう形で、友野は 残していってもらうように、 |
| 0:18:00 | データが進んでるところです。 |
| 0:18:02 | で、その結果として、次のページをお願いします。 |
| 0:18:10 | はい。結論ですね |
| 0:18:15 | この抽出作業の結果、今してる申請にどういった影響があるのかといっ たのもこういうふうに整理しようと思ってございます。 |

| | |
|---------|---|
| 0:18:23 | 伴でございますけれども、 |
| 0:18:25 | 例えば、この部屋の例ですと、 |
| 0:18:28 | 先ほどのルームラインでいうと、もともとはS A設備が置かれている報告書くということで、 |
| 0:18:36 | 防火、 |
| 0:18:37 | 設定ありましたけれども、デービーという観点ではそこを核に設定しなかったということで、今回は、そのエリアは、S A単独ではなく、D BとS A、両方の防護区画に変更しますよといった例。 |
| 0:18:52 | で、次のページに、 |
| 0:18:56 | これは青で凡例書いてございますが、もともと防護区画に設置してないところに、 |
| 0:19:04 | これがあることがわかったのでここを新たに防護区画として設定しますよと。 |
| 0:19:08 | はい、衛藤最終こういうアウトプットを目指して今の再精査作業をやっているところでございます。 |
| 0:19:15 | すいません、一般区切ります。評価対象の再生した作業ってのは、こういうやり方を今しているというところでの説明でした。 |
| 0:19:24 | 規制庁清水です今の説明あった内容はまず防護対象設備の選定とあとその中、あと評価対象の選定っていうところの、 |
| 0:19:35 | 説明があったと理解してます。 |
| 0:19:37 | まず、防護対象設備の選定っていうところから、ちょっと順番に確認していきたいんですが、ちょっと前回のヒアリングで申せ確認してるのと少し重なるところもあると思うんですがちょっと前回ちゃんと回答替えられなかったところもあるので、 |
| 0:19:53 | 重なるところがあるのは、ちょっとご了承くださいっていうところで、まず、166 ページで、今回溢水の防護対象設備として選定するのは、安全上重要な |
| 0:20:07 | 設備っていうことで、救出されてね、具体的には |
| 0:20:13 | 二つポツが挙げられてて、あん時は漏れなく、二つのどちらかに該当してて漏れなくて全部選定、選ばれてるっていう理解で。 |
| 0:20:25 | 問題ないでしょうか。 |

| | |
|---------|---|
| 0:20:30 | はい。日本原燃篠崎です。この安全の定義を変えてございまして今の認識、安重設備はすべて集合対象設備として選定しているという認識で間違いございません。 |
| 0:20:41 | はい。 |
| 0:20:42 | それでそのあとその中でどれを評価対象にするかっていうところで、173 ページで、 |
| 0:20:50 | 明らかに安全機能が損なわれないことが分かる明らかなものは、除外しますよってということで、(1) (2) (3) (4) で説明されてますって、 |
| 0:21:01 | 今回 |
| 0:21:03 | 再整理しているところで、 |
| 0:21:05 | 今説明があった排風機の例ってというのは、これで言う、 |
| 0:21:11 | (2)。 |
| 0:21:14 | になるのかな。ちょっと話聞いてての理解なんですけども、もともとちゃんと防護評価対象としては排風機自体は選定しててその排風機の番、 |
| 0:21:27 | 直接坂に対しては没水とか被水とかの影響を考えてたけども、 |
| 0:21:33 | 系統として、安全機能を損なわないっていうところを確認が漏れてて排風機自体だけじゃなくて、その系統として繋がる。 |
| 0:21:43 | はい、開口部でしたっけすみませんちょっと先ほどの図の名前忘れたんですけど、 |
| 0:21:48 | そういうところが漏れてたからそこを再度機能喪失高さとしての設定を、 |
| 0:21:55 | 考え直したっていう。 |
| 0:21:58 | ことで理解してるんですけども。 |
| 0:22:02 | 実際 |
| 0:22:05 | この排風機自体はもともとはここで、 |
| 0:22:10 | (2) として除外して除外してしまってたけど、 |
| 0:22:16 | あれ。 |
| 0:22:18 | 確認が漏れてたっていうところなんですかね、ちょっと具体的にこのから。 |
| 0:22:23 | すいません。補足です。 |
| 0:22:28 | ちょっと混乱してるようなので、私の理解を含めて、私も質問があるので、 |

| | |
|---------|--|
| 0:22:34 | お話すると、先ほど示された画面で示されたものも、括弧2の具体的の中でここに含めちゃいけないよってという意味合いで、 |
| 0:22:47 | 例示なLeeが書かれてたんじゃないのかなと。 |
| 0:22:50 | 受け取りましたけど、そもそも現状の書きぶりだと静的機器は評価対象外にすると言っているのに、いや評価対象外としませんよみたいになってたりしてて、 |
| 0:23:03 | 実際どういうふうにするのかっていうのが読み解けなくなっちゃってるような気がするんですけど、そのあたりは、 |
| 0:23:11 | どう整理をするつもりなのかと。 |
| 0:23:15 | ということで、改めて説明いただければと思います。やってること自体は理解できるんですけど、それをどう整理してるのか、何か。 |
| 0:23:25 | 日本原燃篠崎です。すいません先ほどの説明等ちょっと例がよくなかったかもしれない申し訳ございません。 |
| 0:23:32 | 先ほどの衛藤マルウエア配管排風機ですね、 |
| 0:23:37 | あちらの例は、もともと、 |
| 0:23:42 | 排風機を評価対象外としている例ではすいませんございました。 |
| 0:23:46 | 排風機或いはそれを制御する盤っていうのをやられると、 |
| 0:23:53 | その排風機防護対象の排風機がやられますので、そこに対しては、機能喪失高さといったものを考えて、 |
| 0:24:02 | すいません、ものがある場所すみません、補足です。はい。必要なことだけしゃべりましょう。あ、失礼しました。今回で言うと排風機直接ではなくて、 |
| 0:24:13 | 静的機器である配管の設置場所についても考える必要があったと。 |
| 0:24:18 | いうことがまず、 |
| 0:24:19 | 報告ですよ。はい。はい。その通りです。 |
| 0:24:24 | 補足です。その上でその配管の開口部っていうのをどう見つめ見つけていくかという時に、この配管を評価対象と言うのか言わないのか。 |
| 0:24:35 | そのあたりはどうなのでしょう。 |
| 0:24:39 | はい。日本原燃石野だけです。 |
| 0:24:41 | 配管評価対象というよりも、先ほどまずは溢水防護対象設備ってのは安重設備というふうにしてまして、そのうち、そこから評価対象対象外を選定していくものだと思ってますので、違うシノザキさん。はい。 |

| | |
|---------|---|
| 0:24:57 | 結局、ちゃんとまず整理して、自分たちが考えたこと言わなくちゃいけないくて、コサクさんが言われてるように、我々この今、 |
| 0:25:06 | THAI配管とかバルブの場所も、系統としては安重なわけですよ。 |
| 0:25:11 | それを安全の静的として見た場合にはカッコ2番で落とされるわけですよね。 |
| 0:25:18 | そういう意味で、あの場所を単独の評価対象としてエントリーするんですかっていうのがまずコサクさんの質問。 |
| 0:25:27 | 我々がやったことは、あれは排風機の機能を維持するために一部だということで排風機の防護対象としての必要な箇所に、 |
| 0:25:38 | 排風機の名前で一応エントリーをしようって考えたんだよね。 |
| 0:25:42 | あれをセットしてやるんじゃないくて、麻生です。それが多分、(2)番の表のところで書いたことによってかなり複雑になって、さらに誤解を与えるんじゃないかっていうのが多分コサクさんの懸念のような気がしてますけど。 |
| 0:25:55 | その辺をちゃんと整理をして、どうやって説明するつもりなのかっていうのを言わないと駄目だと思います。 |
| 0:26:04 | コサクです。石原さんの理解の通りで、 |
| 0:26:09 | 結局はそのところで、開口部にまで椅子、開口部が没水したとしたときに、配管としての機能が喪失するわけではなくて、 |
| 0:26:22 | それが流れていって、排風機まで達したときに、排風機の機能が喪失すると。 |
| 0:26:29 | ということでの評価なのだから、評価対象はあくまで排風機だと言いたいってことですよね。 |
| 0:26:37 | はい、柳下でございますこれですねちょっとな、これをもともと言い出したのが私ではあるんですけど昔あの、 |
| 0:26:44 | 今先ほど映ってたところのバルブを閉じたことによって、排風機がどんずばりになってトリップしたことがあるんです。 |
| 0:26:51 | なのでこのルームエアの配管を閉じられると、結局、排風機が駄目になるってのがもともとトラブルでわかっていたので、こいつをどう見かってのが非常に悩んで、ここ水没して、 |
| 0:27:02 | 多分バルブのところまで水が来ちゃうともう、空気が取り込めないんで、排風機を機能喪失する可能性が高いということだと理解をしてみました。浅香です。はい。すいません。 |

| | |
|---------|---|
| 0:27:14 | わかりました。わかりましたっていうと語弊あるかな |
| 0:27:16 | 排風機まで行くというわけでもなく、流路がふさがるとのことだとすると配管にも、やはり機能があって、流路構成っていう意味で、 |
| 0:27:28 | 機能があってそれが阻害されるそれイコールトータルとしての安全機能が阻害されると。 |
| 0:27:33 | ゆ |
| 0:27:35 | ということからすると、(2) は言い過ぎなんじゃないかなと思いましたけどいかがですか。 |
| 0:27:41 | はい、二本木西田でございますはい。もともとの(2) 番の静的っていうのが非常に単純な書き方をしているので、ここで多分誤解を生じるなどで、 |
| 0:27:51 | 静的な機器としてのその機能がある場合、それが溢水を提供を受ける場合はこの中に入れてはいけないっていうのをちゃんと、(2) 番で言わないと、単純な話に、 |
| 0:28:02 | 持って帰ると、今回のようなことが起こることだと思いますので、正しく添付書の(2) 番の記載をちゃんと、適切な表現に見直す必要があるという認識です。 |
| 0:28:14 | はいコサクです。わかりました。それで言うとバウンダリーを構成するみたいなものについては、 |
| 0:28:20 | 構造健全性みたいな話では過去には松井をしてたんだけど、 |
| 0:28:24 | 今回のような流路構成だったりという機能に対しては、開口部があれば問題が生じるということなので、そこは含めないと。 |
| 0:28:33 | 対象外とはしないということで、 |
| 0:28:37 | そこの仕分けをちゃんとこの記載で明確にしていくと。 |
| 0:28:40 | ということで理解をしました。清水さんすいません。どうぞ。 |
| 0:28:44 | 規制庁示すの、今の理屈ことで理解しましたので、(2) で単に静的除外しますよっていうことだけじゃなくて、流動構成として何か機能がある場合は、その |
| 0:28:58 | 方で評価対象としているっていうことで、 |
| 0:29:02 | そういったところもわかるように修正されると理解しました。 |
| 0:29:07 | はい。 |
| 0:29:09 | 関連して評価対象外っていうところで確認なんですけど今再整理して |
| | る。 |

| | |
|---------|--|
| 0:29:16 | 例として、排風機の例を挙げていただいたんですけどカーに何か整理中で、 |
| 0:29:23 | 検討してる事項とかは特にないんでしょうか。 |
| 0:29:30 | はい。日本原燃の篠崎でございます。 |
| 0:29:33 | 他にですね屋外の地下にあります、燃料タンク、 |
| 0:29:40 | こちらベント管が非常に伸びてまして。 |
| 0:29:46 | 高いところにあるんで、結構あれなんですけどそこから水が入るとですね、その燃料詰まって使えないということで、そういったところを、 |
| 0:29:55 | 抽出したりとか、はい。 |
| 0:29:59 | いくつかパターン他にも同じようなところがございます。 |
| 0:30:03 | 生協の田尻です。今括弧2番っていうのはさっきの話とも関連するんですけど、タイトルが書いてあって、中の記載が外部から動力の供給を必要としないっていうふうな形で書かれてるんですけど、 |
| 0:30:16 | ここが今言ってる話出てくるように、流路閉塞みたいな概念のところがあったり、流路閉塞することによって、機能喪失パターンがありますってのまずわかったんですけど、今のベッド感とかもその奇形のパターンだと思うんですけどそれ以外のパターンってあるんですかね、空気を取り入れるもんだろうが何のやつだろうが流路閉塞してしまう可能性があるんで、 |
| 0:30:35 | 静的なもの自体は破壊されないけど機能としてはそこなんですっていうパターンのやつで抽出しようとしてるってのはわかったんです。今何かほかにも何パターンがっていう話があったんですけど、そこっていうのは何か、どういった検討をしてそういうのが抽出されてきてるのか。 |
| 0:30:48 | 今、除外するものって何なのかっていうところのルールがはっきりしてるのかどうかなのか、何か売買で抽出したやつを勝手に選んでいるのかがよくわからなかったんで、ルールをお聞きしたいんですけど。 |
| 0:31:03 | はい。日本原燃篠崎です。括弧2、今おっしゃった(2)の他のパターンとして、 |
| 0:31:11 | (4)ですねフェイルセーフ機能を持つといったところで、 |
| 0:31:15 | 規制庁谷です。(4)は、フェイルセーフ機能にフェイルセーフ機能しかここまでないようなことを聞いているけど(2)っていうのが、要は今まで性的なものとしては意識除外してしまってたようなところの中で、 |

| | |
|---------|---|
| 0:31:29 | さっき言ったように、入寮変則のやつが新たな観点で増えましたってあるけど他って何かあるのかちゅう話なんで（４）とかまじってくるとまたややこしいんで（２）として何か他にいいのかっていうのを聞きたいんですけど。 |
| 0:31:41 | はい。失礼しました。日本原燃篠崎です。土肥さんおっしゃられた通り、今まで静的っていう形でパツてきたんですが、それは何か水がかかるみたいなどころしか拾えてないところがあって、 |
| 0:31:52 | 流入計測といった観点で拾っているという例が追加になってると、そういうパターンだけでございます。 |
| 0:31:59 | 規制庁谷です。そこっていうのは静的な基金の機能が損なわれる恐れっていうのはどういうところにあるかっていうのを先行例とかも意識調べた上で、そういったものを抽出しましたちゅう話なのか。 |
| 0:32:10 | とりあえず流路閉塞っていうのをういた出してみましたっていう話から言うとどっちですかね。 |
| 0:32:16 | 日本原燃篠崎です。前者でございます。求められる安全機能に対して、 |
| 0:32:21 | 先ほど言いました例えば燃料詰まったら、そもそも貯蔵タンクにもっと安全機能なんですかってそこで水が入っていいかどうか。 |
| 0:32:28 | 或いはそのあとですねそういうそういった安全機能との繋がり、 |
| 0:32:34 | どこが流入閉塞しちゃいけないかという拾い方をしてございます。はい。規制庁谷です。何で静的機器が持つてる機能というのがどういったものかっていうのを分析した上で、じゃあその機能を損なう恐れっていうのが溢水においてどういうパターンで生じるのかっていうのを分析して、 |
| 0:32:48 | さっき補足で説明とかって言ってたやつでそこからさらに具体的に説明したりとか今度見せてもらおうとかってことですかね。 |
| 0:32:56 | 概ねシノザキですはい。そういう資料が必要だというふうに認識しておりました。 |
| 0:33:01 | はい。規制庁谷です。要は、ちゃんと検討して抜け漏れなくやったんですよっていうのをやってかないと、少なくとも今は抜け漏れがあったんですっていうところからスタートしているのですでに、 |
| 0:33:12 | 本来やったやつでこれだけ見つけましたっていう話ではなくて、今おっしゃっていただいたように上流どういった機能があるのかっていうところから決めながら、それをやった上で、先行例に比べてもさらに問題あ |

| | |
|---------|---|
| | りませんでしたっていうぐらいの分析をやってきていただけるものと認識をしたのでよろしくお願いします。 |
| 0:33:30 | コサクです。今の話を聞いているとですね。 |
| 0:33:35 | ええ。 |
| 0:33:36 | 第1回の申請の時に設備R I S等を整備され、その際にもれなく抽出しているのかという話をして、 |
| 0:33:48 | それに合ったって、各設備に期待する機能って何ですかと。 |
| 0:33:54 | 施設全体として機能がもれなく担保できているかっていうので、共通09、 |
| 0:34:01 | の中で別紙で一通り機能を洗いざらい整理をし、それとの紐づけをしたと言う古藤だと理解をしておりますので、 |
| 0:34:12 | そうすると、共通09で整理をした機能っていうのを1石並べて、 |
| 0:34:18 | その対応として潰し込みを、 |
| 0:34:21 | しているという理解でいいですかね。先ほどそのS E版みたいな形で新たな系統図を作っておられるようでありましたけど、 |
| 0:34:31 | 機能潰し込みって意味ではそういうことでいいですか。 |
| 0:34:36 | はい。日本原燃の篠田でございますそのアプローチを進めています。 |
| 0:34:42 | はい、古作です。そうであれば、その状況がわかるようにまとめていただいて、この |
| 0:34:49 | 一通りこの機能があるけれどもこうこうこうで、これは大丈夫これは評価が必要だと。 |
| 0:34:55 | ということで整理をお願いします。 |
| 0:35:03 | 4名の人だけ承知いたしました。 |
| 0:35:06 | はい。 |
| 0:35:07 | 規制庁清水です。 |
| 0:35:09 | 藤浅井整理してるのは括弧2の事項で一式整理した上で、 |
| 0:35:14 | 今説明あった内容が、 |
| 0:35:17 | 該当する先生で必要なところとして該当してるっていうことで、 |
| 0:35:21 | 地名があったんですけども、 |
| 0:35:24 | 当間順番にっていうところで、前回ヒアリングで確認した時他の。 |
| 0:35:29 | (1) や (3) (4) は特段、再整理し、必要な事項はなかったっていうことだったのでここは特に今、 |

| | |
|---------|---|
| 0:35:39 | 悩んでる点というか何か作業してるような状況は特にないっていう整理中の事故はないっていう状況で問題ないでしょうか。 |
| 0:35:48 | すいません。日本原燃篠崎でございます。 |
| 0:35:51 | 実は前回の私の説明が悪かったんだと思います。申し訳ないです。先ほども括弧2に限ってこういうパターンですよという話をしていました。 |
| 0:36:01 | (1) (3) はあんまり悩むところもなくでですね、なんですが、(4) につきましては、 |
| 0:36:08 | ちょっとまだ整理作業全部終わってないので、現時点でこれがピックアップされますとは言えないんですが、 |
| 0:36:17 | その追加有無っての含めて整理をしているところです。括弧に限らず、1から4万、全般的にサーベイをしています。 |
| 0:36:25 | 生協田尻です今の指摘は賛成してるかどうかは300に全部やるならやっていただいて構わないんですけど、(2) 番に関しては、さっきのような静的だってやつにかかるところが限定的になってしまっていたので漏れがありましたって話なんですけど。 |
| 0:36:38 | (4) 番に関してもそういう観点があるのか、単に観点は変わらないけど改めて一応見てますっていうだけなのかというところもそっち側ですかね。 |
| 0:36:48 | 日本原燃篠崎です。 |
| 0:36:51 | そのもの自体のフェイル側へ移行するといった動作はもちろんなんですけども、それがそのもととその系統に対して安全機能を維持するのに、逆に働いてるところがあるかないかとかそういった目でも見てございますすいませんちょっと。 |
| 0:37:08 | 整理が終わってないのに具体的にこれっていうのは言えないんですが、発生するんじゃないかなというふうに見ています。 |
| 0:37:16 | 柴崎さんやってることじゃない。日本原燃石原でございます(4) についてはもともと設定してる考え方に疑義がないと思ってます。 |
| 0:37:26 | あとはその実際本当にフェイルセーフなのかも含めて、1個ずつもう一度再確認をしているというのが現状でございますので、そこについては実際の機能だったり設計の、 |
| 0:37:39 | 情報がありますので、特段今迷うことなく一つ一つ調べているところです。以上です。 |
| 0:37:45 | 規制庁谷です。(1) から(4) 番は、 |

| | |
|---------|--|
| 0:37:50 | 規定であって、さっきの(2)だったら、除外の理由として静的ってだけ書いてあったやつが、静的だけで判別できないだろうって言って、修飾語になるのか、これこれこういう関田から大丈夫っていうのが説明されるようになりましてのわかって、 |
| 0:38:05 | (4) 番に関しては、極端な話、わかりきったやつしか抜いてなければ向こうも何も無いところなんですけど、今のお話だとフェイ性食う |
| 0:38:15 | であるならば、何となくそのまま抜けそうな気がするけど、偏西風のやつでもう判別が必要なものがあつちゅう話ですかね。 |
| 0:38:30 | 規制庁谷です。他に改めてフェイルセーフって名前がついてるけど、溢水で本当にフェイルセーフに行くのかどうかも含めて検討してるだけですとか、この静的な部位によりって言葉の方から、 |
| 0:38:42 | ちょっと何をどこまでさせるかという難しいところではあるんですけど、こういったところの具体の説明がなかったからその就職の言葉も含めて検討中だと思いますか。 |
| 0:38:54 | はい。日本原燃篠崎です。今最後に言ってもらったような状況が近いと思います。 |
| 0:39:00 | はい規制庁谷です。なんで、除外規定を適用できる理由っていうのをちゃんと節注意してっていうところですよってところで理解します。なんで、この静的な部位によりっていうやつも、対象設備がどういったやつのことを指してるかってのはわかんないんですけど。 |
| 0:39:14 | 少なくともこの言葉で除外するやつがあるんだしたら、そこんところについて具体的に構造とあわせて説明校長というか、設計と合わせるのか説明していただけるということで理解いたしました。 |
| 0:39:28 | はい。 |
| 0:39:28 | 規制庁清水です。ちょっとフェイルセーフ関係で1点になることとしてちょっとお聞きしたいんですけども、176 ページ。 |
| 0:39:38 | 下 176 ページで、実用炉の |
| 0:39:42 | 方はもう評価対象外の表みたいのを付けてるんですけどその下に注記で、フェイルセーフ機能設計となってる機器でも、作動。 |
| 0:39:52 | 等防止の観点から、安全側に小、 |
| 0:39:56 | 対象に分類してるみたいなことが書かれてるんですけど、これって実用炉で何でこういうことして再処理側においてはこういう高量は、 |
| 0:40:06 | どういうふうに、 |

| | |
|---------|---|
| 0:40:08 | 考えられたのかとかそこちょっと実用炉の違いというかそういった点で説明いただけますでしょうか。 |
| 0:40:24 | すいません少々お待ちください。 |
| 0:40:47 | あ、すいません、日本原燃首藤だけです。つまりちょっとあの、 |
| 0:40:51 | Pではこういった中じゃないんですけどもちょっと頭にて、 |
| 0:40:54 | 補足説明資料か何かに多分書いてると思いますのですいませんちょっと調査する時間ください。申し訳ないです。 |
| 0:41:17 | 規制庁田尻です。今調べるって話ですかね。それとも、別途で話してる間に調べてきます話ですかね。 |
| 0:41:28 | すいませんまず、炉側でどう考えてるかっていうのは、照らしてちょっと我々の方から答えなきゃいけないので、すいません、数時間をくださいこの場で回答できるかどうかわかんないですけども、 |
| 0:41:40 | また、もしかしたら別途説明になります。 |
| 0:41:43 | はい。規制庁志水です。間違っていていった点で一応再処理としての考慮、 |
| 0:41:49 | 教えていただければと思うので、し別途調べておいてください。 |
| 0:41:56 | とりあえずDB側の方対象の選定は評価対象の選定ってところで一通り確認はしたんですけども、 |
| 0:42:06 | ちょっとSAの方の状況というかSAのこの対象設備の選定っていう方はSA側で書いてると思うんですけども、そちら側はもう整理終わってるんですが今簡単に状況まで、 |
| 0:42:19 | 今のこういった状況かというところだけ説明いただければと思います。 |
| 0:42:24 | はい。原燃の堀口です。SAに関しては、SA設備っていうのが評価対象になるので、評価対象については明確なんですけれども、今までアクセスルート上の操作場所であるとかは果たせ |
| 0:42:38 | 重大事故等対設備の設置場所っていうアクセスルートのところでアクセスルートとしか考えていなかったところに関して接続孔であるとか、 |
| 0:42:48 | あとは、地下階の方だと、の水が溜まってると、水に使いながらいくっていうふうなことでいけると思ったところを、 |
| 0:42:55 | そういった溢水高さってのは見直しが必要なんじゃないかということで、再度 |
| 0:43:03 | 溢水高さ守るべきものはないかというところを確認をし直しているところなんです。あと、 |

| | |
|---------|---|
| 0:43:10 | 地下階だとかは、フロアによって操作場所になるところで、袋小路のような形で水が入り込んで、出にくい出にくいとかでないところ、 |
| 0:43:20 | に操作場所がある場合だとかですねそういった場合に、麻酔をどう下げるかっていうところもちょっともう一度整理しなければいけないというところで、見直しというか確認作業を進めているところでした。 |
| 0:43:33 | あと、S A側としては1.2 S sの絡みで、読み込み先っていうのは今まで6-1-1の4-2-3という形で、 |
| 0:43:43 | 1.2 S sのことは言ってたんですけども設備に関するものとして、健全性の設計方針として6-1-1-4-2-1っていう。 |
| 0:43:53 | 添付書類があるんですけどもそちら、あと、アクセスルートに関してこの6-1-1の4-2-2っていうふうな形で書いてあるところはどうこの1.2 S sを取り込ませるか、今の |
| 0:44:05 | 添付書類に明日書き込むべきところ、今、記載が不足してましてどこにどう読み込ませるかっていうところを現在検討してるところです。 |
| 0:44:15 | 簡単ですけど以上です。 |
| 0:44:18 | 規制庁吉見です。ちょっと後半で説明があった1.2 S sの具体的な設備の、 |
| 0:44:25 | ところはまた |
| 0:44:27 | 以降で確認するところでちょっと具体的に状況は聞こうと思ってるんですけども、今 |
| 0:44:34 | やっている内容がまず |
| 0:44:36 | 評価、防護対象の選定評価対象の選定っていうところについて今話をしてて、 |
| 0:44:43 | S A側でそのアクセスルートだとか操作場所、 |
| 0:44:49 | だっていうところでちょっと制見直しかけてるっていう、ここって、 |
| 0:44:55 | 何ですかね、防護対象設備評価対象設備の選定として漏れてたっていう、 |
| 0:45:03 | ことだったのかそれとも、 |
| 0:45:06 | これ操作場所とかは若干、以降で聞くんですけども評価対象の区画としての設定が漏れてたとか、 |
| 0:45:14 | 今言ってる防護対象の設定評価対象の選定っていうところで何か見直しがかかってるっていうことなんかちょっと、 |
| 0:45:22 | 状況。 |

| | |
|---------|---|
| 0:45:23 | 確認です。 |
| 0:45:24 | でもよろしいでしょうか。 |
| 0:45:26 | はい、日本医師会、ホリグチ二本木社でございますちょっと順番にいかないと、確かに混同するので、まずS A側の健全性説明書の |
| 0:45:38 | 常設重大事故対処設備は、可搬型重大事故T H A I設備はっていう主語で環境条件の話をしているところがありまして、これについては、設備に対するS Eの考慮と、 |
| 0:45:51 | いうのをしてます。それがもともとこのS Aの5店舗行った時に説明するのがこの水冷で6-1-1の6-2の添付書類。 |
| 0:46:01 | でやろうとしてることと同じになりますので主語はS A設備は何ですけども、ちょっと今の堀口が説明したのがちょっとグチャツとなっててあれなんですけど、防護対象設備はS A設備全般になります。 |
| 0:46:12 | 評価対象設備を同じようにS Aのテープでもやっているはずで、この考え方が、例えばですけど先ほど排風機みたいなものは、 |
| 0:46:23 | D Bの世界では動的機能維持することを期待してますけど、いわゆるS Aに行くとき経路にしかならないので、先ほど静的機器みたいなやつで評価対象の選定に入ってくるみたいなイメージのものがあるので、それは |
| 0:46:37 | 衛星の健全性の添付で整理をして対象物を決め、防護区域の設定まで持っていくという整理はすでにできていると思ってます。 |
| 0:46:47 | それをD B側に行けば引き渡せばいいという条件だと思ってます。 |
| 0:46:52 | あと操作場所の方も言った話をしている場所が、操作性のところ、健全性ではあるんですけどもここが、 |
| 0:47:03 | どこまで添付書類に展開され、D BのS Eへの引き渡しができるようになってるかは、今堀口さんの説明でいきますか。 |
| 0:47:16 | 鯖するところは、はい。ちょっと待ってくださいね。 |
| 0:47:20 | そこは抜けてるのか、まだ抜け出した申請書では抜けていて今自分たちで整理をしているのか、申請書上入っているのか。 |
| 0:47:31 | 青で、 |
| 0:47:39 | アクセスルートは入ってるんですけども、その入ってる、ちゅ、ありがたい部分があるってのが正しいかとなりますアクセスルートは、記載してるんですけどもそこに操作場所や設置場所、 |
| 0:47:51 | 設置場所っていう情報までは入ってなかったの、 |

| | |
|---------|--|
| 0:47:55 | 十分な記載にはなっていない、足りてないところがあったということです。以上です。 |
| 0:48:02 | 店長しみです。今入ってるって言ったのは評価対象として、 |
| 0:48:10 | 選ん。 |
| 0:48:12 | 抽出してたけど、五月雨で抜けてるところもあるか。 |
| 0:48:16 | もしれないっていうそういうことですか。 |
| 0:48:20 | 音源のホリグチその通りですアクセスルートっていう形では入ってたんですけどその中でも、 |
| 0:48:26 | 一部挙げてない、設置場所の評価基準っていうようなところで足りてないところがあったということです。はい。以上です。 |
| 0:48:35 | はい。 |
| 0:48:37 | 規制庁館です。そして今の足りてないっていうのか許可のタイミングでアクセスルートであるとか保管場所っちゃうのはもう遵守は終わってたと思っていて、今の足りてないっていうのが、想定する高さの評価がされてなかったっちゃう話なのか |
| 0:48:52 | 場所とかルートにおいて注意対象としてないものがあったっていう話なのかというどっちの話ですかね。 |
| 0:48:59 | 日本原燃の方の技術前者の方になります。状態です。なぜ抜けがあったというわけではなくて、その部分でどういうふうに評価をするかっていうところには、高さ概念とかに置いて、 |
| 0:49:09 | 何センチまでだったらアクセス可能であるとか何センチだったら今日対策対応であるっていうところで評価がちゃんとやられてなかったっちゃう話ですかね。 |
| 0:49:17 | 日本原電の本件してその通りです。規制庁館です対象の抽出話なのか、評価の話なのかごちゃ混ぜになると、ちょっと後で混乱するので、今の評価の話は、判断、すいません。 |
| 0:49:31 | 補足です。 |
| 0:49:33 | 今の話も、さっきのDBと同じで、 |
| 0:49:37 | 整理が必要で、 |
| 0:49:39 | 今何となく評価の話、収束したように見えましたけど、 |
| 0:49:44 | 操作場所、 |
| 0:49:46 | 操作箇所って言ったらいいですかね。 |

| | |
|---------|--|
| 0:49:48 | ということでは静的機器ということであまり意識してなかったっていうのが実態じゃないかなっていう気がしてですね。 |
| 0:49:57 | もうそれでいうとさっきのDBと一緒に、単純にアクセスできればいいということではなくて、操作できる状態にあるかどうか。 |
| 0:50:06 | ていうことを、どこまで考えてるかということ、或いはそのどう考えるかといったときに、当該場所を評価対象というのかどうか。 |
| 0:50:16 | ということだと思うんですけどそこはどう整理されたんですか。 |
| 0:50:27 | はい。日本原燃の堀口です。もともと |
| 0:50:32 | 評価対象。 |
| 0:50:35 | 棒退職防護対象。 |
| 0:50:37 | 書くっていう形になってなかったのでそこに関して、今後、 |
| 0:50:42 | 午後対象設備として、 |
| 0:50:45 | 加えてそれで評価をしようと考えています。 |
| 0:50:50 | 以上です。 |
| 0:50:52 | コサクです。それで言うと先ほどのA棟、Dの方で静的配管の開口部と、 |
| 0:50:58 | いうところと同じように、SAの操作箇所というのも、評価対象にするっていうことで、それによってその区画のA区画が、 |
| 0:51:09 | の位置付けが明確になり、評価項目もそれで追加になるということですかね。 |
| 0:51:15 | 権現のホリグチですおっしゃる通りです。 |
| 0:51:19 | はいコサクです。田尻さんどうぞ。 |
| 0:51:22 | 規制庁の丹治です。ちょっと頭の整理をしたいんですけど、もともとSA設備については良質だろうがファンだろうが対象でした。チェックとかやりましたで、それで僕のもともとの認識は操作箇所だろうがアクセスルートだろうがすべての箇所が評価。 |
| 0:51:37 | 場所だと思ってたんですけど、原電は今んところそれをやってなくて改めてそこを整理していると思えばいいですかね。 |
| 0:51:53 | はい。ちょっと待って。はい。 |
| 0:51:57 | ちょっとちょっと待ってください。 |
| 0:52:12 | 日本原燃の堀切です。 |
| 0:52:15 | 表、区画として、 |

| | |
|---------|---|
| 0:52:18 | さっきの福崎さんと同じだけど、区画として設定が足りてなかったの それで改めて設定し直すので、評価として、規制庁タジリない自体はO Kね言いたいのは何かって言うと、さっきDBところだったら、まず安 全全部抜いてきますよって言って、 |
| 0:52:36 | 除外条件はこれですって話しました。さっき設備のところは石原さんが 言われて、基本DBと同じ考え方で、ただ、SA時に期待する機能によ って除外するものが増えるかもしれませんというところまでやりまし た。 |
| 0:52:48 | 今、アクセスルートとかに関しても、基本は全部入れるんですって言っ た上でどこを準備するかの話をするんだと思ったんですよ。除外の要件 がないんだとしたら、全部が対象です。全部が対象のはずなんだけどや ってませんでしたって、 |
| 0:53:02 | 今やってますで終わりの気がするんですけど、何か除外する場合ってあ るんですけど。 |
| 0:53:13 | 来ないです。全部ですねあります。ない。日本原燃堀口です除外する ところはないということになります。はい。規制庁田井です。なんで、ア クセスルートの操作場所も全部抽出します。そこんところで、男性って いう高さだったら大丈夫かっていう話は後でしますっていうこと ですね。状況はわかりました。 |
| 0:53:32 | コサクです。もうちょっと正しく言ってもらわないと。 |
| 0:53:35 | 状況認識が合わないような気がするんですけど。 |
| 0:53:38 | 最終的には除外するものはなくて、それぞれちゃんとした着眼点を抜け 漏れなく対応していきますということなんだとは理解しましたが、 |
| 0:53:50 | じゃあ何で今回操作箇所についての扱いが漏れてたというんだと。 |
| 0:53:55 | ということで、 |
| 0:53:58 | 作業手順上、除外ということは入れてなかったものの、 |
| 0:54:04 | 実態問題とすると操作箇所についての検討を漏らしてた。 |
| 0:54:10 | ということですよね。 |
| 0:54:12 | 日本原燃のホリグチその通りです行きつければ操作できるだろうとい うことで、それで、水位が高くても、何とかできるだろうということで、 |
| 0:54:24 | 細かいところの評価が抜けていたということです。 |

| | |
|---------|--|
| 0:54:29 | はい、古作です。これで状況は多分、脅威認識共有できたと思いますので、そういったところも漏らさずにしっかりと説明するように整理をお願いします。以上です。 |
| 0:54:41 | はい、わかりました。 |
| 0:54:44 | はい。規制庁清水です。 |
| 0:54:46 | とりあえず防護対象設備の選定評価対象の選定っていうところまで話したんですけどここまで規制庁側から他確認等ございますでしょうか。 |
| 0:54:57 | 規制庁の田尻です。ちょっと細かな話なんですけど、さっき側で映してもらったやつの図面のところ |
| 0:55:05 | 削除する区域みたいなやつがいたんですけどそういうパターンもあるんですか。さっきどっかすみません、何て書いてあったか、うろ覚えなんですけど。 |
| 0:55:19 | 黒い色の、規制庁たです黒い色って何でしたっけ。 |
| 0:55:23 | はい。日本原燃塩崎でございます。 |
| 0:55:28 | 今整理をやってるところなんですけれども、特に（４）でですね、過剰に捨てる可能性があるところもあるので、 |
| 0:55:36 | もうそこちゃんと整理しますが、黒が出るかもしれないですということで判例では残してますけ、入れているところです。 |
| 0:55:44 | 規制庁谷です。今どこかって話ではないけど改めて機能を踏まえながら、除外要件当たるか当たらないかっていうのをやっていってるところなので、その整理結果次第で、 |
| 0:55:55 | 説明する者がいるかもしれませんがよぐらいに思っとけばいいですかね現時点だと。 |
| 0:56:01 | はい。養命酒だけです。歯切れ悪くて申し訳ないですけど、今の制度としてはそういうところでございます。 |
| 0:56:06 | はい規制庁谷井です矢田さんにこの資料がここ出てきた時にいきなり作業するっていうのが居たときに何かなって思ったんで聞いてみただけなんで状況はわかりましたありがとうございます。 |
| 0:56:18 | 規制庁清水です。他、規制庁側からここまで確認何かあるでしょうか。 |
| 0:56:26 | よろしければ次の項目に進みたいと思います。 |

| | |
|---------|--|
| 0:56:30 | あと次 179 ページから溢水評価条件の設定っていうところに説明さ規制庁です。1 点忘れたんですけど 178 ページのところで、図面書かれていて十分検討してますという話があったんですけど、 |
| 0:56:44 | どんなふうにしてしようとしてるかとかね今考えありますか修正はコメントしたんで多分されてると思いつつ、どんなふうに関今仕事してるかぐらいの認識を合わせておくと、大きくずれないかなと思うんですけど。 |
| 0:56:57 | はい。日本原燃篠崎でございます。 |
| 0:56:59 | 内部火災と比較した時ですね、 |
| 0:57:03 | まず防護区画、これは防護すべき対象がある部屋に防護区画を設定しますよという前提で、どこに何があるかっていう規制にですね、この部屋が防護区画ですという情報しかございませんので、 |
| 0:57:17 | ちょっと笠井側に当たってですね、 |
| 0:57:20 | 上の第 2-1 表を参照しなくても、その防護区画図に始まる失礼しました防護区画にある防護対象が何だったのを、 |
| 0:57:30 | 唐木田井中間こえたいと思ってございます。 |
| 0:57:33 | それに加えて部屋単位でというふうに、これも各設定してるんですが、その境界がこの図面だと見えづらいというところもありますので、 |
| 0:57:42 | 枠としてですね、しっかり囲って区画が、 |
| 0:57:46 | 核のバウンダリーがわかるようなことを考えてございます。 |
| 0:57:51 | はい。衛藤。 |
| 0:57:53 | 添付書類 2 で見せようとしてる角田そういった、修正を行うことを、現状考えてございます。以上です。 |
| 0:58:00 | はい。規制庁館です。今おっしゃられたように添付としては何かそれぐらいのイメージをお持ちなんですけど、今まさに添付って言われたところとの絡みで、補足だともうちょっと何か両方入れたやつ作るんですかねちょっと御社の場合配管とか本すぎるんで、どこまでっていうところあるんですけど、 |
| 0:58:16 | 外から伊勢安藤等てますよとかってやったところもあった気はしつつなんですけど、どこまで要は、添付で何示した補足で図面の方に示すんですとかって考えあります。 |
| 0:58:31 | はい。日本原燃篠崎です。田尻さんおっしゃっていただいた通り配管がものすごいございますので、 |

| | |
|---------|--|
| 0:58:37 | 1 水源を図面に全部落とすのが難しい困難だというふうには考えてリストの間にしてございました。 |
| 0:58:46 | ちょっと相談させていただければと思います。あとまだ添付書類2の世界では、 |
| 0:58:53 | 溢水対策設備ですね例えば堰防水扉がどこにあるかといった情報をここで入れるのは、まだ早いんですが、 |
| 0:59:01 | トラックの評価対象、評価のですね。 |
| 0:59:03 | 条件というところになりますので、 |
| 0:59:06 | これ規制庁さんからもご意見ありましたけれども、この企画部のですね、水対策設備、どこに石がついてるなど降水扉がついているのかという二つも、補足ではどこかで必要。 |
| 0:59:17 | になるなというふうに考えてございます。土肥水源除外ですね |
| 0:59:23 | これも、その図でどう締める使っているの今ちょっと悩んでるところで、検討してるところでございました。以上です。 |
| 0:59:29 | はい。規制庁田尻です。ちょっと店舗補足の議論を最初からやる場所なしそうなのでこれやってくとは思いますが、火災の方にもお願いしたんですけど、特に火災と溢水は建屋内の部屋全部が対象になって、かつ、 |
| 0:59:45 | 火災系とか、防護対象とか対策とか、いろんな本示さなきゃいけないで、1枚の図面で示すと大変だからっていうと同じ図面が何回も出てくることが多くて、何でとりあえずどこの図面で何を説明しようとしてるのか。 |
| 0:59:58 | ていうのをまとめた上で説明していただけると助かるそこに水にもお願いしてて、葛西にもお願いしてて、一斉に言ったかどうか忘れたんで今ちょっとコメントさせていただきました。 |
| 1:00:11 | はい。日本原燃篠崎です。内部火災のチームからは、どの図で何を示すのかといった整理が必要だよというのは喫水にも変化が必要というふうに聞いていましたので、はい。対応させていただきます。 |
| 1:00:25 | はい。規制庁谷井です。いずれ必要情報を盛り込んだ図面をちゃんと整備していこうとしている状況というのだけ理解したので、この具体的に詰めていければと思うのでよろしく申し上げます。 |
| 1:00:37 | はい。規制庁吉見です。ここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 1:00:44 | いければ、次の項目に行って、 |
| 1:00:47 | 提出評価条件の設定っていうところでまずは |
| 1:00:51 | 178 ページに、目次ありますけどもまず溢水原因及び水量の設定っていうことで、各要因ごとに説明が入るので、 |
| 1:01:03 | これ、 |
| 1:01:04 | 順番にまずは想定破損による溢水について、水源と溢水量の設定についてどうしていったかっていうことを確認して、 |
| 1:01:14 | 次は消火水等の放水っていうことで順番に確認したいと思うのでまずはあの想定破損について原燃側から説明の方をお願いします。 |
| 1:01:25 | はい。日本原燃篠崎です。では以前副処理さんですね、溢水評価条件の設定ということで 180 ページから説明させていただきます。 |
| 1:01:35 | 細かいところがありまして目次はですね、資料構成の違いによるものでして、 |
| 1:01:43 | 中身については同等の内容を道路と書いてございます。 |
| 1:01:46 | 一つ大きな違いはですね。 |
| 1:01:48 | 我々、溢水評価条件の設定といった、この添付書類の中で、被水評価方法すべてを述べて、次の添付書類 4 というところでは評価結果だけを載せるといったような、 |
| 1:02:03 | 分け方にしてございますので、ちょっとそこがですねこの添付書類 3、4 との分担の違うところということで、大きな違いになってございます。 |
| 1:02:14 | ちょっと今まで、今の |
| 1:02:17 | 別紙 4-3 共通 0 別紙 4 の 3 行ですねそこをうまく 1 も、 |
| 1:02:22 | 参照させるページが上手くいったりしてないところがありますので、はちょっと今後修正させていただこうと思っております。 |
| 1:02:30 | はい。181 ページは特にご説明するところございませんで、水源及び水の設定ってのは想定破損、消火水、地震起因による溢水そのため止水といった、 |
| 1:02:42 | ところで設定してございます。いうところですよ。182 ページの中頃ですけども、 |
| 1:02:49 | 水銀となり得る機器ってのは流体を内包する配管と容器を全部選んでるんですが、 |
| 1:02:55 | ここで、 |

| | |
|---------|---|
| 1:02:58 | 化学薬品ですね、の配慮について真ん中ほどに記載を加えてごさいます。 |
| 1:03:04 | 化学薬品につきましても、機器に内包される液体であることを踏まえ、要するに領域という特性で化学薬品も溢水元と設定してこちらの方で扱っていくというような宣言をしているところでごさいます。 |
| 1:03:22 | はい。あとは、183 ページに行きまして、具体的想定破損による溢水でごさいます、 |
| 1:03:33 | 配管ですね、まずは破損を想定する機器っていうのは、流体を内包する配管というふうにしまして、配管の破損箇所を水源として設定すると。 |
| 1:03:45 | その配管つきましては講演配管底に配管に分類しまして、 |
| 1:03:52 | それぞれ、後にですね公園の定義定例のはい、定義といったところを展開してございまして、 |
| 1:03:59 | 基本、高遠配管につきましては、完全全周破断テイネン配管については、貫通クラックを想定するといった原則にのっとりながら、 |
| 1:04:10 | 185 ページになりますが、 |
| 1:04:16 | 許容力とのすいません、応力評価を実施しまして、共用応力との値で |
| 1:04:24 | 破損の想定不要ですとか、破損形状を変えるといったようなことを行いますということを書いてございさいます。 |
| 1:04:35 | はい。186 ページの頭に、このように応力評価の結果で、破損形状を、 |
| 1:04:42 | 破損不要ですとか、破損想定不要ですとか、形状を変えますといった場合につきましては、 |
| 1:04:49 | 継続的な肉厚管理を実施することを保安規定に定めて管理するというここと、これ前回のヒアリングで落ちてきましたが、補足説明資料の中で |
| 1:04:59 | その保守管理につきましては、 |
| 1:05:01 | 説明させていただくことを予定してございさいます。 |
| 1:05:09 | はい。 |
| 1:05:10 | で、187 ページからは、今言いました、講演配管定年配管に対して、1000 円というものを設定していきますよということ、 |
| 1:05:25 | 書いてございまして、 |
| 1:05:27 | 結果ですね、第 2-189 ページになりますが、 |
| 1:05:33 | 高エネ配管の |

| | |
|---------|---|
| 1:05:38 | 有する系統の想定する発想形状、このような表で示していこうと思って ございます。右側にですね、この系統で完全全周破断ですとか、貫通ク ラックを想定してますといたつ ϕ 主に、 |
| 1:05:51 | 190 ページになります。 |
| 1:05:58 | はい。下段の方になりますが、テイネン配管のところですね。 |
| 1:06:03 | 一つ炉との違いということで書いてございますが、再処理ではですね、 応力評価の結果、破損形状を破損なしとする箇所がございますので、 |
| 1:06:13 | ここは、最終として明記しているところでございます。 |
| 1:06:17 | で、結果が 191 ページになりますが、提案配管の破損形状の想定期間の 2 章ということで設定してございます。 |
| 1:06:27 | 192 ページですけども、これがまだ 1 水源ということで溢水量どうなる のかといった見解が 192 ページからになります。 |
| 1:06:37 | はいそう想定する破損箇所がですね、防護すべき。 |
| 1:06:44 | 防護すべき設備の位置関係におきまして、溢水の影響最も大きくなる位 置と設定し、 |
| 1:06:51 | はい。漏えい停止するまでの時間を適切に考慮しまして、 |
| 1:06:56 | 流出量を、 |
| 1:06:59 | すいません流出量と隔離後の溢水量。 |
| 1:07:02 | それを合算していずれも設定していくというようなことを書かせていた だいております。 |
| 1:07:12 | はい。 |
| 1:07:15 | で、195 ページになりますが、 |
| 1:07:20 | 結果ですね、田井の 3 票というところにあります。 |
| 1:07:24 | 須賀。 |
| 1:07:25 | 想定破損による溢水量、こういう破損形状で、こういう溢水量になるよ と云ったのを表でまとめているところでございます。 |
| 1:07:33 | はい想定破損に関するところにつきまして、概要は以上でございます。 |
| 1:07:39 | はい。 |
| 1:07:40 | 規制庁清水ですと。 |
| 1:07:43 | 順番に確認 |
| 1:07:44 | したいと思います。 |
| 1:07:46 | 細谷さんに溢水のまず 1 水源の設定っていうところでまだやってることは、 |

| | |
|---------|--|
| 1:07:52 | 溢水ガイド泊ツールに同じような、 |
| 1:07:57 | 流れでやっているって思ってた、 |
| 1:08:00 | ちょっと具体的に確認したいんですけども |
| 1:08:06 | 原則、低エネルギー配管は貫通クラック、高エネルギー配管は完全全周破断だけど、 |
| 1:08:15 | 必要に応じて、まず必要に応じて補強等をしてる場合もがあって、 |
| 1:08:22 | かつ応力評価をして、 |
| 1:08:25 | 詳細な評価して |
| 1:08:28 | 破損形状を変更しているってところで、結果が示されてるんですけども、 |
| 1:08:35 | まずその 186 ページで、 |
| 1:08:39 | 日曜の方はは、 |
| 1:08:43 | 発生応力と許容力の比較により破損形状の想定を、 |
| 1:08:47 | 行う配管はっていうことで大きく 2 項目挙げて原燃が元の方は表で、詳細を書いているからっていうことで、 |
| 1:08:58 | 備考に説明あるんですけども、 |
| 1:09:02 | そもそもその再処理側で、 |
| 1:09:06 | 許容応力の詳細な評価をして破産形状の想定をした。 |
| 1:09:12 | 配管っていうのの考え方と違ってあるんですかねそれともあの表に書いてあるもの。 |
| 1:09:19 | やりましたって言うくらいですかね。 |
| 1:09:29 | はい日本原燃篠崎でございます。 |
| 1:09:33 | どうしても現場の状況に応じてっていったところは強いんですが、配管。 |
| 1:09:39 | 溶液を保有している配管多数。 |
| 1:09:42 | 大変ございますので、 |
| 1:09:44 | これ全部漏らしてしまうとですね。 |
| 1:09:47 | とても対策追いつかないといったところにつきましては、応力評価をやる、或いはその堰防水扉等、 |
| 1:09:56 | 言い方がいいんですけどつけたくないというか、現場につけづらいところについては、想定破損を起こさないといった評価補強を行うことで、 |

| | |
|---------|--|
| 1:10:04 | 守りにいくといったような、その状況に応じて、守りにいくパターン漏らさないのか、戻したのから守るのかといったのを決めていたといった経緯がございます。 |
| 1:10:16 | 設計をやってございます。以上です。はい。規制庁清水です。実用炉では186ページに、 |
| 1:10:24 | やったところは大きくこういうところとこういうところですよってということで項目あげてるけども、原燃側特にそういう、何ですかね、限定的にこうかけるようなものじゃなくて、現場の状況、 |
| 1:10:35 | 見て厳しくなって、 |
| 1:10:38 | 評価が厳しくなるものはそういう、 |
| 1:10:42 | 努力評価をしましたっていう、そういう状況だと理解しました。 |
| 1:10:48 | で、 |
| 1:10:51 | 所。 |
| 1:10:53 | 結果を、応力評価とかした結果が破損する形状破損を想定する。 |
| 1:11:00 | 想定する破損形状を表に示しますよってということで書かれてるんですけども、例えば189ページで、 |
| 1:11:09 | 例がちょっと載ってるんですけど、ここ想定する破損形状っていうところで、なんか2段構成になってたりスルーのは、 |
| 1:11:20 | 上は、まずは原則として、 |
| 1:11:24 | 高エネルギー配管だったら、 |
| 1:11:27 | 全身破断、低エネルギー配管だったら、貫通クラックっていうのを書いた上でそのあとにしたのだ。 |
| 1:11:35 | に書かれるのが、 |
| 1:11:38 | 詳細な応力評価をして、想定実際に評価で想定する破損っていう形の構成で書かれてるんですかね。 |
| 1:11:49 | はい。日本原燃篠崎でございます。すごく書き方悩むんですが、これ系統に対して想定する破損警鐘という1例、一行で書いてしまってる。 |
| 1:12:00 | まとめ方をしてますのでこうなってますが、 |
| 1:12:03 | この系統においても、部分、 |
| 1:12:07 | ある部分においては完全全周破断、ある部分においては貫通クラックと、 |
| 1:12:12 | こうで、 |
| 1:12:14 | 両方の想定があるというところで、この系統の部位によって、 |

| | |
|---------|---|
| 1:12:21 | ちょっと手を変えて、水をしっかり出す、細かく出しているといったところでございます。 |
| 1:12:27 | 規制庁清水です。そういうことだったんで系統ってということで一つにまとめて書いてるから、 |
| 1:12:34 | この下の段のやつが評価に使ったとかじゃなくてこの両方を該当するってということで書かれてると理解しましたもう具体的に、 |
| 1:12:43 | 今はその何ですか、連携化とかそういうのでそういう整理をしてるのかもしれないんですけど、具体的な |
| 1:12:50 | どれは2台構成で書かれているようなものでどれが完全に支払いどれが貫通クラックとかそういうのは、補足説明資料とかでちゃんと示されるっていう、 |
| 1:13:00 | どうですか。 |
| 1:13:05 | はい。日本原燃の篠崎でございます。 |
| 1:13:08 | この除外、 |
| 1:13:11 | 先ほど阿久津のところでもありましたけど、 |
| 1:13:14 | リストなり、物なりで、どう表現していくかっていう、 |
| 1:13:19 | 特定させる情報としてどう表現していくのかって非常に悩んでるところでございまして、ちょっと整理して、どういう形で取りまとめていくのかっていうのは、ご相談させていただきたいと思ってました。以上です。 |
| 1:13:31 | はい。 |
| 1:13:34 | はい、ご相談じゃなくて、今後ご相談ってということですか。 |
| 1:13:39 | やっぱり、 |
| 1:13:40 | ちょっと関連して |
| 1:13:45 | 劣化評価を実施したところがどれなのかとか、あと補強したところがどれなのかとかそういったところも今申請書上は特にわからないんですけども、 |
| 1:13:57 | そういうのは今後具体で補足説明資料とかで説明されるんでしょうか。 |
| 1:14:04 | はい。日本原燃篠崎です。 |
| 1:14:07 | 先ほど悩んでると言いましたけどもその情報は必要だと思っておりますので、どのようにして整理して、どうか。はい。必要だと認識しています。 |

| | |
|---------|--|
| 1:14:18 | このやり方はすいませんちょっとご相談させていただくところがあるか と思います。 |
| 1:14:23 | はい。ちょっと示し方たでどこまでっていうところもあるかもしれない んですけどとりあえず水源の設定の考え方についてはわかりましたと。 |
| 1:14:34 | ちょっと続いて想定破損で溢水量の設定に関してちょっと確認をしたい んですけども、 |
| 1:14:42 | ちょっと若干細かい話になるんですけど、192 ページで、 |
| 1:14:48 | 読めて若干気になったところで教えていただきたいんですけど実用の方 で、192 ページの上の方のparaって、 |
| 1:15:02 | 漏えい箇所の隔離、上から 12344 行目あたりから漏えい箇所の隔離等に より、漏えい停止するまでの時間を考慮し、保守的に設定し、 |
| 1:15:12 | . 溢水量を算出するっていうか変えてここのその保守的に設定っていう のは、具体的に何を示しているのかなと思って。 |
| 1:15:22 | これその前に書かれてるルーなんですかね漏えい停止するまで時間を考慮 する。 |
| 1:15:27 | することに関連する保守的な設定なのかそもそも全体的に溢水量の設定 において保守的にいろいろ、 |
| 1:15:37 | 算出してますよっていうところを指してるのかっていうのが、 |
| 1:15:43 | もしわかればね、もしその内容によっては、再処理側でも何か考慮があ るのかなと思ったんですけどもいかがでしょうか。 |
| 1:15:53 | 関西電力の笹です。溢水量の設定というところでロガーの方なんです が、溢水が出たときに、移動検知というか警報が出ますと、 |
| 1:16:04 | それを形を検知した後にですね 10 分間ルールで、事象の判断をする という、10 分間のルールを、時間を設けてます。 |
| 1:16:13 | そのあと漏えい箇所の特定をして、あと隔離ということになって、そこ で保守性を持っているというご説明を動画でもしております。で、今回 最初に側にちょっとここは |
| 1:16:26 | ロガーもですね |
| 1:16:29 | それを区切った絵をつけてるんですけど、今回ちょっとこれテープには ついてないんですけど、そこも踏まえて再処理側でもですねそういうこ とでわかるような形で保守性を持っているということをご説明していく と思っております。以上です。 |
| 1:16:43 | はい。規制庁シミズありがとうございます。ここの姿勢っていうのは |

| | |
|---------|---|
| 1:16:49 | 検知から隔離っていうその時間の関係の保守性ってことでの後ろの方で、 |
| 1:16:56 | 最初にがんを、 |
| 1:16:58 | その見地から隔離して、 |
| 1:17:02 | いうところで、青字的に何か考慮してるみたいな説明はあったのでその再処理側でも購入されている事項っていうことでとりあえずは、 |
| 1:17:11 | 概要としてはわかりました。ありがとうございます。 |
| 1:17:18 | 規制庁谷です。つまらない話なんですけど、そこ。 |
| 1:17:21 | 前年は適切にというふうになんか保守的にとまでは宣言しないようにしてんのかなと思ったんですが何かここ触っつけてでしたっけ。 |
| 1:17:39 | 関西電力の笹田でございます。考えてる内容は、時間の設定は労働側でも、原燃さんでも一緒でございます。 |
| 1:17:49 | ちょっと記載をもうちょっと直した方がいいかもわかりません。そこはちょっと検討させてください。以上です。 |
| 1:17:58 | 他の考え方は特に先方から差をつけてないという認識でいいですかね。 |
| 1:18:10 | 関西電力の曾田でございます。炉と一緒にございます。 |
| 1:18:15 | はい。規制庁鳥井です。なんでそれが二重に一緒であることを今後説明されると思っておけばいいですかね。 |
| 1:18:21 | はい。今添付の方でこう書いてあります。あとまた補足も出て参りますので、そこでしっかり記載をし、ご説明をしていきたいと思っております。以上です。 |
| 1:18:32 | はい。規制庁鳥巢助教わかりました。 |
| 1:18:36 | はい。 |
| 1:18:38 | 続いて、古作です。ちなみに、笹川さんの実用炉の方の状況を説明いただいたのはよかったんですけど、 |
| 1:18:46 | 原燃が本来言うべきところまで行っていただいたような気がしていて、 |
| 1:18:50 | そこはあれですか。 |
| 1:18:52 | 現に相当に支援協力をしてるってことなんですか。 |
| 1:18:57 | 神野層、いやそういうつもりではなくて、今ろでどうでしたかというご質問だったんで、お答えさしていただいたということでございます。はい。 |
| 1:19:06 | 小崎です状況わかりました。 |
| 1:19:10 | 荘司さんすいません。どうぞ。 |

| | |
|---------|--|
| 1:19:13 | 吉見です。 |
| 1:19:15 | て、 |
| 1:19:16 | なんですけども、溢水量の設定っていうところで193ページで、 |
| 1:19:22 | 一番最後ですね |
| 1:19:24 | 安全率IIについてただし書きで蒸気影響では、影響評価ではこの限りではないって言うんですけども、この安全率っていうのは没水とか、 |
| 1:19:36 | はい。 |
| 1:19:37 | それだと揺らぎとかがあるからその購入してて、長期影響では、 |
| 1:19:43 | 該当しないってことなんかちょっとこの安全率が何で蒸気影響評価ではこの限りではないのかっていうところをちょっとご説明いただけますでしょうか。 |
| 1:20:02 | 少々お待ちください。 |
| 1:20:49 | あ、 |
| 1:21:00 | それを聞くとまずなんですけど。 |
| 1:21:10 | 規制庁塩見です。ちょっと確認中のついでに、この箇所で細かい話で聞いてみたいんですけど、 |
| 1:21:17 | 安全率、今マスクング対象になってるんですけど局あの整理資料とかだと出てたんですけどなんかそこも考え方変わったのかとかついでにもしわかれば教えていただけると。 |
| 1:22:10 | 規制庁館ですけど元聞こえてはいますか。 |
| 1:22:13 | すいません日本原燃磯崎です。聞こえてます。 |
| 1:22:19 | 吉井。あれですかね確認に時間失礼します。1.1倍。長計許可で入れてないのは、すいません。ちゃんと整理して説明させていただきます。お時間ください。 |
| 1:22:32 | 識別まで、多分、松木が誤りだと思いますこちらも確認します。 |
| 1:22:38 | はい。ここだけじゃなくて許可の時に出てたのに、マスクングになる箇所があったので、全体的に確認お願いします。 |
| 1:22:48 | 規制庁谷です。ちなみに、マスクングを選ばれたらいいんですけど今発話された気がするんで、マスクング対象だった場合は、ちゃんと言っていたければ後でも、はい。 |
| 1:23:00 | はい。大変失礼いたしました。 |
| 1:23:03 | うん。規制庁清水です。加古助教今日のは、このただし書きがちょっと確認して、後で回答会。 |

| | |
|---------|---|
| 1:23:11 | 次の時に回答かっていうことで、 |
| 1:23:14 | 次の確認に進みたいんですけども 194 ページで、 |
| 1:23:21 | またこの溢水量の設定のところでお書きで隔離操作により隔離型のターンできる範囲と、 |
| 1:23:27 | あと機能とか最近の気持ちの観点から流出しないと判断できる範囲が明確なときはその範囲を除きますよっていうことで、 |
| 1:23:36 | この前者とか若生実用炉の方は何か記載がないんですけども、具体的 2 個の |
| 1:23:42 | 値を、 |
| 1:23:44 | 教えていただきたいんですけども。 |
| 1:23:46 | 隔離操作により隔離が可能と判断できる範囲。 |
| 1:23:50 | 今明確で除いたってのは例えばどういうことでしょうか。 |
| 1:24:00 | 日本原燃の赤松です。 |
| 1:24:02 | 当然その前者の隔離操作によりっていうところは、 |
| 1:24:07 | そので遊んで |
| 1:24:10 | バウンダリとして、手動弁を切ると、漏えいした |
| 1:24:15 | 漏えいを検知して、そこでここに該当する手動弁を |
| 1:24:21 | オンラインとできると。 |
| 1:24:22 | いうところがありますので、そういうところ、そういうことを最初の方は行ってあります。で、二つ目の、 |
| 1:24:30 | 井野高田や配管の引き回しの、 |
| 1:24:33 | 観点からという、申し上げていますのは、これ重力上の系統が該当しまして、例えば、一つの系統の上の方で破損しました。 |
| 1:24:43 | いうときに、重力流であれば、それ破損箇所より下の部分は漏れてきませんので、 |
| 1:24:48 | そういったところを踏まえて設計するという趣旨の記載でございます。以上です。 |
| 1:24:56 | はい。規制庁清水です。 |
| 1:24:58 | どなたかのイメージつきました。はい。世古館です。僕がわからなかったんで聞きたいんですけど今の隔離操作により隔離が可能と判断できる範囲っていうのは、1 個狭いところでは、お話している各時間とかを考慮して、その分は漏れちゃうけどそれ以上のものはっていう話ですかそれともまた別の話ですか。 |

| | |
|---------|--|
| 1:25:18 | 日本原燃の赤間です。そのご認識でございます。 |
| 1:25:21 | 聞いておったりです。なんで、前段部分とかぶってると思えばいいんですかね。 |
| 1:25:26 | いや何かを書いてなくて、御社が独自に書いてるっていうことなのか、いや、ロガー頭の中で範疇で読めるっていう話なのかその前に書いてあって書いてないだけなんですよって話なのかちょっとわかんなかったんで。 |
| 1:25:51 | ちょっと私が言っているかどうかあれなんですけど、関西電力の佐田でございます。ただし配管のロガーの貼付処理ないし配管の方に行きました点から、 |
| 1:26:03 | 吉谷タカナシ君範囲明確に示せる場合はと書いてあったんですけど、これは尾野の方は |
| 1:26:10 | こうやりますけど、前に隔離時間は、元に考えてやっています。ですから、そごはございません。一方原燃さんの方も、 |
| 1:26:23 | 書いてあるんですけどちょっと、すいません。私も含めて、確認をさせていただきます。現実はどうなるかというのを、改めてご回答させていただきます。 |
| 1:26:32 | はい。規制庁佐治です。かぶってるならいらぬ気もするし、何か意図するものが別のものだった後で出てきたときに困るのでっていうだけなんで、整理した結果をまた教えていただければと思います。 |
| 1:26:48 | うん。 |
| 1:26:49 | はい、規制庁シミズ確認の方よろしく申し上げます。 |
| 1:26:55 | とりあえず想定破損に関する1水源の設定溢水量の設定っていうところについて私からの確認は以上ですが他はここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 1:27:08 | 規制庁の田尻です。ちょっと1点お聞きしてみたいんですけど、190ページのところで、 |
| 1:27:15 | て中居管所補強しますよっちゅう話が出てくるんですけど、 |
| 1:27:21 | これは、 |
| 1:27:23 | ちょっと細かい話かもしれないけど今設備とかのところのリストのところで補強しますしませんみたいな話とかあるんですけど、そこで工事対象として何か登録されてきてる話ですかね何か。 |

| | |
|---------|---|
| 1:27:33 | 耐震補強という話では聞いてはいたんですけどこれ、耐震補強とはまた別ですよ耐震の評価っばいやつやるかもしんないですけど。 |
| 1:27:48 | 少々お待ちください。 |
| 1:28:07 | 規制庁谷です。ついでにそんだけに答えてもらえばと思うんですけど、 |
| 1:28:12 | 普通溢水評価して、やられそうだったら、防護対策設備設けたり、対策講じる気がするんですけど、その一種として、水源のほうを削除しにいく対策として補強工事をしていう感じに見えるんですけど。 |
| 1:28:24 | どんなふうに使分けしてるんでしたっけ。 |
| 1:28:36 | 小峰白木すいませんちょっと質問の意図があり、掴まいけませんし、大変申し上げます。もう一度お願いできますか。二つ目のやつは要は、例えば被水しちゃうんですっていうんだったら、被水防護盤とかを設置するパターンもあると思うんですけど。 |
| 1:28:51 | それ簿価を設ける対策じゃなくて溢水研の方が石毛にならない対策を講じる場合もあるっちゃうのがこの記載に見えるんですけど、どういった場合はどっちを選ぶかって何か考え方があったっけ。 |
| 1:29:04 | 後で対策のところの説明するってんだったらそれでも構わないですけど。 |
| 1:29:09 | はい。御礼念書だけです。ちょっと先ほどの質問の回答と少し重複するところあるんですが、明確に、例えば想定破損による被水に対して、 |
| 1:29:21 | 漏れない方、対策を優先する、或いは衛藤板をつける方を優先するといった違いはございませんで、 |
| 1:29:29 | これも先ほど言いましたようにちょっと現場の状況に応じて、配管と守るべきの位置関係或いは配管の量ですとか、そういった防護バーみたいなのが設置できるのかどうかといったところを総合的に踏まえて、 |
| 1:29:42 | どちらを採用するかっていうのを決めて参りました。以上です。 |
| 1:29:46 | 宮城理事長でございます塩崎さん。多分そうではなくて、この190ページ、対策ってわざわざ書いてるじゃないすか。 |
| 1:29:54 | B C開発の配管の地震の溢水は、 |
| 1:29:58 | B CクラスでもS sに耐えるものは、水にしませんと言ってそこで補強しますとか特に言ってないですよ。 |
| 1:30:07 | なぜこっちだけわざわざ対策って銘打って書いたのって、これによって多分後に出てくる対策設備との差がよくわかんなくなっちゃってる。 |

| | |
|---------|--|
| 1:30:16 | ということだけなんじゃないかなと。もともとそういうのも考慮した上で、破損なしにしますと言って、補強補強でやりますんですけど、何か位置付けが二つで差が出てるようになっていうところが、 |
| 1:30:28 | 何かおかしくないかっていうことだと思うんですけど。 |
| 1:30:31 | 規制庁田尻です。 |
| 1:30:33 | とりあえず 201 ページも耐震補強しつていうのを言っちゃってるんで微妙なんですけど、 |
| 1:30:38 | どっちがにあたり玉野かちゅう話Cなのかしらんですけど、評価した上で、対策設備設けるところが厳しいところは補強してますと、ベースは思っとけばいいですかね。 |
| 1:30:55 | はい。日本原燃篠崎です。そうでございます。耐震の方でもちょっと補強というキーワードが入ってございます。その対策としてですね、 |
| 1:31:03 | ちょっとこれを除外をですね対策とするのか、 |
| 1:31:08 | 位置付けちょっと曖昧なところがあるというふうに、先ほど石原の指摘でも認識しましたので、ちょっと整理します。 |
| 1:31:15 | 規制庁谷です。最初の問いに近いんですけど、結局リストの中で、耐震補強するものとか今リスト解決もらってる気がして、ここは、 |
| 1:31:24 | 今日何補強って言っても結局耐震補強に近いことやってんだと思うんですけど、あの場所の特定とかしていかなきゃいけないような気もするので、 |
| 1:31:32 | どこがとかっていうところがわかるようになって今後していただければと思うんでよろしくお願いします。 |
| 1:31:41 | はい、承知しました。 |
| 1:31:43 | 日本原燃篠崎です。 |
| 1:31:46 | コサクです。 |
| 1:31:47 | 最初の方でも、 |
| 1:31:52 | 一つの系統で対応が違ってるところがあってどう表現すればいいのかと。 |
| 1:31:57 | いう話もありましたけど、結局今、田尻が言ったように、補強なり、 |
| 1:32:05 | 手をつけてるところは明確にさせていただかないと、この後の使用前確認で困ることになると。 |
| 1:32:12 | ということですし、我々も |
| 1:32:18 | いろいろとしてみ、確実に見ておかなきゃいけないと。 |

| | |
|---------|---|
| 1:32:22 | ということですので、その点で、明確になるように整理をいただきたいと思います。 |
| 1:32:27 | 今の耐震補強の方とこちらの補強等というのも、できれば表現ぶりを合わせていただいて、どの場所でどういうふうに、 |
| 1:32:37 | やってることを明確にするのかということは体系的に整理いただければと思いますので、また状況説明いただければと思います。 |
| 1:32:50 | 上島だけ承知いたしました。 |
| 1:32:55 | うん。規制庁を示そうかと想定破損の溢水に溢水量の設定というところで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 1:33:05 | あとはその続いて消火水等の、 |
| 1:33:09 | 水について、溢水量水源の設定っていうところで原燃側説明をお願いします。 |
| 1:33:21 | すいません。補足です。志水さんすいません。今の話で、 |
| 1:33:25 | 工事の有無とかでB b図とかでまた違ってくるような気もするんですけどそのあたりってどういう状況になってます。 |
| 1:33:43 | はい。日本原燃磯崎です。 |
| 1:33:47 | 石毛から除外して、 |
| 1:33:49 | 藤飯野に、 |
| 1:33:52 | 整理してございます。 |
| 1:34:00 | コサクです。 |
| 1:34:01 | 工事の有無にかかわらず全体的にB - 2ですか。 |
| 1:34:10 | はい。日本永年シノザキです。おっしゃる通りです。衛藤。 |
| 1:34:17 | 都甲常務にかかわらず、そこをS E 部から除外するという、評価も含めてになりますが、B - 2という整理にしています。 |
| 1:34:28 | わかりますちなみに、1 水源にするといった系統は、 |
| 1:34:35 | 分類としてどこでしたっけ。 |
| 1:34:41 | はい、えっと、P - 4 で整理してござい日本原燃シノザキS P - 4 で整理してきた。 |
| 1:34:48 | そうです。わかりました。 |
| 1:34:51 | それもあれですね先ほどの |
| 1:34:54 | 水量を制限するみたいなところで何らかの要求がかかっていればB 2 で、 |
| 1:35:00 | 何も制限ラックっていうことであればB 4 だってことですかね。 |

| | |
|---------|---|
| 1:35:06 | はい。日本 e n i s h によるそのような考えで分類してございまして、 |
| 1:35:11 | はいコサクですわかりました。その上で B について、工事の有無というところで、先ほどの補強なり何なりがあるものは明確にさせていただいて、 |
| 1:35:22 | その内容は、申請書でもしっかりと対応付けるようにということで、対応いただくというふうに認識をしました。よろしく申し上げます。 |
| 1:35:33 | 規制庁、吉森です。 |
| 1:35:36 | 規制庁清水です。では続いて原燃側から説明をお願いします。 |
| 1:35:47 | はい。日本原燃篠崎でございます。195 ページ中段 2 ポツに、消火水等の方針による溢水というところから説明させていただきます。 |
| 1:35:58 | はい。まず消火水等の放水による溢水そのものでございますけれども、1 何を考慮するかと言いますと、屋内消火栓、あと水噴霧消火設備を考慮してございます。 |
| 1:36:10 | あと、これにはないんですが、その他消火設備、消防法上の消火設備ではないんですが、消火活動に供する設備としまして、 |
| 1:36:18 | 連結散水からの放水というのがございますので、最初は再処理ではそちらの方を入れているということを 195 ページいっぱいでございます。 |
| 1:36:27 | 196 ページの下からが、フナイ消火栓からの放水による溢水、 |
| 1:36:35 | ということで、 |
| 1:36:36 | 1 元は、屋内消火栓からの放水ということを設定しまして、 |
| 1:36:42 | 放水量と放水時間を乗ずることによって、失礼しました、単位時間当たりの放水量と、放水時間を乗ずることによって水量を設定するということを書いてございます。 |
| 1:36:59 | はい。で、198、中頃、 |
| 1:37:04 | からですけれども、 |
| 1:37:05 | はい。その溢水量の設定に当たりまして、具体的な数値について記載しているのが、それから 2、 |
| 1:37:13 | なります。 |
| 1:37:18 | はい。199 ページには船井消火栓以外からの放水による溢水ということで、屋内消火栓の放水と同じような構成で、 |
| 1:37:29 | 具体的な溢水量の設定の 200 ページにかけて、 |
| 1:37:33 | 出してございます。消火水一般ですが、どうぞ。 |
| 1:37:38 | はい。 |

| | |
|---------|---|
| 1:37:39 | 清町シミズです。消火水等の噴水について確認したいと思いますが、 |
| 1:37:46 | まず一番最初 1 債権が何やるかっていうところで、 |
| 1:37:50 | やっぱその文章的なところでよくわからなくなってしまったんですけども先ほど説明あったように、何があるかっていうところは屋内で消火設備、湖浄化設備と、 |
| 1:38:02 | あとは連結散水からの水っていうことなんですけど、 |
| 1:38:06 | あと 190 何かそこら辺をいろいろ説明された後に 196 ページの真ん中の方で、 |
| 1:38:13 | これらを踏まえてちょっとまとめられてる。 |
| 1:38:16 | 評価。これは消火水等の放水により水としてはっていうことでまとめられてるここで、 |
| 1:38:22 | 水での消火設備がないのって、 |
| 1:38:26 | これって何か。 |
| 1:38:28 | その水村だけな何か違いがあってここで書かれてないんですかね、ちょっと。 |
| 1:38:33 | すいませんが教えていただければ。 |
| 1:38:37 | はい。日本原燃篠崎です。ちょっと書き方が良くなかったかもしれん、消火設備って何ぞやというの上の方で、屋内消火栓と水噴霧消火設備だというふうに定義してございます。 |
| 1:38:48 | なのでここで言ってる消火設備及び連結散水化学っていうのは、もうちょっともう 1 個、具体例申しますと屋内消火栓、水噴霧消火設備、連結散水し、 |
| 1:38:58 | 設備という、この三つを選んでますということを、廃血もんでした。 |
| 1:39:05 | この消火設備の中に屋内消火設備等水噴霧、 |
| 1:39:10 | 何とか消火設備が入ってるっていうことですね。あ、すみません、理解しました。そういうことであってます。 |
| 1:39:18 | はい。日本電子尾崎です。すいません。表現はあれですが 195 ページのその 2 ポツ 2 の始まりの 2 行目ですね、そこがそれを定義づけている書き方になってございます。 |
| 1:39:29 | はい。 |
| 1:39:30 | 了解しました。 |
| 1:39:32 | 続いてもちっとこれも若干書き方的なところでわからなくなってしまったんですけど 197 ページの、 |

| | |
|---------|--|
| 1:39:40 | 実用炉の最後の方で書かれているもので、ちょっとこの備考欄の説明が、 |
| 1:39:46 | ざっくりしてるから、ちょっとよくわからなくなっちゃったんですけども。 |
| 1:39:51 | ここに書かれてるものは発電のこういう特有の設備でありっていうことで、 |
| 1:39:57 | こちらに書かれてる内容を読んでたんですけども、前半の方は実用炉、発電炉超え特有なのかなと思って途中から出てくる、並びに時、事故、 |
| 1:40:09 | 重大事故等対処設備を内包する緊急時対策所何とか何とか何とかと可搬型、 |
| 1:40:16 | 金融タンク室とかこういったところには、水消火を行わない消火手段を採用することで消火栓の放水は行わない設計とするって書かれて |
| 1:40:27 | こういうところ |
| 1:40:29 | 実水で消火行わないから、 |
| 1:40:32 | そういうところは |
| 1:40:35 | おい水源としてないよっていうことを書かれてるのかなと思ったんですけど。 |
| 1:40:39 | ここ3発煙の特有っていう今下原燃側はちょっと196ページの、 |
| 1:40:45 | 真ん中若干下の方で、水を使用する消火設備を用いないよなど区画は補正量0としますよっていうそこと対応してる内容っていうことですかねそれともまた何か発電が外れるので何か違いがあるんですか。 |
| 1:41:04 | はい、日本免震ゴムです。木戸さん今おっしゃられた通りです。最初にでも、水を使わずに消火設備、消火するものございましてそれを書いているのは195ページの中頃。 |
| 1:41:16 | 度では197ページのところでずらっと列挙しているというところがございます。以上です。 |
| 1:41:22 | はい、規制庁シミズ内容的には同じで、そういう考え、一声100のところがあるよっていうことが書かれてるだけっていうことで、 |
| 1:41:31 | 理解しました。 |
| 1:41:34 | ありがとうございます。 |
| 1:41:36 | あとまた続いて、 |
| 1:41:39 | 198ページ。 |

| | |
|---------|--|
| 1:41:43 | これもまたちょっと日降雨の書き方でちょっとよくわからなくなってしまったんですけども、198 ページの最後の下の方の説明。 |
| 1:41:53 | ここ再処理では、 |
| 1:41:56 | 2 ポツ 2 で考慮すべき推奨として整理してることに伴う差異って書かれてるんですけどちょっとこれよくわからなかったんですけど。 |
| 1:42:05 | これも書いてる場所が違いますよって言いたいだけっていうことですか。 |
| 1:42:21 | 日本原燃の赤松です。 |
| 1:42:26 | すいません。ちょっと待って。 |
| 1:43:33 | 規制庁シミズちょっと聞き方悪かった欲しいかもしれないんですけども内容的に何かロット変えてるところがあるのかっていうところで |
| 1:43:42 | 聞きたかったんで、その点で |
| 1:43:44 | 説明していただけたらと思います。 |
| 1:44:09 | 日本原燃塩田です。すいません。整理してからの再説明さしてください。 |
| 1:44:17 | はい。 |
| 1:44:17 | 規制庁清水さん、わかりました。ちょっとすいませんコサクです。 |
| 1:44:23 | 説明できないものを説明求めてもしょうがないので、 |
| 1:44:27 | 今説明しなくていいですけど、 |
| 1:44:30 | なんで説明できないのかを説明してください。 |
| 1:44:53 | はい。すいません日本原燃篠崎です。屋外の消火栓の配慮といったところに対して、ちょっとどこへ書いてるのさ、いや、かえって記憶ないんですけども。 |
| 1:45:04 | これちょっと、なんで入れてないのかってところが、すみませんすぐに答えが出ませんでした。 |
| 1:45:08 | すぐすいません。 |
| 1:45:12 | 備考に書かれてるわけで、 |
| 1:45:15 | わからないということはなくて、言葉じりが悪かったっていうのは別に、 |
| 1:45:21 | 揚げ足は取りませんが、 |
| 1:45:23 | 説明できないっていうのは、 |
| 1:45:25 | 士別者としてありえなくて、 |
| 1:45:28 | すいませんシノザキさんじゃなくて、 |

| | |
|---------|---|
| 1:45:31 | どなたなのかもしれませんが、書いた人どなたですか。 |
| 1:45:36 | どなたが落ちるんですけど、ぜひ、 |
| 1:45:44 | 日本のヤマモトです。私立比率下の |
| 1:45:48 | ここの今2ポツ2でっていう、ウで整理してるということで書いたんですけどすみません。 |
| 1:45:54 | ちょっとすいません入試なってしまいまして、申し訳ありません。 |
| 1:46:00 | 学校側です。なのでその書きぶりどうこうは言いませんけど、どういう趣旨のつもりだったかお答え。 |
| 1:46:07 | てください。 |
| 1:46:08 | いうことだし、それが明確に答えられないっていうのは何ですか、2ポツ2行見失ってしまったからっていうのは、いまいち何のことだかよくわかんないんですけど。 |
| 1:46:44 | すいませんコサクです。 |
| 1:46:46 | 時間ももったいないので、もう話はしませんけど、 |
| 1:46:50 | こういうことを一つ一つすぐに答えていただけないっていうのが時間の浪費だし、 |
| 1:46:55 | 1回分審査が遅れるということでその積み重ねが皆さんの第1回での、 |
| 1:47:01 | 2年間だったと。 |
| 1:47:03 | ということですから、 |
| 1:47:05 | 反省をしているのかというのが、常々思ってしまうところですよ。 |
| 1:47:10 | その時は自分じゃないって言われるかもしれませんが我々としては対原燃としては一緒ですので、 |
| 1:47:16 | しっかりと責任を持って一つ一つの記載をして、ヒアリングで臨んでいただきたいと思います。以上です。 |
| 1:47:26 | はい、門田シノザキスタッフ失礼しましたおっしゃる通りと思います。しっかり準備していかなきゃいけないことだと思いますので、はい。進退をして参ります。 |
| 1:47:39 | 伏見です。もうちょっとこの辺を確認して、 |
| 1:47:43 | 伝えるようにっていうことでよろしくお願いします。 |
| 1:47:46 | 続いてなんですけどもその次199ページから屋内消火栓以外からの放水による溢水っていうことで説明が入りまして、 |
| 1:47:55 | で、100ページで溢水量の設定のところ、bポツ連結II散水設備の水量の設定のただし書きのところ、 |

| | |
|---------|---|
| 1:48:09 | では、水源となる防火水槽の容量、マスキング数字を上限とするっていうことでただし書き書かれてるんですけどここの内容の意図するところとしては、 |
| 1:48:21 | bポツの蒸気で買い求めた溢水量が |
| 1:48:27 | S W I S S、 |
| 1:48:29 | 防火水槽の容量を超えた場合は、一律、この、 |
| 1:48:34 | ここに書かれてる数字を両容量として設定するっていう、そういう、 |
| 1:48:39 | 内容っていうことで間違いないでしょうか、それとも何か上限っていうことです。 |
| 1:48:45 | ちょっと若干その値がふわっとするんですけども、 |
| 1:48:49 | はい。日本原燃塩田瀬下の、今志水さんおっしゃっていただいた認識の通りでございます。連携散水設備は、この防火水槽から、水元真木ますので、 |
| 1:48:59 | そこの容量を超えることはない、実態としてないということで、それを講演的には40立米を値として用いますということを書いてございます。 |
| 1:49:11 | はい、規制庁シミズちょっと仲山マスキング相撲柴田失礼しました。はい、西崎です。今、数字をしゃべってしまいました。大変申し訳ございません。はい。 |
| 1:49:21 | 規制庁新です。ちなみにこの辺り全体として何でも好きよ桑原筋がたくさんあるんですけど、ここらは正しいんですかね。 |
| 1:49:32 | これでしょ。規制庁田井です。消防系ですよねこの話。 |
| 1:49:38 | 最後の水槽の話はと思うけどこれもなんで、マスキングはまだよくわからなかったんですけど。 |
| 1:49:46 | はい。日本原燃所だけです。もう先ほどもご指摘いただいた未金融適切かといったことを言われておりますので、 |
| 1:49:55 | はい。全般的にもう一度見たい、見て |
| 1:49:59 | 再度ですね、佐野松木部隊調整してチェックしたいと思います。失礼しました。 |
| 1:50:07 | 規制庁のシミズよろしくお願ひします。この記載について伊藤理解しましたので、 |
| 1:50:16 | この消火水等の溢水に関して水石毛の設定っていうところから規制庁側から何か確認等ありますでしょうか。規制庁の田尻です。 |

| | |
|---------|--|
| 1:50:27 | 次の耐震のところはメインになるのでここまでのところなんですけど、S A ってここまでは考え一緒とるときもいいんですけど。 |
| 1:50:36 | 表現のホリグチですはい考えは一緒になります。以上です。はい。規制庁谷です。何でこの後の耐震のところはちょっと 1.2 S s とかの話が出てくるけどここまでのところは、D B だの S A なのか、想定破損と消火水って意味ではどうせ変わらないからってというのは同じ整理がされてるってことですかね。 |
| 1:50:57 | 山野井シノザキです。おっしゃる通りでございます。はい。調達状況はわかりました。 |
| 1:51:05 | 規制庁清水です。ホッパー規制庁側から、 |
| 1:51:09 | 何かありますでしょうか。 |
| 1:51:13 | よろしければ一つ付けと、 |
| 1:51:16 | 地震議員の方で水源の設定の設定っていうところで設計年側から説明をお願いします。 |
| 1:51:24 | はい。日本原燃篠崎でございます。2 社 201 ページから、地震起因による溢水ということで、説明を進めさせていただきます。 |
| 1:51:33 | はい。 |
| 1:51:35 | まず地震計により数につきましては、 |
| 1:51:38 | 1 水源となり得る機器のうち、S s で地震力に対する耐震性確認されていない B C クラスに属する系統を出現として設置するといった、原則論書いてございまして、 |
| 1:51:52 | その下に、 |
| 1:51:53 | 耐震 B C クラス機器のうち、耐震評価上必要の、により耐震補強を行い持つものについては、溢水現地設定しないといった水準除外の考え方を書いてございます。 |
| 1:52:06 | 先ほど佐治さんからもございました通り、1.2 S s 要求につきましてはここにですね、 |
| 1:52:15 | 重大事故対処設備についてはというような、 |
| 1:52:21 | 地方で、1.2 S s の話とかをこういうところに入れていくものというふうを考えてございます。 |
| 1:52:26 | その下、燃料貯蔵プールピットのスロッシングによる溢水についての記載がございまして、 |
| 1:52:33 | ここが一つ炉と違うところでございます。 |

| | |
|---------|--|
| 1:52:37 | はい。炉ではですね。 |
| 1:52:42 | 通常状態と施設定期検査中で、状況が違っていつ、 |
| 1:52:48 | 水源、どこに水があるかってことの溢水量の設定が変わりますので、 |
| 1:52:53 | 施設定期検査中の評価についての配慮について記載をさせていただきます。 |
| 1:52:59 | 一方、再処理ではですね、 |
| 1:53:02 | 点検中も、プールに水が入り、入れっ放しで、状態は変わりませんので、 |
| 1:53:08 | このA棟、 |
| 1:53:11 | 記載については、施設定期検査中だなんて話は書いていないのですが、 |
| 1:53:17 | 通常状態と違う状態に対する、スロッシング1C評価、影響確認という意味では、 |
| 1:53:25 | 先日からですねご指摘いただいている通り、 |
| 1:53:28 | この後出てきます溢水量低減対策として設置します。 |
| 1:53:33 | プールの蓋みたいなのをですね、 |
| 1:53:38 | 佐治田井ではなくて蓋の下にある計器のメンテナンス等で、 |
| 1:53:42 | 一時的に取り外す可能性も可能性失礼しました時がございますので、 |
| 1:53:48 | そういった際ですね、 |
| 1:53:52 | 通常状態等異なるスロッシング時の考え方といったのは、今回論点で挙げて説明をさせていただかなければいけないものというふうにして認識させていただきます。 |
| 1:54:04 | はい。202 ページからが、溢水量の設置ということで、 |
| 1:54:12 | 基本的に想定破損のときですね、同じような構成で、 |
| 1:54:18 | 説明を書かせていただいております。 |
| 1:54:22 | 真ん中あたりに、 |
| 1:54:27 | 保有水量の安全率の話で、 |
| 1:54:30 | ただし、一応景況評価ではこの限りではないと先ほど指摘されたのと同じ、 |
| 1:54:36 | 答弁がございますので、ちょっとここについては、再確認して説明させていただきます。 |
| 1:54:45 | はい。204 ページですね、104 ページの |
| 1:54:51 | こういうのプロセスの話がございますので、ここはしっかり説明しなきゃいけないポイントだと思ってございますので、 |
| 1:54:57 | 添付書類、或いは補足説明資料で、スロッシングについては、 |

| | |
|---------|---|
| 1:55:04 | 細かく説明する資料がございますので、そこでしっかり説明させていただこうと考えております。 |
| 1:55:12 | はい。 |
| 1:55:14 | 200、 |
| 1:55:16 | 7 ページとかでこれも組織の話ですけれども、 |
| 1:55:20 | 具体的にどういうモデルで評価してるのかというところで先ほど言いました、そのモデル上ですね。 |
| 1:55:31 | 何をどういう条件で、ついてることにしてるのかといったような、こういったところまさに論点の2番でございます。 |
| 1:55:40 | 結果がですね、第2-4表、第2-1図、 |
| 1:55:47 | 炉心に関して、2の表2-6表というふうに、 |
| 1:55:51 | 応答は210ページから続いて参ります。 |
| 1:55:59 | はい。2-5表で、 |
| 1:56:02 | これも以前のヒアリングでもすでに指摘されておりますけれども、プールのスロッシングの解析条件で初期水位、蓋パターン用いてるところですね。 |
| 1:56:12 | こちらについてもなんで、この二つの初期水位で、 |
| 1:56:20 | 評価を開始するかみたいなのところも、ちゃんと補足説明資料の方には口頭でお伝えしましたが、書き出していきたくてございます。 |
| 1:56:28 | はい。簡単ですが地震起因による溢水、以上でございます。 |
| 1:56:34 | はい。規制庁清水です。何か全体的に整理中ですということちょっと具体的な、 |
| 1:56:41 | そのソーシング話とか整理状況っていうところは、 |
| 1:56:45 | 目がなかったのでもっと後で順番に確認したいんですけども、まず頭から201ページで1水源の設定っていうところで、 |
| 1:56:55 | 耐震BCクラス機器のうち耐震評価の上補強とかしてSsに対してもつやつは1水源としないっていうことで除外のことが書かれてるんですけども、 |
| 1:57:06 | その中後の、 |
| 1:57:08 | 比454ページ以降に配慮に関する何とかで、耐震の方針的な説明のあったところを見た感じだと、やっぱりBCクラス、はい。 |
| 1:57:21 | 菅機器は、 |

| | |
|---------|---|
| 1:57:23 | 一色もう全部補強とかを行って、除いすべて除外してるようにも読めたんですけども、 |
| 1:57:32 | 実際その |
| 1:57:34 | 西プラス耐震 |
| 1:57:37 | 補強して除いたっていうのは何かどのくらいあるんですかね全部なんでしょう。 |
| 1:57:56 | 山連カシワムラです。 |
| 1:57:59 | 耐震BCクラスといますか溢水、Sも含めた溢水や日本原燃の各建屋にどういった水源があるかということ、補足説明資料、水源となる機器リストの中で、SクラスB+Cクラスについて、 |
| 1:58:14 | 整理させていただきます。BクラスCクラスについては、そのうち、耐震性を確認した、耐震設計の方に飛ばすものを明確にさせていただきたいと考えております。 |
| 1:58:27 | 先ほどちょっと耐震設計の方では、耐震BCと書かれていると、いうふうにおっしゃられておりましたが、こちらは449ページの |
| 1:58:36 | 一番最初の、2行目3行目辺りにですね、 |
| 1:58:41 | この |
| 1:58:42 | 作業の添付書類6の1-1-6-3で、耐震性を有するとした石津元として設定しない耐震BCクラス機器を、 |
| 1:58:51 | この |
| 1:58:53 | 全部署6-1-1の6-6では、耐震BCクラス機器と称しておりますので、この中では一元とし、除外したものだけを扱っております。 |
| 1:59:03 | 以上です。 |
| 1:59:05 | 規制庁志水です。後ろの方で除外したものだけの説明っていうこと等で別に今の説明だとまずは |
| 1:59:15 | 1水源となる機器。 |
| 1:59:19 | 耐震BCクラス、 |
| 1:59:22 | 普通の機器をこう並べて、その中からSsに対してもつものは除いたっていうことで |
| 1:59:30 | すべて、 |
| 1:59:33 | 耐震補強して、 |
| 1:59:36 | 除いたわけではないっていうこと。 |
| 1:59:40 | っていうことでの理解で間違いはないでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 1:59:46 | はいその通りです。今後、 |
| 1:59:49 | 耐震補強をしているものをしていないものを含めて、S sを持たせるものをリストで出させていただくことを考えておりました。 |
| 1:59:56 | 以上です。 |
| 1:59:58 | はい、わかりました。リストっていうのは |
| 2:00:02 | あれでしたっけ、補足説明資料か何かで何かちょっと後での話なら具体は聞かないんですけども、この前のヒアリングで、 |
| 2:00:11 | 蒸気遮断弁が何かの話をした時にこれは地震では期待してないんでみたいな話もしてたので、そもそも地震起因としての1水源。 |
| 2:00:24 | どこに何があるのかとかそういうところの具体は、 |
| 2:00:29 | 今多分ここで示されてるのは、209ページとかだと建屋単位で、水よっていうことを想定する溢水量ってことは書かれてるぐらいなので、 |
| 2:00:40 | 今後説明されるっていう |
| 2:00:43 | 補足説明資料とかで示されるっていうことでしょうか。 |
| 2:00:49 | 日本原燃カシワムラです。今現時点で想定していた水源となる機器のリストで示すと補足説明資料はですね、 |
| 2:00:58 | 機器については、1件一様で示して示させていただくことを考えておりました。配管については、 |
| 2:01:07 | 階層ごとに配管学校、 |
| 2:01:12 | 蒸気系なり、こういった系統ごとに示していくと、その配管の各系統ごとに、S-BもCもあるんですけども、BCもあるので、それらの耐震クラス、またBCで言えば、 |
| 2:01:25 | ICを確認したか否かということをするを考えておりました。以上です。 |
| 2:01:31 | はい。状況を理解しました。もう |
| 2:01:35 | を示されるっていうことでよろしく申し上げます。規制庁の田尻です。感覚として聞いてみたいんですけど。 |
| 2:01:43 | 想定破損と地震起因だと、規模的には地震起因の方がいい水量が多いイメージを持つとけばいいですかね実用炉妥当、割と想定破損と変わってなかったりもしたと思うんですけど、原燃においてはどちらの方が厳しいんでしたっけ。 |
| 2:02:01 | 日本原燃篠崎ですそういうケースバイケースだと思います。想定破損確認までの時間を考えて、 |

| | |
|---------|---|
| 2:02:09 | 流れっ放しになるところがございますので、そこはかなり多い等溢水量になります。 |
| 2:02:16 | はい、規制庁で一つ、どちらが多いとは言えないんですね。はい。岡山規制庁谷です。なんでそちらの方もそれなりの日を漏らしてるっていうことですねいや、炉の方だともものすごい大口径のやつがいたせいですごくいいようになっただけですけど。 |
| 2:02:30 | 年でどこまでの量があったかなっていうイメージだったんですけど時間とか考慮するとそれなりに漏れるので、どっちの評価も確認してかなきゃいけないということで理解しました。ありがとうございます。 |
| 2:02:42 | はい。 |
| 2:02:43 | 藤。続いてちょっと水源の設定っていうところで先ほどちょっと |
| 2:02:47 | S Aのところは1.2 S s数に関して整理がどうこうみたいな、ここに入れてくみたいな、簡単に説明があったと思うんですけども、 |
| 2:02:59 | ちょっと今の整理状況っていうか考え方的なところで確認をしておきたいんですけども今そのDBのことしか書かれてなくて、耐震BCクラスでS sにもつやつは除きますってことで書いてあって、 |
| 2:03:14 | これS Aについて考慮するってなった時に、 |
| 2:03:21 | 今、SD除いてるものと、 |
| 2:03:25 | 1.2 S sで考慮して除くものっていうのは、 |
| 2:03:29 | 一致するんですかそれとも何か1.2 S sにはもたないけどS sに表で溢水元の設定として、DB S Aで何か条件があるからサーが生じる可能性があるとかだと、そこら辺の状況ってどんな感じでしょうか。 |
| 2:03:57 | ちょっとお待ちください。 |
| 2:03:59 | はい。 |
| 2:04:10 | 遠藤ホリグチです。1.0で持つものを1.2 S sで持たせてそれで、溢水量としては同じ評価になるように、なお、 |
| 2:04:19 | 評価することを考えております。以上です。 |
| 2:04:26 | はい。すいません、日本原燃篠崎です。 |
| 2:04:32 | その理解では、 |
| 2:04:34 | S Aを守るところの、やっぱその評価では、SEの設定で、やっぱり1.2 S sを考慮しなきゃいけないところがあるというのが、重大事故側からのGoodでされるというふうに、 |
| 2:04:48 | 思っているという今その整理をしているところと認識しています。で、 |

| | |
|---------|---|
| 2:04:52 | 実態評価が二つ分かれるのかといったところは、 |
| 2:04:59 | 評価があまり煩雑になる。 |
| 2:05:02 | ならないようにですね。 |
| 2:05:04 | パターンっての、バラバラになると、説明も大変というか |
| 2:05:08 | いうのもありましたので、 |
| 2:05:09 | 基本的に 1.01. 2 どちらにも、ずつような評価表っていうの、原則をとっているといったのが実態でございますただそれはゼネコン |
| 2:05:22 | 申請書の示し切れてないですしどう示し方をするかってのは別ですけども、 |
| 2:05:27 | 同じ、同じような形、同じ結果で整理していきたいといったところ、それはちょっと今、はしょっていたところになると思います。一方で、ただ |
| 2:05:38 | 明らかに、 |
| 2:05:40 | S A 設備がないようなフロアに対して、 |
| 2:05:45 | 一遍に、 |
| 2:05:47 | 要求が、 |
| 2:05:49 | 必要なのか、そういう示し方をするのかというと、ちょっとその辺悩んで等ございまして、 |
| 2:05:54 | それを今後明らかにして、どのように添付資料に反映するかっていうのを検討しているところでございます。 |
| 2:06:03 | 以上です。 |
| 2:06:04 | はい。今の規制示し今の説明は |
| 2:06:08 | 当間。 |
| 2:06:10 | 溢水の設定では D B S A って、条件が変わって煩雑複雑になるのも、 |
| 2:06:20 | わかりにくいから、 |
| 2:06:23 | 同じ条件となるように基本的には |
| 2:06:26 | S s でもって、除外してるものも頭一定に S S A でもつって除外するものが |
| 2:06:33 | 一致するように、 |
| 2:06:35 | 適宜なんか耐震補強、1.2 S s にもし持っていないものがあれば耐震補強と かして、あそこ合わせにいくっていう、 |

| | |
|---------|---|
| 2:06:44 | なんかこうしていきたいってということで今説明があったんですけど実態としてはどうなってるかとかの調査は今、継続中ってということなんでしょうか。 |
| 2:06:53 | 日本原燃塩崎でございます。まず第1にどこに対して1.2 S s 要求が設計部としてあるのかといった整理がまず大前提というところでお話をさせていただきます。 |
| 2:07:06 | そういった整理をやった上でになりますが、現状除外のための評価ですとか、補強ですとか、 |
| 2:07:17 | そういったのは1.0でも行って2でも、もつような設計で評価補強を進めているというところでございます。どのように見せるかってのは別ですけれども、 |
| 2:07:29 | 合理的な見せ方ができるように、両方持つような設計を基本としているといったところがございます。以上です。 |
| 2:07:37 | はい。すいませんコサクです。ちょっと確認というか、整理なんですけど。 |
| 2:07:44 | 当 S A の関連するエリア、留意を含め1水源として考慮すべき。はい。 |
| 2:07:54 | ということについては、1.2 S s で |
| 2:07:59 | せ、水源にしないものについては設計をしていて、DBの方での評価もその範囲での水源として、 |
| 2:08:08 | その差分として1.0には持つからプラス、制限にはしませんということはずに、一律で評価をすると。 |
| 2:08:17 | ということで、一方ですでに関係しないエリアについては、 |
| 2:08:22 | 1.0の評価において、1水源にしないという判断をし、評価をしていくということでもいいですか。 |
| 2:08:33 | 日本原燃篠崎です。いずれの再整理が必要ですけどもそ、全体を梓山コサクさんがおっしゃられたような、 |
| 2:08:40 | 展開しようというふうに考えてございました。 |
| 2:08:44 | はい。補足ですわかりました。そのあたりわかりやすくしていただければと思います。その上で、S A 設備自体は、 |
| 2:08:54 | 最初に話したように漏らしているわけではなく、 |
| 2:09:00 | 操作箇所としては、意識は薄かったけれども、 |
| 2:09:05 | 場所としては認識していたのであれば、 |

| | |
|---------|--|
| 2:09:09 | ビス意見とすべきかどうかというところの検討範囲は漏れてないということだと思っ |
| 2:09:17 | てるんですけど。 |
| 2:09:20 | その認識は合ってますか。 |
| 2:09:26 | はい。日本原燃ホールディングスの認識で合ってると考えています。 |
| 2:09:30 | はいコサクです。その上で評価として操作箇所云々というのが、或いはこの場所で本当に操作ができるという判断基準でいいのかと。 |
| 2:09:41 | いうことを改めて考えた結果として、クラス補強した方がいいというようなことが追加検討されているということでもいいでしょうか。 |
| 2:09:51 | 日本原燃の堀ですおっしゃる通りですそうです。 |
| 2:09:55 | はい。補足です。わかりました。 |
| 2:10:02 | 規制庁吉見です。 |
| 2:10:06 | ちょっと今のS A関係で確認引き続きなんですけども、今は |
| 2:10:13 | 配管除外とかの話で、 |
| 2:10:17 | スロッシングについて、ここについては、一応今どういう考え方にしようとしてるかっていうかどういいう状況かっていうところを確認したいんですけど、今ここで日々、 |
| 2:10:29 | そしてっていうか図れていることはスロッシングにより水についてはS sにより時、 |
| 2:10:35 | よる地震力により生じる。 |
| 2:10:38 | スロッシングっていうことで書かれてこれを、S Aの考慮を入れると、これが1.2S s 2による地震力日照より生じるスロッシングになるとか、そういう整理されてるんでしょうか。 |
| 2:10:56 | 日本原燃の金森です。スロッシングの評価に関しましてはおっしゃ今おっしゃられた通り、1.2S sのスロッシング量の評価もしております、 |
| 2:11:09 | S A時にはそちらの評価を使用するというところで整理しております。 |
| 2:11:17 | 規制庁清水です。 |
| 2:11:18 | であれば何でしょうね、示し、 |
| 2:11:22 | 角田としては |
| 2:11:24 | S sによるソーシング等、1.2S sによるスロッシングとそれぞれ考慮する。 |
| 2:11:31 | 設備はS A設備とD B設備でもそれぞれ示されるっていう、 |
| 2:11:37 | ことになるものだと理解しました。 |

| | |
|---------|--|
| 2:11:44 | イメージ、イメージとしては、 |
| 2:11:46 | そんな感じでしょうか。 |
| 2:11:52 | はい。4年シノザキですはい。イメージとしてはそういう、そうです1.0といったような、書き分けたのもしっかりプロスロッシングでもしています。 |
| 2:12:03 | 成長シミズ間で、或いはスロッシングについては何か整理っていうよりは、 |
| 2:12:09 | あとは書き足りてないっていうことなんですかねでもS s - Aで何を、 |
| 2:12:15 | 評価範囲としないといけないかっていうその整理はまだっていうことですか。なんか今新宮に関しての溢水量水源の設定とかいうところで、何かS E側で、 |
| 2:12:26 | 整理中の事項とかがあるのかっていう点で確認しておきたいのですが。 |
| 2:12:38 | はい。日本原燃篠崎です。S Aという観点ではないんですが、 |
| 2:12:42 | 一つ |
| 2:12:44 | F S プール水のスロッシング量ってものすごございますので、 |
| 2:12:49 | 1.0 から 1.2、評価替えた場合に、相当の量が増えることが増えます。で、 |
| 2:12:57 | そのF施設と言われているところはですね、地下プール、 |
| 2:13:03 | がある。 |
| 2:13:05 | そのオペフロというところより、地下階の方には、S A設備はございませんので、 |
| 2:13:11 | そこについては1.0のスロッシング評価の値を使って溢水評価をやるのかなということも考えているところでございます、いずれにしても、 |
| 2:13:21 | な2点がもっと求められて、その評価にどっちの、 |
| 2:13:28 | 溢水量を使うのかといったのをしっかり整理した上で、評価の方につなげて参りたいと思います。 |
| 2:13:33 | 以上です。 |
| 2:13:35 | 規制庁、佐治です。いまいち今の意味がわからなかったんですけど、S sでの評価と、1.2S sの評価はそれぞれあります。何か地下階に衛生設備がないのでS sでの評価をっていう話だったんですけど。 |
| 2:13:50 | それは、S sの方の評価でやってるから別に良くてで、1.2S s - 5の評価も、いや、防護対象がないんだったらその各評価しなければいいだけの話だと思うんですけど。 |

| | |
|---------|--|
| 2:14:01 | 今の何か 1.2 S s でも何か S s の評価をみたいなやつで何のことでしたっけ。 |
| 2:14:07 | 日本原燃篠崎です。すいません説明が悪くて申し訳なかったです。先ほどタモリは、1.2 の評価をやっていて、そちらで評価しますと、 |
| 2:14:17 | 言うたのに対して、少し補足させていただきただけでした 1.2 が求められる範囲等、そうでない範囲ってのありますので、適切な量を使って評価することも考えていますということを上げただけです。失礼いたしました。 |
| 2:14:30 | 規制庁鳥居です。菅 D。S A 設備であるとか、S A 対処に必要なところに関しては、1.2 S s スロッシングの量において評価をしても、 |
| 2:14:43 | はい、日本原燃篠崎です。はい、そういう整理になります。 |
| 2:14:47 | 経営状態ですわかりました。 |
| 2:14:52 | はい。 |
| 2:14:53 | 規制庁志水です。続いて確認です。地震起因の次、溢水量の設定っていうところで 202 ページから溢水量の設定について説明が入るんですけども、 |
| 2:15:04 | ちょっと先ほど、他の要因のところでも確認したところで同じように確認したいので、203 ページ。 |
| 2:15:13 | で、 |
| 2:15:14 | の真ん中、後半の方からですね、ただし書きの条件の方はちょっと確認してまた追って回答するっていうことだったのでここは確認のね、確認をお願いします。 |
| 2:15:25 | ので、続いてなおがキーであるまた確率補佐により隔離が可能と判断できる範囲とあと、引き回しの観点から流出しないと判断できる範囲が明確な場合は除きますっていうところの説明があって、 |
| 2:15:40 | まず前者についてなんですけど先ほど、 |
| 2:15:44 | 想定は 3 課で聞いたときは何か手動弁とかそういうので、買っていい。 |
| 2:15:52 | 可能なところはあのときも、うちの例に挙げていただいたんですけど、地震だとその次のページとかで、 |
| 2:15:59 | 自動隔離機能を有すればよいのぞいて、隔離による漏えい停止は期待しないっていうことも書かれてるんですけど。 |
| 2:16:08 | この永尾が聞いの隔離の範囲っていうのは具体的に、例でどういうものを想定してるのかっていうのをちょっと説明いただけますでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 2:16:21 | 日本原燃の赤松です。こちらの地震の方につきましては手動弁は期待しておりません。 |
| 2:16:28 | 同じ想定破損と同じバウンダリの考え方を示しておりますので、地震の方は緊急遮断弁が該当いたします。以上です。 |
| 2:16:38 | はい、ありがとうございます。緊急遮断弁は、 |
| 2:16:42 | 面で感知して、 |
| 2:16:45 | 遮断するやつなので自動なところのみ期待してるってことですね。 |
| 2:16:50 | で、後者の方は、 |
| 2:16:54 | 後者の例は、もう先ほど当社の例はいかがでしょうか。 |
| 2:17:00 | 配管の引き回し動向のところですか。 |
| 2:17:04 | 日本原燃の赤松です。こちらも同じでございます。16条の話でございます。 |
| 2:17:10 | はい、わかりました。わかりました。 |
| 2:17:13 | はい。 |
| 2:17:17 | 規制庁谷です。一応、 |
| 2:17:19 | 理屈は分かる気もするんですけどさっき言った想定破損だったんで破損箇所が1ヶ所だから、その箇所等の高さの関係でいましよう関係規則から漏れませんかよってやつが覗けるはわかるんですけど、 |
| 2:17:32 | ここ、地震になっていて、その系統のところってどこでも破損し得るような気がするんですけどこれと、系統の途中までが耐震でもって途中からもたないのかという想定でしたっけ。 |
| 2:17:50 | 日本原燃の赤松です。 |
| 2:17:52 | 同じ1系統でも、破損する相対地震により破損する場所、しない場所というのがございまして、 |
| 2:17:58 | そういった表現、同じ表現を用いております。 |
| 2:18:02 | 規制庁谷井です。なので、系統において、どこからどこまでが機能維持させるかっていうやつを、結構、だんだん示さなきゃいけないものが増えてきてる気がするんですけど。 |
| 2:18:13 | 一つの系統の中においてもこっからここまでの範囲は1.2月々の位置、こっからここまでは破損想定しますよとかってやつがわかるように今後なってくるんですかね。 |
| 2:18:28 | はい。日本原燃椎野だけです。ちょっとアイデアをひねり出さなきゃいけないと思いますけども、 |

| | |
|---------|---|
| 2:18:35 | 見える化はしなきゃいけないかなと思います。 |
| 2:18:39 | はい。規制庁田井です。ちょっと、どこどうで分かれてるのかわかんないんですけど結構複雑になってきてる気がするので、示し方含めまして、今後確認できればと思うんでよろしくをお願いします。 |
| 2:18:52 | メジャーでございます私が言っちゃいかんのですけど、ここまでのやりとりも、原燃側がちゃんと添付書類でどう書くかってイメージをして、 |
| 2:19:02 | 発言している大江なくてさっきのスロッシングの 1.2 と S s のやつも、 |
| 2:19:07 | さっきの話をそのままいくと、さっきの別紙添付の、 |
| 2:19:12 | 3 番目か。 |
| 2:19:13 | 基準地震動 2 系統を単純に S A 側 1.2 S s に読みかえるっていうわけでもないと思ったよね。 |
| 2:19:19 | そうするとそのケースを S s 側の方でちゃんと、D B 側の方でかけるかっていうのも考えて、 |
| 2:19:27 | やりとりをしないと、何か質問していただいてる方は、添付書類でどう書くのかなっていうのをイメージしながら質問してるのに、撃ち合う方かなり 1 件当たりばったりの発言になってるんでよく考えて発言してね。 |
| 2:19:42 | はい。 |
| 2:19:43 | 横江シノザキです |
| 2:19:45 | わかりました。 |
| 2:19:48 | 基本的に 1.0 という先ほど 1 水源とかですね、評価ってのは、あまり煩雑にならないような、 |
| 2:19:56 | 工夫をしようと思ってますんで、 |
| 2:19:59 | 変なことにならないようには思っていたんですが先ほど言った、F のプールの地下階みたいな、ああいうところはちょっとどうしても区別しなきゃいけないところありますんで、先行コサクです。 |
| 2:20:09 | はい。ごめんなさい。F の話わあ、区別する必要があるのかどうかいまいち私は理解できてなくて、 |
| 2:20:17 | タジリも同じだと思うんですけど、製設備がないならそこは単純に D B としての、 |
| 2:20:23 | 評価をすればいい範囲であって、最初に確認したように、 |
| 2:20:29 | S E D S A としての評価が必要な区画については 1.2 であるしそうでないところは 1.0 でやると。 |

| | |
|---------|--|
| 2:20:37 | うだけだと思いましたがそうでもないんですか。 |
| 2:20:45 | はい。日本原燃篠崎です。はい。確かにすみません全然イメージできずにこねくりまわしてしまいましたけど、おっしゃる通りの整理がシンプルで思想できると思います。 |
| 2:21:01 | 関西電力の笹川です。ちょっと私から答えるのもあれなんですけど、今言われたことはしっかりですね、オオオカコメント、理解しておりますので、添付でどこに書くのか、今後を示す補足説明資料にどこに、どういう形で |
| 2:21:16 | N R Iに出すかというのはしっかり私の方も見てですね、N - Sにご説明する補足説明資料等を作って参ります。以上です。 |
| 2:21:25 | はい。補足です。で、1.2 S s数。 |
| 2:21:30 | 設計をする範囲と、そうでない範囲が共存する系統というのがあるようなんですけど。 |
| 2:21:39 | その際にはどこでその1水源の評価として園切りができるのか、どっかで隔離弁があったり何なりってということだと思んですけど、 |
| 2:21:49 | それを明確にさせていただいて、おそらくそこがサポートになってるわけでもないの、 |
| 2:22:00 | 1.2 S s設計の範囲の方がその隔離の範囲よりも広がるんじゃないかなと思うんです。 |
| 2:22:07 | そこらの設定の考え方っていうのを早めに示していただくことで設計してるのかがわかるのかなと。 |
| 2:22:15 | 思いますので、十時なり、どこの説明で最初出てくるのかわかりませんが、対応よろしくをお願いします。 |
| 2:22:25 | 原電の堀口です。わかりました。 |
| 2:22:34 | はい。 |
| 2:22:35 | 規制庁、清水です。 |
| 2:22:40 | 量の設定に関しての確認をして、 |
| 2:22:45 | ちょっと |
| 2:22:48 | スロッシングについて先ほどから説明でふたの評価上の扱っていうところは論点としてに認識してる、してますっていうことで |
| 2:22:58 | 説明あったんですけど具体的にどういう状況っていうか、何か整理がついてるのかとかそこら辺って、 |
| 2:23:05 | 何か説明できますでしょうか。 |

| | |
|---------|---|
| 2:23:08 | まだ何を論点として認識しててどういう整理をしている終わってるとかそういうところでの説明をお願いします。 |
| 2:23:17 | 根井の小森です。 |
| 2:23:19 | プールのスロッシング評価に関しましては、許可の断面では資産として、下のポールは |
| 2:23:31 | してません。止水部、止水板に関しても、配管等の邪魔にならないようなところっていうところも設置範囲として試算してますんで、 |
| 2:23:43 | 許可の設工認の断面では、詳細な現地施工設計っていうところを踏まえて、また設置範囲っていうところを精緻化してございますけども、 |
| 2:23:55 | その時点で保守っていうところも踏まえて、一時的に取り外すようなところは設置しない等の考慮をして、 |
| 2:24:05 | ございましたけども、その高齢の範囲っていうところに対して今回ご指摘いただけてますけども、元気で取り外す必要がある人があるという、 |
| 2:24:16 | ところに対して、こちらとしてこれがストップしていたというところがございまして、そこに関しましては、これ外す範囲っていうところを、 |
| 2:24:28 | 検討いたしまして、これ外した場合のスロッシング評価っていうのが必要というところで認識してございます。 |
| 2:24:38 | 規制庁志水です。 |
| 2:24:40 | その時にも一時的に取り外すところは、 |
| 2:24:44 | 評価上なんですけど、考慮しないみたいなことも書かれて今は |
| 2:24:51 | 蓋を外すところも、検討が必要でっていうことで説明があったんですけど、具体的にその日評価で何か |
| 2:25:02 | どういう、 |
| 2:25:05 | 評価的に考慮しようとしてるかとかそういう考え方はまだ整理中ですかね。 |
| 2:25:12 | 不たを外す場所、外さなきゃならない可能性がある布田というところは、選定できてございます。ですので、その箇所を外したまま、 |
| 2:25:24 | 場合の評価っていうところをまず今、 |
| 2:25:26 | 実施しようとしておりますけども、当間最終的なそのスロッシング評価というところの説明性というところも踏まえて、そこに関しては今整理中になってございます。 |

| | |
|---------|---|
| 2:25:39 | はい、規制庁趣味です外す、一時的に外す人の選定は済んでるっていうことでそれはそうだろうなと思うんですけども評価で全部外した状態で、 |
| 2:25:51 | 評価するのとかその状況応じて一部だけとかでこう評価して、一番厳しいのでっていうことでやるのとかそこら辺はまだ整理9っていうことで理解しました |
| 2:26:02 | 前回聞いたときも同じような状況だった気はするんですけども、 |
| 2:26:07 | 引き続き整理の方、お願いします。 |
| 2:26:13 | 日本原燃のタモリです。わかりました。 |
| 2:26:17 | 規制庁の田尻です。1点、成田話で確認なんですけど、 |
| 2:26:21 | 今基本的に保守とかでも1時金取り外すようなふたを期待しませんよ。ちょっと痛むみたいな理屈だと思うんですけど、そういう説明があったと思うんですけど、今評価をしていて、大丈夫だったらそれで終わるのかもしれないんですけど、 |
| 2:26:35 | 駄目だった場合の考え方っていうのは、何か今清水が少し言ったように評価条件を変えに行くのか、それとも運用面での対策をするのか防護対策設備のようなものが増えるのかっていうと、どういったものを今検討してんでしたっけ結果出るまでわからないみたいな感じでしたっけ。 |
| 2:26:53 | いや日本原燃のタモリです。今、現状考えてございますのは、やはり蓋を取り外すことによってスロッシング量っていうのは、投下するっていうところは |
| 2:27:08 | 目に見えてるんですけども、スロッシングのモデルですね、そこで一部分モデル上、精緻化という言い方がいいかどうかわかりませんが、精緻化することで |
| 2:27:24 | スロッシングの評価上有効である。 |
| 2:27:29 | というようなところが見えてるので、 |
| 2:27:33 | まず、モデルの精緻化といいます解析条件の精緻化っていうところをまず第1に考えてございます。 |
| 2:27:45 | 規制庁谷です。精緻化とカーの言葉が何を指してるかがよくわからないんですけど、エネ精緻化というと補正崩しにくかったんが結構あるんですけど、今言っている精緻化って何のことでしたっけ。 |

| | |
|---------|--|
| 2:27:59 | プールの形状の中で基本的に今、モデルプールのスロッシングモデル形状としてはプールの外枠をかたどったような形状でモデル化してるんですけども、 |
| 2:28:12 | 実際にはその女時空ルーの間でもちょっと出っ張ったような、プールの内側に出っ張ったような躯体がございましてそこも現状は、 |
| 2:28:23 | 水、診療として換算するエリアとして設定してございます。ただしそこは、プール間の水の移動っていうところが見込めるので、そういうところをおせち化して、 |
| 2:28:39 | 解析をしようというところで、まだ検討中ですけども、考えてございます。 |
| 2:28:45 | ちょっといいです。江藤。今のお話っていうのは、訓練機器とかに関しては保守的に考慮しませんよって今までちょっと変わらないけど、 |
| 2:28:55 | 炉外やってるようなプールの形状完全な資格じゃなくて少し出っ張ってるような部分っていうのをちゃんとモデル化した場合には減らすことができ、要は今まで評価上機械的にやってにはもう、この場合のところにモデル化しないで1箱ってやった方が楽だったところを、 |
| 2:29:11 | 炉とかのレベルみたいに実際に、実際の形状っていうのか、形というのがよくわかんないですけど、そこに合わせた評価することを今考えてますぐらいの話ですかね。 |
| 2:29:21 | その通りでございます。日本原燃のタモリですその通りでございます。はい。規制庁谷井です。 |
| 2:29:28 | しない。そこで収まりそうっていうふうに思っといういいんですかねあとその運用とか対策が増えるのかどうかっていうのが結局感覚をとらえておきたいんですけど。 |
| 2:29:38 | はい。日本原燃のタモリです。基本的に後段です、対策設備とか、そういうものが追加にならないよというところで考えてございますが精緻化の |
| 2:29:53 | はい、というところも、説明していく上で、あまりイレギュラーなところを精緻化しないといいますか、説明がちゃんとまかり通るようなところを精緻化していくというところで、 |
| 2:30:06 | ちょっとまだ、 |
| 2:30:09 | 明確には回答できないんですけども、そういう方、基本的に評価の方で収めるよというところでは考えてございます。 |

| | |
|---------|--|
| 2:30:18 | 規制庁谷です。結果評価で収まるのがいいんですけど評価で収めるようになっていうところにこだわられすぎると、今の話し方からだと大丈夫な気がするんですけど。 |
| 2:30:29 | 要は |
| 2:30:30 | 現実的にやっていいところ等、素行は先行例含めてやってきてないところってというのがいるはずなので、おさめようとする余りに、新たな論点でも仕方ないとかのような気もするので、 |
| 2:30:42 | とりあえず、 |
| 2:30:44 | 大丈夫なんだという気配を今しましたけどちゃんと考えながらやれそうな気はしたので、大丈夫だと思うんですけどやり過ぎていうふうになって余計なことにはならないようにというのを検討いただければというのと、 |
| 2:30:54 | ちなみにそこだっけいつぐらいで結果が出そうなのか要はその結果次第で別の対策とか、対策設備がきかないのかもしれないですけど、ものが増えるとかでいいんだっけ早めに聞けるんだっけかなっていう感じもするんですけどどれぐらいのスパンで今やられてるんでしたっけ。 |
| 2:31:12 | 日本原燃のタモリです。申し訳ございません。その数、新しいそのモデルの精緻カーに対する評価というところに関しましては、現在 |
| 2:31:24 | 止め、設計メーカーさんともちょっと調整しているところでございまして、 |
| 2:31:31 | 終盤程度という、 |
| 2:31:35 | 感覚は、確認してるんですけど、詳細の調整ができない状態。 |
| 2:31:41 | でございますので止め（2）へと調整した結果を明確にお伝えしたいと思います。別途お伝えしたいと思います。 |
| 2:31:50 | 長谷です。その時もそうなんですけど、伊賀糸井水系の解析ってやり直すと同じか、モデル化しようとする時間が使われるイメージがあるので、結果出てから、1から別のものっていうのをやるぐらいだったら、別の対策についても同時並行で検討しておいた方が後々楽かなと思うのでその辺含めてスケジュールと、 |
| 2:32:10 | どうしてこうしているか整理してまた説明いただければと思います。 |
| 2:32:15 | 本件のタモリです。了解いたしました。 |
| 2:32:21 | 様子見です。地震起因の溢水量元の設定というところで、までは確認、 |

| | |
|---------|--|
| 2:32:28 | 決めたんですけど他はここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 2:32:35 | はい。 |
| 2:32:36 | どうか、今日の原電側に確認なんですけど一応ヒアリング開始してから、20 款、 |
| 2:32:44 | 県下し、 |
| 2:32:45 | 何か時間。 |
| 2:32:47 | してるんですけど休憩。 |
| 2:32:50 | ここで休憩 10 分ほど入れようと思うんですけどいかがでしょうか。 |
| 2:32:56 | はい。日本原燃事務です休憩。了解いたしました。 |
| 2:33:00 | それで |
| 2:33:03 | 16 時。 |
| 2:33:04 | 15 分再開でよろしいでしょうか。 |
| 2:33:10 | 柴崎です。よろしくお願いいたします。はい。それは一般論を呈します。 |
| 0:00:00 | 市長、清水ですと録音を開始しました。 |
| 0:00:04 | それじゃ続いて、確認の続きで、 |
| 0:00:09 | 次は 220 ページで、その他の溢水について、 |
| 0:00:14 | 医師が、 |
| 0:00:17 | 0 項目。 |
| 0:00:20 | 地震以外の自然現象と地下水、 |
| 0:00:24 | いろいろ、 |
| 0:00:26 | あるんですけども、 |
| 0:00:30 | まず地震以外の自然現象に伴う溢水について水源の設定と溢水量の設定というところで、説明の方お願いします。 |
| 0:00:45 | はい。 |
| 0:00:46 | 日本原燃の篠崎です。229 ページから再開させていただきます。 |
| 0:00:51 | その他の溢水ということで、 |
| 0:00:54 | まず 2 ポツ 4 ポツ 1 地震以外の自然現象に伴う溢水として、 |
| 0:01:00 | ありがとうございます。これ |
| 0:01:03 | 自然現象で降水みたいに直接的な影響があるもの等、飛来物の破損のような完璧な影響を考えて考える自然現象ですね。 |

| | |
|---------|---|
| 0:01:15 | ピックアップしたものが、第2-7表ということで、222ページの方に整理してございます。 |
| 0:01:22 | 一方で前回のヒアリングで、この発電炉東海第3と比較したときに、 |
| 0:01:30 | 過不足があるのはなぜかといった、ご質問ご指摘いただいてまして。 |
| 0:01:37 | 理由はですね、許可のときに、再処理施設として考慮すべき自然現象はこれですよと言ったのが衣装外部消費側の上部ですね。 |
| 0:01:48 | 整理した項目をここに挙げているということになります。ただ他のところでも言われてますけれども、設工認でその許可のときの議論を飛ばしてですね、 |
| 0:01:59 | 結果だけ載せるとこれで全体を網羅してるのかわからないといった指摘をもらってますので、 |
| 0:02:07 | 当時、現象として挙げたもの、こういう理由で検討結果から外してますよと言ったのを、 |
| 0:02:13 | 書き加えさせていただくことを考えてございます。今、外部消費側と調整を下がっているところでございます。 |
| 0:02:23 | はい。ちょっと続けさせていただきますが、224ページが地下水による影響ということで、 |
| 0:02:31 | 地下水の流入の影響につきましては、建屋境界ではなくてですね、 |
| 0:02:37 | 一部建屋の中に入らざるをえないところがございまして、建屋の中に、そのバウンダリと境界を、 |
| 0:02:44 | 置くという、守り方をしますので、範囲の境界を明確にするといったことを明記させていただいております。 |
| 0:02:55 | はい。その他、2ポツ4ポツ3で防護区画内で発生がされるその他の漏えい事象として、 |
| 0:03:02 | 聞き取れん機器損傷、人的過誤とか暴動後作動を想定してございまして、 |
| 0:03:11 | 1ページにその |
| 0:03:15 | 影響がないといったことを書いてございます。下ですね。 |
| 0:03:20 | 機器の誤作動による被水についてはといったところにつきましては、 |
| 0:03:25 | ちょっと炉と違う記載になってございますけれども、 |
| 0:03:28 | 再処理の設備におきましては、炉と違ってですね、自動作動で系外に水を防止設備がないと。 |

| | |
|---------|---|
| 0:03:36 | ということと、それに水をたくさん持ってる燃料貯蔵プールにつきまして、 |
| 0:03:44 | 何らかの原因でというふうには書いてますが誤作動した場合でも、P r o f i tから溢れることがないということから、誤作動による溢水の影響はないといったところをこの添付書類の方で書かせていただいているということでございます。 |
| 0:04:00 | はい。簡単ですが、そう思ったの溢水についての説明以上でございます。 |
| 0:04:05 | はい。 |
| 0:04:06 | 長志水です。どうもありがとうございます。確認したいんですが、まずちょっと最初に、 |
| 0:04:13 | 伝えたいこととして先ほどヒアリングの、 |
| 0:04:16 | 先ほどの休憩前に説明があったんですけどここの溢水評価条件の設定の |
| 0:04:22 | 6-1-1の6-3で書いてるところで発電炉との差として、 |
| 0:04:27 | 何でしたっけ。 |
| 0:04:29 | 条件に関するところは再処理側はこの6-3ですべて書いてしまってこの後6のように結果だけ示しますっていうことで、そこで |
| 0:04:40 | 差があるっていうことの説明があったんですけど、ここのその他の溢水に関する説明で、水源溢水量の設定っていう項目なのに、結局例えば、 |
| 0:04:52 | 地震以外の自然現象に伴う溢水として、1制限として度どの、 |
| 0:04:58 | 何ですかね、屋外タンク等とかをボイス円と設定したのか、泊をどれにしたのかとかそういうのな何て言うんですかね表。 |
| 0:05:05 | 発電炉だと表なり、 |
| 0:05:09 | 図なりが示されてるものが、全くないんですけどそこら辺って何か、どこで説明しようとしてるんでしょうか。 |
| 0:05:28 | はい。日本原燃篠崎です。 |
| 0:05:31 | やっぱりそれは、補足説明資料で示すことを考えていました。 |
| 0:05:37 | はい。成長シミズですどこまで申請書で書くかっていうところで、 |
| 0:05:44 | ちょっと発電のここ横に並べてるものが若干ちょっと足りないから、 |
| 0:05:50 | むしろ、 |
| 0:05:52 | 評価結果 |
| 0:05:53 | のところには、功労だと。 |

| | |
|---------|--|
| 0:05:57 | どのタンクがとか、どの、どこにあるものっていうところまで示して るのでちょっと、 |
| 0:06:03 | あと、 |
| 0:06:04 | ここその他の溢水になると他の先ほどまで説明あった、想定破損とか信 金とかそこら辺に比べる等、 |
| 0:06:12 | 水源量の設定の説明がかなり薄いので、ちょっとどこまで書くかってい うところは検討をお願い申請書でどこまで書くかってところはちょっ と検討をお願いします。 |
| 0:06:24 | で、実際その溢水量の設定っていうところでは、具体的にどういうもの を、 |
| 0:06:30 | 設定したのかって口頭で説明できますでしょうか B C |
| 0:06:35 | やっぱりツールだと |
| 0:06:36 | B Cクラスの屋外タンクとか何とかなんかそういう。 |
| 0:06:40 | 言葉もあった気がするんですけども、そこら辺で原燃側いかがでしょ うか。 |
| 0:06:50 | 今の記載だった屋外タンク等としか書かれてないので、 |
| 0:06:54 | 具体等、そもそもどれとか、どの屋外タンクとかそういったところを説 明あれば補足いただけるとと思います。 |
| 0:07:06 | 日本原燃清水です。 |
| 0:07:09 | 屋外タンクの等ですね |
| 0:07:12 | そ想定したタンクについては、再処理事業所構内にの、屋外にある対非 耐震のタンク、 |
| 0:07:22 | プラスですね、耐震が取れてる、 |
| 0:07:26 | 冷却等も含めた保守的にはじいています。またですね、保守的に量をは じくために、地下、地下ピットにあるですね、水槽、 |
| 0:07:40 | も考慮して、保守的な量をはじいています。以上です。 |
| 0:07:47 | はい。 |
| 0:07:49 | すいませんちょっと最後 1 点聞き逃してしまったんですけど申し訳ない です地下ピットのところも 1 度、 |
| 0:07:59 | はい。 |
| 0:08:00 | 地下のですね、 |
| 0:08:02 | 長水槽がございまして、それもですね保守的に全量が評価面積に出て、 高さに被水高さになるという保守的な評価をしております。 |

| | |
|---------|---|
| 0:08:17 | 規制庁吉見です。ありがとうございます。今挙げられてた等、非耐震の屋外タンク、あとは保守的に、 |
| 0:08:26 | 耐震取れてるけど、冷却塔とあと地下の貯水槽とかの全量っていうことで、 |
| 0:08:32 | 理解しましたやっぱりちょっとこら辺全く何も書かれてないのもどうかと思うのかというか |
| 0:08:39 | 水源量の設定っていうところとし、評価条件として、何も書かれてないのでそこはちょっとご検討いただければと思います。 |
| 0:08:48 | ね。 |
| 0:08:50 | 今の2款、今のあげられたのがまず1水源として設定されたっていうことで、両方の設定っていうところではそれぞれ、 |
| 0:09:00 | どのような考えで設定されたのかっていうのを説明お願いします。 |
| 0:09:16 | すいません。量の考え方なんですけれども、細かなところは補足で説明申し上げますけれども、今挙げたですね考え方のタンクの全量が一気に評価面積というところを設定しまして、そこに |
| 0:09:34 | 広がりますて、 |
| 0:09:37 | 高さを出している、というようなところで考えてございます。 |
| 0:09:43 | はい。ありがとうございます。タンクっていう、おっしゃってたので今の冒頭で挙げた、 |
| 0:09:50 | 一番最初に挙げた被災地の屋外タンクは全量が一気に、 |
| 0:09:54 | 流れるっていうことで量を設計されたっていうことで、先ほど地下ピットのところ網下石毛の設定の話の時にこれも全量を設定しましたっていうことで、 |
| 0:10:06 | 理解しました。で、冷却塔は、これ、 |
| 0:10:10 | どういう設定になるんでしょうか。 |
| 0:10:13 | 日本原燃清水です。屋外の冷却塔は、耐震化耐震の冷却塔等の冷却等もございますが、外部ループ系ですね保有量を、 |
| 0:10:25 | 算出しまして、保守的に量に考慮してございます。 |
| 0:10:33 | 2グループの |
| 0:10:34 | 量を、 |
| 0:10:40 | 出しました。 |
| 0:10:44 | 施設赤字ですいません今の耐震年耐震ってどれとどれのことでしたっけ。 |

| | |
|---------|---|
| 0:10:51 | 冷却塔の田井日本原燃清水です。冷却塔の耐震耐震と申しあげましたのは、1回申請でもございました安重系の冷却と、 |
| 0:11:04 | 再処理事業所構内6基でございます。それと一般系の冷却等もございまして、それを指してございます。以上です。 |
| 0:11:13 | 京谷です。あれって冷却塔として登録されてるんだっけ。ただ一般0、一般の一般水系ってことですかね、冷却塔とかでいるんですっけ。 |
| 0:11:25 | 日本原燃清水です。安全冷却水系冷却塔というような形ですね。ええ。 |
| 0:11:32 | レフ施設。 |
| 0:11:34 | A g施設A4施設というところでございます。 |
| 0:11:40 | 規制庁たです安重の方はわかってるんですけど安全じゃない方にも冷却としてやっていただく。 |
| 0:11:46 | はい、ございましてええと、安全じゃない一般系の冷却等もございませう。 |
| 0:11:52 | 違う設備リスト上それを連絡等としてエントリーしてないでしょ。 |
| 0:12:05 | はい。すべて決議リストから、 |
| 0:12:09 | 規定になって申請者とひもづけをしてるはずで、おっしゃる通りです一般的な冷却塔と言ってますけど、技師長、 |
| 0:12:18 | 結構2乗といいますか、申請上は、冷却塔という位置付けではないと。 |
| 0:12:24 | うん。規制庁田尻です。今平さんが言われましたけど、今日は設備リストを作ってそれぞれの対応とそのそれぞれの機器ごとに見ていきますよっていう話をしているので、 |
| 0:12:35 | 何か申請書の名前がそこと学習なやつになってると、関連性がわからなくなってきたので、整理だけはしていかれるってことはされたんだと思うんですけど、 |
| 0:12:46 | 説明できるようにしていただければと思います。 |
| 0:12:51 | コサクです。今の観点だと冷却塔があるのは私も知ってますが、設備リストに入らない設備で、 |
| 0:13:02 | こういうその波及影響なり影響を与える。 |
| 0:13:06 | 安全上重要な施設等に影響を与えるものと、 |
| 0:13:10 | いうものをどう |
| 0:13:13 | 添付書類、 |

| | |
|---------|---|
| 0:13:15 | なり補足説明で示していくかというのは整理をしておいていただきたい と思います。 |
| 0:13:22 | 先ほどから大分気になってたんですけど、保守的保守的って言うてるん ですけど、 |
| 0:13:28 | 全体の考えとしてどうなってんだっていうのを、何も言わずにただ保守 的だからいいでしょっていうのは、マリー良くないなあと思ってまし て、 |
| 0:13:40 | 特に屋外の溢水については第1回位の申請でも話があったはずで、その 話と、今日の説明は |
| 0:13:52 | 整合があるとは言いませんけど、あまり同じ説明をしているように聞こ えなかった、090目で表現されてるだけだと思うんですけど。 |
| 0:14:02 | そこら辺も誤解をしないようにですね、しっかりとまとめて、 |
| 0:14:07 | 説明いただきたいというふうに思います。特に知カーにあるピットにつ いて全量を溢水するっていうのは、 |
| 0:14:17 | 何を言ってるんだらうって気がするんですけど、なぜそういう保守的な 対応をとられたんですか。 |
| 0:14:34 | 事業部。 |
| 0:14:51 | と日本原燃清水です。 |
| 0:14:53 | 再処理事業所の敷地、敷地の面積で再処理事業所構内の屋外タンク等の 量を、高さを出すんですね、余りにも広過ぎるところで、 |
| 0:15:07 | 建屋な簿水防の建屋が密集して、違うじゃない。 |
| 0:15:16 | 規制庁谷です。何か違う話をされていてそれは評価面積をどうするか の話をされたんですけど、さっき地下水のピットで全量漏らすという話 があったんですけど、全量プラスやつが地下で全部塗れてるっちゃう話 をされて、ちょっとだけ売れる分の話をされたのか。 |
| 0:15:31 | 地下のピットから漏れたやつが全部屋外にまき散らしますよっていう話 なのかがよくわかんなかったところは自分もあったんですけど、結局ど ういう説明だったんでしたっけ。 |
| 0:15:44 | はい。江藤。日本原燃の篠崎です。今おっしゃられた後者ですね、どう いうモードでどれだけが、 |
| 0:15:52 | 漏れるかといったような、 |
| 0:15:56 | 評価をせずに、地下にありますけれどもそれが全量地上階に溢水する という想定で、今は溢水量として見込んでいます。 |

| | |
|---------|---|
| 0:16:06 | 衛藤橋田です。それをなぜそう想定したかを説明してくれというところでさっきの長さんの質問に戻ってきました。お願いします。 |
| 0:16:14 | はい。質問の趣旨は理解してます。町長持田。 |
| 0:16:19 | 規制庁岡です。それを第1回の補足説明の方で、条件としてちゃんと抽出されていてその理由まで含めて、 |
| 0:16:29 | 条件としてちゃんと抽出されていて、それは第2回でより詳細に聞いていきますよっていうことを、 |
| 0:16:35 | お伝えしておりますが、 |
| 0:16:37 | こちらで確認できないようでしたら、 |
| 0:16:40 | より厳しい結果を与えるように保有筒井全量がスロッシングで、地上に出るから、そこは条件に入れてますというふうに説明を受けてます。 |
| 0:16:54 | はい。日本原燃篠崎おっしゃる通りで、スロッシングで幾ら漏れるかみたいな、評価をせずにそれ全量というふうに設定したということ。 |
| 0:17:06 | それで先ほど申し上げたかったです。 |
| 0:17:11 | はい、蘇武です。スロッシングについては、評価が、 |
| 0:17:16 | 大変なのか。 |
| 0:17:18 | ていう古藤なんだと思うんですけど。 |
| 0:17:21 | その上で詳細に評価するよりは、全量としてしまって評価を丸めてやると。 |
| 0:17:30 | いう判断をされたという理解をしました。 |
| 0:17:33 | 一方ですね、 |
| 0:17:36 | 冷却塔の |
| 0:17:38 | 話は、 |
| 0:17:40 | 安重についてはSクラス設計をするわけで、そこは今のスロッシングのように、追加の評価をせずにということとはちょっと別なような気がするんですけどそこはどうですか。 |
| 0:18:10 | はい。日本原燃塩崎です。あまりちゃんとした答えではないんですけども、 |
| 0:18:15 | 平コサクさんがおっしゃられたみたいに、明確的に地震でやられないだろうとは思いますが、 |
| 0:18:22 | あまりそういったところまで考慮せずに、もう量として全部含んでしまっているというのが実態です。まるまるメディウエルという感じです。 |
| 0:18:32 | はい。補足です。そういう対応が原燃目立っていて、それを許可の、 |

| | |
|---------|--|
| 0:18:39 | 随分前の段階から、 |
| 0:18:41 | 原燃の考え方おかしいということで |
| 0:18:44 | 前更田委員長が委員時代から言われてたんじゃないかなと思います。 |
| 0:18:50 | で、詳細設計の中耐震設計とかもしている中、あまりこっちではこう言ってるけどこっちではこういうみたいなのはよくないなという気がしますので、 |
| 0:19:03 | 最低限先ほどの評価を詳細を、 |
| 0:19:07 | をせずに、丸めてっていう話と、 |
| 0:19:10 | 全体整合とれるように、 |
| 0:19:13 | まとめておいてください。 |
| 0:19:16 | 以上です。 |
| 0:19:19 | 燃取だけ承知しました。 |
| 0:19:25 | 次ちょっと次です。ちょっと別の場所なんですけど、222 ページ |
| 0:19:30 | そのタイトルもおかしい気はするんですけど、どう地震津波以外の自然現象によるうんたらかんたらって書いて、中のところで自然現象と人為事象を全部とらえてるんですけど、ここって実用炉と比較して原燃ってどう整理したんですしたっけ。 |
| 0:20:00 | 規制庁樽井です。ベツナウ若干ですけど、聞こえた時はちょっとだけ反応してもらえると、何か、はい。 |
| 0:20:11 | はい。日本原燃篠崎です。ちょっと今の指摘私がちょっと、すみませんちょっと認識できなかったんですが、 |
| 0:20:19 | 規制庁タジリ人事象は入れないんですかっていう質問です。 |
| 0:20:32 | 日本原燃清水です。すみません今回のご指摘の対応としてですね項目を整理しまして、人為による事象もですね、 |
| 0:20:44 | ダムの崩壊含めてですね、整理して補足説明資料で示すことを考えてございます。 |
| 0:20:51 | C T O 谷です。店舗補足の議論を今後やりますけど、矢野は添付でやってて、私補足で説明するぐらいなら添付に入れればとかいろいろ思うところはあるので、その辺りの整理もあわせて進めていただければと思います。 |
| 0:21:05 | すみません日本原燃塩崎です。ちょうど今の補足でっていうのは、すみませんちょっと言い過ぎでした |

| | |
|---------|---|
| 0:21:10 | 炉との横並びで出てきた指摘でございますので、添付に書くべきものは添付に書くということで当然整理させていただきます。失礼しました。はい。規制庁田井ですよろしく申し上げます。 |
| 0:21:25 | はい。規制庁清水です。 |
| 0:21:27 | 今は、 |
| 0:21:31 | 侵害の自然です。 |
| 0:21:33 | 非常に伴う溢水っていうところで溢水量1水源の設定確認したんですけど、他はここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 0:21:44 | 続いて、地下水による影響、224 ページで地下水による影響っていうところで確認したいんですけど、もうちょっと、 |
| 0:21:54 | ここも何かその1水源の設定として、奴隷を設定したのか溢水量としては具体的にどういう設定をしたのかっていうところが何かほとんど説明がないように思うんですけども。 |
| 0:22:07 | この点ちょっと具体的に、口頭で説明できますでしょうか。 |
| 0:22:23 | はい。藤。日本原燃石堂でございます。 |
| 0:22:27 | 地上までの、 |
| 0:22:31 | 地上、なんていうか、地表面が失礼しました。地表面を水面とした地下水を、 |
| 0:22:39 | 入ってくる可能性がある。土肥水源として設定してございます。 |
| 0:22:46 | はい。規制庁志水です。それは |
| 0:22:50 | すいません、ちょっとこの地下水動向あんまりちょっと理解できてないんですけども、すべての建屋で、 |
| 0:22:57 | 有り得て、 |
| 0:22:59 | ていう形の表、評価されてるっていうことですかね。 |
| 0:23:05 | 可能性のあるっていうのがちょっと。 |
| 0:23:08 | どういう範囲があるのかっていうのを全部お願いします。田谷です。はい。日本原燃篠崎です。おっしゃる通り、没水5号、 |
| 0:23:17 | 対象建屋すべてについて、地下水の流入影響点を評価してございます。 |
| 0:23:24 | はい、ありがとうございます。建屋すべて。 |
| 0:23:28 | 先ほど説明あったように、 |
| 0:23:33 | そういう建屋への流入防止っていう点ではなくて実際、建屋内に入ってしまう場合もあるから後、防護対象の区画、 |

| | |
|---------|--|
| 0:23:41 | への流入防止っていう、そういう設計っていうか、評価はされてるっていう理解しました。 |
| 0:23:48 | すいませんコサクです。 |
| 0:23:52 | 基本的には耐震の方で、今回サブドレインの設備を、 |
| 0:23:58 | 設工認対象にすると。 |
| 0:24:00 | 設計Sクラス設計にする、相当ですかね。 |
| 0:24:04 | にすることだったと思いますけど。 |
| 0:24:07 | ここではそれは無視するっていうことなんでしょう。 |
| 0:24:13 | こちらは想定した、日本原燃の山本でございます。 |
| 0:24:18 | 評価上はサブドレンによる地下水の排水は評価上期待しないで評価することにしてございます。 |
| 0:24:28 | はい、そうです。そう言われたんだとは理解をするんですけど先ほどの、 |
| 0:24:33 | 冷却塔と同じで、何でだということの説明。 |
| 0:24:38 | はありますか。 |
| 0:24:46 | はい、江藤4目下だけです。すいません |
| 0:24:50 | 先ほどの屋外の冷却塔と同じでございますので、そういうところをちゃんと整理して説明できるようにします。 |
| 0:24:58 | はい。お願いします。少なくとも備考で、再処理施設には該当する設備がないっていうのは嘘になりますので、 |
| 0:25:05 | ちゃんと整理をしてください。以上です。 |
| 0:25:11 | 規制庁樽井です。ここは炉と一緒に言いたいわけではないんですか。炉もただし書きでやってますよね。 |
| 0:25:30 | コサクです。ちなみに、炉の方がまだまともで、 |
| 0:25:36 | サブドレンはあるけども、 |
| 0:25:39 | それには期待せずっていうような全体思想がある。 |
| 0:25:44 | だと思えます。一方で、 |
| 0:25:47 | 期待するという部分がいくつかあって、特に最初には一通り見込むということになったので、 |
| 0:25:56 | どちらかという実用よりも、 |
| 0:26:00 | 期待をしているのに何でだっていう、 |
| 0:26:03 | 感じですね。 |
| 0:26:05 | なのに、 |

| | |
|---------|--|
| 0:26:07 | そういう発電のであっても、 |
| 0:26:09 | 言いつつ、ただしと言っているのによっていうので、非常にバランスが崩れてると思います。 |
| 0:26:19 | はい。 |
| 0:26:23 | ご指摘を承知しました。 |
| 0:26:27 | 表現も含めてすいません修正します。 |
| 0:26:35 | はい。 |
| 0:26:36 | 城シミズです。 |
| 0:26:39 | 今押せて、 |
| 0:26:41 | 修正しますということで、まずちょっと検討をお願いします。 |
| 0:26:47 | ちょっと今、今どこまでできてきたサブ、耐震に期待してるものをここで期待しないのかとかそういう整理にも関係すると思うんですけど今1水源のはなCをしたんですけど、 |
| 0:27:01 | 溢水量の設定としてはどういう考え方。 |
| 0:27:07 | でやられてますでしょうか。 |
| 0:27:18 | 運営主体設計者は00 マネジャー、 |
| 0:27:21 | ベイシア政権所だから、 |
| 0:27:25 | 所長浅田。 |
| 0:27:39 | あれ、ちゃんと止水してますっていう。 |
| 0:27:41 | 位置付けですねシミズです。地下水の量の話なんですけれども、先ほど言った地表面を水面としまして量については無限で評価してございます。それで建屋に入らない設計としてございます。 |
| 0:27:55 | ある協会を核としたところからいらない評価としてございます。 |
| 0:28:00 | 古作です。ちょっと先ほどの説明等書いてることと、いろいろと、 |
| 0:28:07 | 誤解を生じるような表現が、盛りだくさんだったということだと思うんですけど。 |
| 0:28:12 | まず、 |
| 0:28:15 | 溢水評価、影響評価としては、流入は想定しない。 |
| 0:28:22 | 想定しない理由としては、取水するからだ。 |
| 0:28:27 | 取水する条件としては、サブドレン。 |
| 0:28:30 | があるからではなくて、 |
| 0:28:32 | サブドレンがなくても大丈夫なように地表面までの |

| | |
|---------|---|
| 0:28:39 | 水になったとしても大丈夫なようにその範囲をシス、その水頭圧も含めて、止水すると。 |
| 0:28:45 | いうふうになっている。 |
| 0:28:47 | ていうことですかね。 |
| 0:28:51 | はい、井上西崎です。はい。 |
| 0:28:58 | はいその通りでございます。 |
| 0:29:02 | はい。はい。おそらくです。そういう意味では、そこ、 |
| 0:29:06 | 結論としてはそう書いてあるんだと思うんですけど、 |
| 0:29:11 | サブドレンの方で、その水位を下げる、下げるのもSクラス相当にして、水位が上がらないように設計をすると。 |
| 0:29:22 | いうこともあるので、その点も含めながら書いてただ、条件としては保守的になるように、そこまで止水措置やってますよということを言っていたらいいかなと思います。 |
| 0:29:37 | はい。日本原燃篠崎です。おっしゃる通りこちらの説明が、この評価条件の設定っていう添付書類に限らず何か結果ありきで話してしまいましたので、今の細木様のおっしゃられたような、 |
| 0:29:47 | 評価をやるための条件というところ、全然記載足りないというふうに認識しましたので、記載を適切にさせていただきます。 |
| 0:29:58 | はい。規制庁志水です。ちょっと |
| 0:30:04 | 水源溢水量の設定っていうところの考え方が全くわからず、結果っていうところで書かれているので記載の方、検討。 |
| 0:30:11 | お願いします。 |
| 0:30:13 | 地下水による影響について他規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 0:30:21 | はい。よろしければ次、 |
| 0:30:25 | 土肥水防区画内で想定されるその他の漏えい事象っていうところで、ここは人的過誤及び誤作動っていうところも想定があるけど、 |
| 0:30:38 | ここは |
| 0:30:40 | 類、 |
| 0:30:46 | の管理とかもして、 |
| 0:30:48 | やると、想定破損や、 |
| 0:30:51 | 覚えなから、 |
| 0:30:53 | 特に、 |
| 0:30:55 | 評価はなしっていう説明。 |

| | |
|---------|---|
| 0:30:59 | こういうことが書かれてると理解してます。 |
| 0:31:04 | ちょっと微妙な、225 ページのマターってところで、 |
| 0:31:12 | 漏えい検知器やっていうことでここ書かれてるんですけど、そもそも |
| 0:31:18 | 今この項目での示してる誤作動とかの話は最大の漏えい量である想定は3を超えませんかってことでなので、上回るので、 |
| 0:31:28 | 今年ってのは何か考慮ありませんってということがまず説明されてこのまままたってというのは、何かどういう1 図形でこの説明が入っているのかがちょっとわからなかったんですけど。 |
| 0:31:40 | 上回らないけどプラスして金値とかでも、 |
| 0:31:43 | なんか早期に早期検知で、 |
| 0:31:47 | より可能性を下げてますよとかそういう位置付けなんですかねこの漏えい検知器とかの話は、 |
| 0:31:56 | はい。日本原燃篠崎でございます。おっしゃられる通りです。溢水流量、想定破損とかに上回ることはないんだけど、 |
| 0:32:03 | さらにというわけではないですが、どうも参考にですね、早期に検知が可能なので、 |
| 0:32:10 | 大きな一人称ならないですよといった、 |
| 0:32:14 | 情報を付加させていただいたものでした。 |
| 0:32:17 | 入ってあれば規制庁趣味ですであれば |
| 0:32:21 | まず上回りませんでプラスしてってということなんで特にこの漏えい検知器とかに行きたい。 |
| 0:32:29 | この喜多伊井してたのにこの機能がそうなる等想定破損を超えてしまうとそういうことはないって位置付けのものって理解で。 |
| 0:32:39 | 理解したんですけど、間違いないですかね。 |
| 0:32:43 | はい。日本原燃篠崎です。はい。その理解の通りでございます。 |
| 0:32:47 | はい、わかりました。プラスで書かれてることと理解しました。 |
| 0:32:53 | はい。 |
| 0:32:54 | これについて特に私からの確認は以上で、 |
| 0:33:00 | 次区画の設定とかのところに入ってしまうのでまっか全体的に水量1 水源の設定ってところで規制庁側から何か確認あれば、ここでお願いします。 |
| 0:33:13 | はい。 |
| 0:33:14 | よろしければ、続いて226 ページから、 |

| | |
|---------|---|
| 0:33:19 | 区画及び経路の設定の説明に入るのでもう加来野瀬。 |
| 0:33:25 | 予定についてですかね原燃側から説明をお願いします。 |
| 0:33:32 | はい。日本原燃篠崎です。 |
| 0:33:37 | 226 ページからですね。 |
| 0:33:39 | はい。日本規格の設定について 3 ポツ 1 で説明させていただきます。 |
| 0:33:45 | 1 合格はですね、 |
| 0:33:49 | 何かのヒアリングでお話しましたが、溢水評価にあたって、評価すべき、防護対象が設置されている額に対して、土肥死亡オフ額と、 |
| 0:34:01 | いったものを設定しますよといったコンセプトになってございます。 |
| 0:34:06 | 防護すべき設備が設置されているすべての区画、今説明した 1 の他にですね、すみませんこれ今まで説明してなかった部分できてなかったんですが、 |
| 0:34:15 | (2) 中央制御室使用済みの経理設備長への制御室。 |
| 0:34:22 | また、(3) として溢水が発生した工夫を得て、または隔離の操作が必要に設備するアクセスログ、これらについて、 |
| 0:34:31 | 防護区画を設定してございます。 |
| 0:34:34 | 防護区画というのは、226 ページの下にございますが、壁扉席床段差とかそういったものに、 |
| 0:34:43 | よって他の角度分離対象区画として設定し、 |
| 0:34:47 | これすなわちその部屋のイメージでございます。 |
| 0:34:51 | はい。各ユニットも設定しているというところでございました。 |
| 0:34:57 | 学区の話ですと説明以上になります。 |
| 0:35:02 | はい。規制庁清水です。 |
| 0:35:06 | 確認価格の設定のところでもう確認、DB 部についてのまず確認したいんですけども。 |
| 0:35:13 | 先ほど |
| 0:35:16 | 藤網評価対象の選定っていうところでちょっと先ほど整理した内容だと、今、今まで静的デーコー配管としてすべてのいけたものであっても、 |
| 0:35:29 | 流路へいろいろな閉塞とかは考慮しないといけないところはまず、 |
| 0:35:35 | そういう配管とかはひょ評価対象としてまず入れるから、 |

| | |
|---------|--|
| 0:35:40 | ことになったので、そういったものも、今後、この評価、(1)の評価対象の防護すべきで設置されて、すべての区画に入ってくるっていう、そういう整理がされるっていう。 |
| 0:35:54 | 理解で間違いないでしょうか。 |
| 0:35:58 | はい。日本原燃篠崎です。おっしゃる通りです。区画、(1)の区画が、今の精査作業によって追加になるところがございます。 |
| 0:36:08 | はい。 |
| 0:36:09 | 当間そこの整理は、 |
| 0:36:11 | 継続中ということで、 |
| 0:36:14 | 理解してますけど。 |
| 0:36:18 | そうそうすいませんちょっと先ほど確認し忘れたかもしれないんですけど、評価対象の、そこの再整理してるのは2月末まで、時間かかるっていうような話があった気がして、はい。 |
| 0:36:31 | それを踏まえて区画の設定っていうところも、防護対象としていれたらそこを区画として追加で、 |
| 0:36:38 | 設定するっていうことで、 |
| 0:36:40 | その区画の設定まではどのくらいかかるんですかね。 |
| 0:36:46 | 日本原燃篠崎でございます。おっしゃる通り、もうすでに何が置いてあるから、これは評価対象区画ですよというのがございますので、 |
| 0:36:56 | 評価立位、すいません、評価対象設備の選定が終わるのとはほぼ同時にですね、区画もどこが追加になるのかってのは、整理できてると思ってます。 |
| 0:37:07 | ほぼ同時と思ってございます。 |
| 0:37:10 | 規制庁シミズ事務局理解しました。 |
| 0:37:13 | 続いてちょっとこの区画の設定っていうところでS Aのセガワでは防護区画として何を設定してるかっていうことを確認したいんですけども、 |
| 0:37:25 | そういう中から設定はもうここはS Aが入った上での記載っていうことでしたっけちょっとまずその辺から、 |
| 0:37:35 | はい。藤。日本原燃篠崎でございます。 |
| 0:37:38 | これが今後の整理で追加しなきゃいけないところだと思ってございますが、この添付書類3というのは、頭でもうF Aと合流して、 |
| 0:37:49 | 溢水防護対象設備と重大事故対処設備を合わせて防護すべき設備として設定して話展開してございますので、 |

| | |
|---------|---|
| 0:37:57 | ここは、S Aの話も含んでおかなければいけないところだと思っています。ちょっとそこは今受けていないっていう状況ですが、 |
| 0:38:05 | 認識はそういうことです。 |
| 0:38:07 | はい。規制庁の田尻です。ちょっと1回頭の整理をしたいんですけど、今、3の3ポツ1のところ(3)でアクセスする |
| 0:38:16 | けど、これがS Aに特化した話か、それともDBであるのかっていうのをまず確認したいんですけどこれはどっちでしたっけ。 |
| 0:38:25 | はい。日本原燃篠崎です。すみませんここで書いてるのは、DBの話、院長として、溢水が発生した区画を特定する、確認に必要なアクセスと通路部を指してございます。 |
| 0:38:35 | はい。規制庁鳥居です。その時なんですけどS Aの方がどう書こうとしてるかによるんですけど、さっき1幾つか忘れちゃったけど最初んところで圧ルートの話とかも抽出してる流れだったと思うんですけど、 |
| 0:38:48 | S Aのアクセスルートは、最初のところへ抽出するけど、DBの方はここでいきなり現れるんですかね。 |
| 0:39:01 | 水晶体についてる意味わかります。 |
| 0:39:04 | はい。すみません、日本原燃篠崎です。多分私の説明が、 |
| 0:39:10 | 町が間違っちゃったけど、防災マネージャーというのは、理事者でございます。塩崎さんのイメージで言ってないだけ、ずれてるんだと思うんですけど。 |
| 0:39:19 | 評価対象の設備に対して着目して確かにDBの方は評価対象の区画を設定をし、その水を低減させるために、いろんな人のアクションをするために必要な、 |
| 0:39:32 | アクセス通路ってのは別出しにしています。先ほどのS Aをどうするかってところで、環境条件で言ってるのはあくまで設備側の話をしていますけど、 |
| 0:39:42 | 当然設備っていうのは、S Aとしては対処も込みで設定をする話なので、そういう意味では、S A側、実際の対処も込みで評価対象区域を設定していくと。 |
| 0:39:54 | ということでその部分はS AとDBで違ってます。ただ、それを今これ基本設計方針のDBの基本設計方針から展開して書いてますけど、じゃあ、S A時に本当に書き方が分けていいのかってところは整理が必要だと思ってました。以上です。 |

| | |
|---------|---|
| 0:40:09 | はい。規制庁谷井です。差別化できるような気もするんですけど今おっしゃっていただいたように横に並んだときにどう出てくるかなっていうのがちょっとスーパーってイメージしてなかったところがあってお聞きしました。 |
| 0:40:21 | おっしゃられるようにDBだったら設備に関連付けるような気がするんですけどちょっとどのように整理して並んでくるのかっていうところを今後確認したいと思うのでよろしくをお願いします。 |
| 0:40:34 | はい。日本原燃塩崎で承知しました。 |
| 0:40:43 | 藤規制庁志水です。 |
| 0:40:46 | 清野区画について今お話聞いたので、一旦ここで防護区画の設定のところまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 0:40:59 | はい。瀬野谷井です。ちなみにここ露頭は結構記載が違う気がするんですけど、この辺りの記載はどっか他にあるからっていうことなんすかね何か業務設計方針の構成を踏まえた記載で新たにのってが生じるものではないという形で書かれてるんですけど。 |
| 0:41:14 | 例えば227ページとかのところで、清数井ところで扉あけるんだったらちゃんと考慮しますよとかっていうのが返っていたりすると思うんですけど、こういうのは別のところで書いているからっていうことでしたっけ。 |
| 0:41:27 | 江藤。 |
| 0:41:30 | 日本原燃篠崎でございます。この備考の書き方が悪いんだと思いますが、おっしゃる通り他のところで、経路のところ采配でこういった記載は最初の方でございます。 |
| 0:41:41 | 規制庁谷井です区画設定とか評価の単位でっていうところろうに関わるからのがここで書いているような気も何となくするんですけど、ここは経路のところ拾えそうな記載が後で出てくるってことですかね。 |
| 0:41:58 | はい。日本原燃篠崎です。特異性というのも、消火水の流入の考慮の上でございます。この後、溢水経路のところ、こういったところは、流入経路として見込む、そういったところは流出して考慮しないみたいな話が展開されますので、 |
| 0:42:12 | 我々はそちらの方ですよね。ございました。 |
| 0:42:15 | はい規制庁谷井です。どこで整理するかっていうところな気がするんですけど、一斉の防護カクウまあまあ評価単位をどこでっていうふうに言 |

| | |
|---------|---|
| | ったときに、前段のところではここに境界があるんでここで評価しますよっていうやつがそのあと出てくる経路のところ、扉あける時があるんでって言って評価の単位が変わるような気もしたので、 |
| 0:42:34 | ちょっとそれでこの後確認した上で必要に応じてまたコメントしようと思います。 |
| 0:42:45 | はい。いや、全然シノザキです。承知しました。 |
| 0:42:49 | はい。 |
| 0:42:50 | 規制庁、清水ですとか、規制庁側からここまで確認ございますでしょうか。 |
| 0:42:57 | よろしければ続いて、 |
| 0:43:00 | 溢水経路の設定のところですね原燃側から説明をお願いします。 |
| 0:43:09 | はい。日本原燃篠崎です。227 ページ中段 3 ポツに溢水経路の設定から、説明再開いたします。 |
| 0:43:18 | はい。溢水評価におきましてその区画の出入りといったところで溢水経路といったところを設定させていただきます。 |
| 0:43:27 | 伝播経路となる。 |
| 0:43:30 | 防水扉ですとか水密扉以外の普通の扉、壁開口部貫通部みたいなものにつきまして、 |
| 0:43:39 | 土肥水門をかけないの水位が最も高くなるようにより厳しい結果を与えるようにこの溢水経路を設定して参ります。 |
| 0:43:46 | はい。上層階から、 |
| 0:43:49 | 下層階への伝播に関しては、全量が下の方に伝播するといったことにてございます。 |
| 0:43:56 | はい。 |
| 0:43:58 | 壁扉、堰床段差は、 |
| 0:44:02 | 火災とか基準地震動 S_s による地震力といった、そういった荷重や環境に対して、 |
| 0:44:10 | 必要な健全性を維持できるといったところを確認できたものについては、溢水の伝播を防止できるとしてございます。 |
| 0:44:19 | 228 ページの中段から下にありますが、なおって書いてる方、 |
| 0:44:25 | の下の方に消火活動によりでございますが、これが先ほど言いました。 |
| 0:44:30 | 区画の防水扉とか水密扉を、 |

| | |
|---------|---|
| 0:44:34 | 開放する場合は、そちらからの消火水の伝播を考慮するといったところを書かしていただいております。 |
| 0:44:43 | はい。230 ページにいきます。3 ポツ 2 ポツ 1、溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の設定でございます。 |
| 0:44:53 | はい。原則ここに書いてる通り、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、他区画への流出は想定せずに、より厳しい結果を与える条件としてございます。 |
| 0:45:06 | ただ、定量的に、各階流通確認できる場合は、他の国への流出も考慮できるといったことにしてございました。 |
| 0:45:15 | で、231 ページから、(1) 床ドレンといったところから、 |
| 0:45:22 | ありますけれども、 |
| 0:45:24 | ここに書いてある通りですね、基本的に他区画への流出は考慮しないという厳しい設定がされる。 |
| 0:45:34 | すいません、失礼します。厳しいな厳しい条件を与える入出の設定といったことをしてございます。 |
| 0:45:42 | 232 ページの下、3 ポツ 2 ポツに、これがミスイ防護区画外漏えいですね。 |
| 0:45:49 | 特に外で漏えいした時の溢水経路の設定について書いてございます。 |
| 0:45:55 | こちらについては、防護区画内への流入が最も多くなるような、当間厳しい結果を与える条件として溢水経路を設定してございます。 |
| 0:46:08 | はい。先ほどと同じようにですね、 |
| 0:46:12 | 233 ページから、 |
| 0:46:14 | 床ドレンから始めまして、 |
| 0:46:20 | 厳しい条件を与えるための流入を考慮するといったような表現が続いてございます。 |
| 0:46:28 | ただ、例えば床ドレンのところでは言いますと、床ドレン配管に溢水防止、 |
| 0:46:34 | 対策としてですね、逆流防止措置みたいな施されている場合は、 |
| 0:46:39 | その対策効果を考慮するといったようなことを書かせていただいております。 |
| 0:46:50 | はい。 |
| 0:46:54 | 簡単ですがはい。 |
| 0:46:57 | 経路の設定につきましての説明行です。 |

| | |
|---------|---|
| 0:47:00 | はい、規制庁シミズありがとうございます。 |
| 0:47:04 | 経路の設定については今説明あったように、まず 227 ページからより厳しい結果を与えるように設定しますということで |
| 0:47:14 | 230 ページ以降、区画内漏えいの経路の設定後、区画外での経路の設定ってところでそれぞれ説明されている。 |
| 0:47:24 | ていまして、 |
| 0:47:26 | ちょっと確認したいのですが、230 ページで、溢水防護区画内漏えいで経路の設定ってところで、 |
| 0:47:36 | 231 ページ以降に各設備の古藤で書かれてるんですけど、今 230 ページでまず頭書きで書いてるところでこのただし書き、さっき説明あったように、定量的に、 |
| 0:47:50 | 不具合への流出を確認できる場合は考慮するってということが頭のほうで書かれてて、 |
| 0:47:58 | 以降でその各設備のところを見ると例えば実用炉だったら各設備のところでも正しいっていう形って何個かあって、流出を期待する場合がありますけど、 |
| 0:48:10 | 例えば一つ目床奴隷ドレーンだと、備考欄見ると、次、再処理の方は、流出は考慮しないから、そこは差がありますってこうこあり理解したんですけども。 |
| 0:48:22 | 次の 3 床開口部及び貫通部で、 |
| 0:48:26 | 実用炉だと、考慮する期待する場合があって、再処理の備考欄を見ると、冒頭で説明していることによる差異ってことで書かれてるってことは、 |
| 0:48:38 | 床開口部及び貫通部で流出を考慮する場合は、その冒頭で説明するように定量的に確認できる場合は流出を考慮している場合があるっていう。 |
| 0:48:52 | そういう説明がこの備考欄でされてるっていう。 |
| 0:48:55 | 理解。 |
| 0:48:56 | でしょうか。 |
| 0:49:03 | 音源アカマツです。 |
| 0:49:05 | 定量的なような、量を期待して、 |
| 0:49:09 | 検討しているのはこの床面開口部のみとなります。 |
| 0:49:12 | 以上です。 |

| | |
|---------|---|
| 0:49:13 | 甲斐。 |
| 0:49:15 | 成長趣味です。であれば床面開口部及び貫通部では、流出を考慮してる場合があるってことなん。その定量的に確認できる場合は考慮してる場合があるっていう。 |
| 0:49:27 | ことなんですが、ちょっと何か |
| 0:49:30 | 230 ページの冒頭で書いてあるから、 |
| 0:49:34 | 書かれてないってことかもしれないんですけども、ちょっとその辺は、 |
| 0:49:41 | わかりにくいのでちゃんと明示的に書いていただけると、と思います実用炉の方も、 |
| 0:49:49 | 考慮しないけどする場合ってことで、各設備というかその項目で書かれているので、 |
| 0:49:55 | 後で何か実は考慮してましたってことがないようにちょっと入れるよう検討をお願いします。 |
| 0:50:02 | はい。日本原燃篠田おっしゃられる通りで、このように記載程度厚くなってしまうので、 |
| 0:50:09 | ここは流出するよといったところをピンポイントでわかるようにですね、記載を修正させていただき、 |
| 0:50:18 | 規制庁シミズよろしくをお願いします。 |
| 0:50:21 | 今小松さんでしたっけ。すみません |
| 0:50:25 | 存在量的に確認できる場合として流出を考慮してるのは、この括弧2 だけですってこと言ってる、 |
| 0:50:33 | 232 ページの扉。 |
| 0:50:36 | ていうところにもなるとただし書きがあるんですけど、 |
| 0:50:40 | これは、 |
| 0:50:43 | これも期待流出を期待する場合があるってことでこれは定量的動向、 |
| 0:50:49 | いうことじゃないけど流出を期待する場合があるっていう。 |
| 0:50:52 | 理解でいいですよ先ほどのちょっと括弧にしかありませんっていうとの関係等をちょっと確認しておきたいんです。 |
| 0:51:02 | 日本 |
| 0:51:03 | 原燃の小松です。すみませんこちらのただし書きはですね、口で言います。最初に、 |

| | |
|---------|--|
| 0:51:10 | 消火活動に基づいて、 |
| 0:51:13 | あける扉、 |
| 0:51:15 | も含めて、溢水防護区画として、説明のところでは開放する場合はということに記載されてるんですけども、 |
| 0:51:22 | 最初の方は、こちらの、 |
| 0:51:25 | 今 |
| 0:51:27 | 藤さん。 |
| 0:51:28 | 3ポツ2ポツ2のですね。 |
| 0:51:30 | 扉。 |
| 0:51:33 | 何じゃ(4)ですね、こちらで最初の方は明確に機械が記載したというものでございます。 |
| 0:51:43 | はい。 |
| 0:51:44 | 規制庁市民です。 |
| 0:51:47 | うん。 |
| 0:51:48 | この辺ただし書きがいろいろ |
| 0:51:50 | あれなんですけど、これはその消火活動で空き、明らかに開閉とかし流れるところは期待しますっていうのはもともと冒頭で言ってる定量的な、 |
| 0:52:04 | 流出を確認できればいいとはまた別だけど、 |
| 0:52:08 | 別の事故っていうことなんですかね。 |
| 0:52:11 | はい。すみません、日本原燃篠崎です。説明があれだと思います。今、先生おっしゃった通り、ただし書きで書いているのは、開口部から、 |
| 0:52:24 | 定量的に流出を評価できるような場合のことを話してまして、扉みたいにもう明らかに扉を開放して、 |
| 0:52:34 | 倒して活動を行うような場合とはちょっと色分けをした。 |
| 0:52:41 | 期待をしなきゃいけないというふうに思いました。 |
| 0:52:44 | はい。これ質問の趣旨に合わせてはい。誤解を招かないように修正いたします。はい。よろしくお祈いしますちょっと頭が切りどこ、何を書いているのかと個別で実際、 |
| 0:52:57 | どういう場合を考慮し、流出を期待してるのかっていうところの関係性がちょっとわかるように整理の上、検討をお願いします。 |
| 0:53:05 | あと、ちょっとついでなんですけどこの232ページで、(4)で言ってる扉っていうのは、あれですよ防水扉とか水密扉とかあと普通の、 |

| | |
|---------|---|
| 0:53:15 | 下ミラーすべて含んだことの扉ってということですかね。 |
| 0:53:29 | あ、すみません、日本原燃篠崎です。ちょっと音声がちよっと混線していきなかったんですが、ここで言ってる扉は、 |
| 0:53:37 | 水密扉とか防水扉以外の普通の扉のことを指しているってことですかという質問でよろしかったでしょうか。はいそうですね基本的に僕が扉とか使うときは、 |
| 0:53:49 | 何か使い分けてる気がするのでここはその場ンダリーとして何か期待してルー対策設備として何か行為や作ってる。 |
| 0:53:58 | 防水扉とか水密扉とかそういう特別なものも含んだ扉ですかって言うはい、確認になります。はい。はい。すみません。そうしましたら、 |
| 0:54:10 | ご指摘の通りでございます。溢水経路の設定の頭のところに書いてございます。 |
| 0:54:15 | 防水扉及び水密扉以外の扉のことを、ここではすみません扉と表現させていただきます。 |
| 0:54:22 | はい、わかりました 10 室は、 |
| 0:54:25 | 考慮しない。 |
| 0:54:29 | はい。理解しましても一番厳しい。 |
| 0:54:33 | 設定になるように、扉はすべて、 |
| 0:54:37 | 基本的には流出は考慮しないでも正しいで |
| 0:54:42 | 開けたりする消火活動を行うときは、期待するっていうことで整理されていると理解しました。 |
| 0:54:56 | で、 |
| 0:54:57 | なんですけども次は溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の設定っていうところで 232 ページ以降、後半以降から始まるんですけども、 |
| 0:55:15 | 234 ページ。 |
| 0:55:21 | その上の方なので小項目としては天井階現状面開口部及び貫通部の |
| 0:55:29 | 留意、流入、 |
| 0:55:32 | 運転での記載なんですけど、ここでこの田尾。 |
| 0:55:37 | なお書き 234 ページの上の方でなあっていうことで、 |
| 0:55:41 | 各条文にある他の区画に蓄積された溢水が残留する場合は、その残留水の流出は考慮しない。 |
| 0:55:52 | このちょっと直ってというのが、 |
| 0:55:56 | その上で書いてあることとの関係性を確認したくて、 |

| | |
|---------|---|
| 0:56:02 | 例えば 233 ページの最後の方だと、 |
| 0:56:08 | この場合においてはっていうことでその上で説明してる内容との関係性がわかるんですけど、ちょっとこの読み方がわからなかったので、 |
| 0:56:17 | まず天井、(2)の天井開口、 |
| 0:56:20 | 具及び貫通部の |
| 0:56:23 | ここで何を期待してるかっていうところを一通りちょっと説明いただいても、具体的に説明いただいてもよろしいでしょうか。 |
| 0:56:33 | 少々お待ちください。 |
| 0:56:43 | 規制庁趣味でちょっと私の伝え方が悪かったりちょっと何か接続詞的にどういう関係性になってるのがわかりにくかったってところなので |
| 0:56:53 | この 233 ページの (2) の、 |
| 0:56:56 | 開口部貫通部について一通りちょっと説明いただければ、多分大丈夫だと思うのでよろしくお願いします。 |
| 0:57:03 | はい。規制庁土肥です。その説明する時に 233 ページの下から 4 行目のところにあるこの場合においてっていうので、暫時どうのこうのっていう記載等、234 ページの上から 5 行目からのなお書きで、に多様な文章が 2 回出てくる形になってるので、 |
| 0:57:20 | これは何をそれぞれ書き分けてるのか磯前のことバーに対してそれぞれ答えてる気がするんですけど、6 はまとめて書いてるのに対して、二つ入ってるっっちゃうだけなのかどうかはちょっとわかんなかったんで、そのあたりもあわせて説明いただければと思います。 |
| 0:57:45 | ちょっとお待ちください。 |
| 0:57:54 | 2 番目のアカマツです。床チラー。 |
| 0:58:02 | 区画外から漏えいの強い経路で、この天井面開口部及び貫通部と記載しておりますのは、 |
| 0:58:09 | まず、 |
| 0:58:11 | 泉合格の上の区画で発生した水量全量、 |
| 0:58:17 | 人間を考慮しますってのが前提全体方針なんですけれども、 |
| 0:58:22 | 新しい書きにある通り、 |
| 0:58:24 | 当町水処置がされている場合は流行しないと。 |
| 0:58:29 | そのときは、 |
| 0:58:31 | 植野加来にある一木関排水。 |

| | |
|---------|---|
| 0:58:35 | 当該国に残留する場合は、 |
| 0:58:38 | 残業占有者考慮しないと。要は、上が流入防止対策がされていて、 |
| 0:58:46 | これを、 |
| 0:58:49 | 努力して、 |
| 0:58:56 | また設営措置がされている場合に対して、 |
| 0:58:59 | 利差コール数が多く記載しているものでございます。 |
| 0:59:02 | 下のまたのところについては、 |
| 0:59:09 | ここで言っている、し、耐震性を |
| 0:59:13 | お呼び水圧に対する共同、審議所有者流出防止対策。 |
| 0:59:18 | されている場合は、別の効果を考慮すると。 |
| 0:59:22 | いってものに対して、 |
| 0:59:25 | もうこのときですね、その当該の石郷岡久野上部に、 |
| 0:59:30 | 蓄積された一声ってというのは、 |
| 0:59:36 | 例えば開放部の、 |
| 0:59:39 | 周りの天井の開口部の周りに、比嘉段差、カーブみたいなものですね。 |
| 0:59:46 | そういったものがあって、上の区画に、 |
| 0:59:49 | 水が残る。 |
| 0:59:50 | いうことができ、評価できる場合は、 |
| 0:59:53 | そのたまったものが、現状から来ることは想定しないという、 |
| 0:59:59 | 意味で書いております。 |
| 1:00:02 | 以上です。 |
| 1:00:03 | すいませんあと日本原燃の嶽です。補足します。 |
| 1:00:06 | ちょっと谷井さんのおっしゃられたように変え、 |
| 1:00:10 | 同じ文章書くのは、 |
| 1:00:13 | ちょっと、 |
| 1:00:14 | まとめて書けるかなというふうには思いました特に分けて書く必要はない。今の説明ですと、まとめて書けるかなというふうに思ってます。規制庁谷井です。なんで上にとどまってこれでこの砂層のやつはその子が期待できるように考慮しますよって言うだけじゃないんですかね。どっちも。 |
| 1:00:33 | はい。米田シノザキ、おっしゃる通りなので、何か今、毎回書く必要もないかなというふうには思いました。そうです。はい。規制庁鳥居です。で、分けて確認しても、この場合においてはと直で何か書き分けて |

| | |
|---------|--|
| | るような感じになってるのが多分シミズがしてきたところにも繋がって るような気がするので、 |
| 1:00:50 | 必要な文書がどれかというのを検討いただければと思います。 |
| 1:00:57 | 規制庁驚見ですよろしく申し上げます。ちょっと今この部分で出てき た。 |
| 1:01:03 | まず1点確認したいんですけど。 |
| 1:01:05 | 2、233ページの |
| 1:01:08 | 下の方で出てくるH a t c hっていう、 |
| 1:01:11 | ものなんですけど、これって、 |
| 1:01:13 | 何か扉とか2、 |
| 1:01:16 | と一緒に整理してる水密ハッチのことを言ってるのか。 |
| 1:01:22 | ちょっと澤さんはその、 |
| 1:01:24 | 対策設備として設置するってしてる水密ハッチが元の整理だと扉の内数 に入れてますって言います水密扉で、その開口が、 |
| 1:01:36 | 何か水、水平と鉛直な場合で |
| 1:01:40 | 水平方向と鉛直方向の場合で、水密扉と水密ハッチを使い分けて両方扉 に入れてるっていうことで整理されてると思うんですけど、H a t c h って、 |
| 1:01:52 | 何を指してるんでしょうか。 |
| 1:01:59 | はい。日本原燃角田でございます。江藤。ここで言ってる発注は、今お っしゃられたスイッチH a t c hのほかに止水処理が施されている、あ っちも含んでございます。 |
| 1:02:09 | ちょっとその話が先に来ますが今 |
| 1:02:12 | 指摘された通り、 |
| 1:02:13 | 水密扉にも、我々蓋パターン |
| 1:02:17 | 等ございまして、 |
| 1:02:19 | いわゆる壁に、目的は水がすぐ |
| 1:02:26 | 流出を防止するという意味で全く一緒なんですけれども、 |
| 1:02:30 | 壁に設置するものを、水密扉の中に、いわゆるシミズ扉で、床にそれを 設置するもの、水密扉の（ア）の床8体水密ハッチタイプというふうに タイプ分けしてございまして、 |
| 1:02:44 | それが強度計算書とか後ろの方に来ると、S m i t h扉ってのはパター ンあるんだよってのは見えているんですが、 |

| | |
|---------|--|
| 1:02:51 | ちょっとこの後あります。詳細設計添付5みたいなところでは、うまく書き分けが記載ができていませんでしたので、そこについては追記させていただこうと思ってました。以上です。 |
| 1:03:02 | はい。規制庁志水です。そうですね。ちなみに今はその、 |
| 1:03:07 | ここのハッチは水密ハッチと止水処置があるH a t c hっておっしゃったんですけど、これって何か。 |
| 1:03:13 | 何ですか、違うんですかっていう。 |
| 1:03:17 | 二つ挙げられた。 |
| 1:03:19 | ですけど、 |
| 1:03:26 | 違うよね。 |
| 1:03:27 | すいません。機器搬入のためにですね開けるような一般的なH a t c hで止水性がある。 |
| 1:03:34 | ハッチがございます。 |
| 1:03:38 | あ、 |
| 1:03:38 | はい、規制庁市民です。 |
| 1:03:41 | ずっと。 |
| 1:03:42 | よくわからなくなったんですけども |
| 1:03:45 | その今括弧22の項目でハッチが入ってて一方その |
| 1:03:51 | 水密ハッチは扉に入れるとしていて、(4)に扉があってとか、ちょっとどこに入ってる、何が入ってるかっていうのわからないのもうちょっとそこは整理して、ちゃんと書き分けるっていうことだったので、 |
| 1:04:04 | よろしくをお願いします。 |
| 1:04:11 | 日本原燃篠崎です。ステージで説明できるように準備いたします。 |
| 1:04:16 | はい。すいません、ちょっとやっぱり、規制庁示しちょっとよくわからなかったり、寝るために確認しておきたいんですけど、今 |
| 1:04:23 | 水密ハッチと止水処置がある発注は違うっていうことで、 |
| 1:04:29 | 具体的に、 |
| 1:04:31 | ちょっとそれぞれ、 |
| 1:04:33 | 何ていう違いというか、説明いただけますしちょっと水密ハッチの方は後ろに構造とか書かれてるから何となくわかるんですけども、特に後者の方が、 |
| 1:04:44 | 何を指してるのかがわからなかったのですみませんがお願いします。 |
| 1:04:50 | はい。溢水防護対策設備として、 |

| | |
|---------|--|
| 1:04:54 | つけてます今清水さんおっしゃった水密ハッチというもののほかに、現場にはですね、 |
| 1:05:00 | 普段から開け閉めする物品の反映とかですね開け閉めするH a t c hみたいのございまして、それでもちゃんと止水性が保たれてるような発注につきましては、 |
| 1:05:14 | 排水経路として不合格への流入を考慮しない、いうふうに、すみませんコサクです。 |
| 1:05:21 | 何か堂々めぐりしてるようなんですけど、なんでそれを二つ分けなきゃいけないんですか。 |
| 1:05:35 | 知久です。表現が悪かったかもしれないですけど、分けるっていうのは、何か機能として見込むのに違いがあるとかですね。 |
| 1:05:44 | ということなのか。 |
| 1:05:46 | うん。 |
| 1:05:46 | そのあたり、要求事項と実物とどういう関係にあるのか説明いただき、 |
| 1:05:52 | はい。宮城磯崎の指摘は理解してます。少々お待ちください。 |
| 1:06:06 | うん。 |
| 1:06:34 | です。 |
| 1:06:59 | すみません関西電力の笹川です。ちょっと私が答えていいかどうかわかりません。碓井。 |
| 1:07:06 | 括弧のところですね、いろんなハッチとか精密扉とかいうのがございます。ここをですねここで11測線書きちゃってるからちょっとかなり誤解を招いてると思いますので、 |
| 1:07:17 | 県、 |
| 1:07:20 | 更正もしくは今後は高地市政をされる場合は、流入防止を図るというのとあと推測だというのがありますので、ちょっと1回整理をさしていただいて、 |
| 1:07:30 | こういうものが原燃さんにあります。これに対しては止水性を持っているので、未私見てます。ここについては、鎮目が内閣見てませんということで、ちょっと |
| 1:07:44 | 整理をさしていただいて、ご回答させていただきます。おそらくここで言っても、言葉のあれになってると思ってますので、すみません。 |
| 1:07:55 | すみません。補足です。 |

| | |
|---------|--|
| 1:07:59 | 整理をしてまた行っていただいた方が確かにいいかなとは思いつつ見込む見込まないということ。 |
| 1:08:07 | Dの違いだったらまだいいんですけど、見込むものについてこっちはこういうこっちを合流っていう何か和気高のように聞こえたので、ちょっと確認をさせていただいたと思ってたんですけど、清水さん。 |
| 1:08:21 | どんな感じなんですか。 |
| 1:08:23 | 成長シミズですとそうですねここで |
| 1:08:26 | 今経路の設定っていうところで、 |
| 1:08:31 | 流入、基本は流入するとするけど、こういう場合は、 |
| 1:08:37 | その効果は期待しますよっていうことで、 |
| 1:08:43 | 期待してルー、考慮してるところに何か差があるのであれば書き分ける必要があると思うんですけども特に両方とも、 |
| 1:08:54 | 水が漏れないように、睡眠性が止水性化とかで何か |
| 1:09:00 | 差がないのであれば、 |
| 1:09:02 | 確認。 |
| 1:09:03 | 必要ないのかなと思った点でちょっと、 |
| 1:09:06 | 聞いてみた次第でした。 |
| 1:09:12 | 蘇武です。ちょっとよくわからないですけど、いずれにしても登場人物をちゃんと数、まとめて提示をしていただいてそれぞれの機能として同じ人員、 |
| 1:09:23 | 何か同じでないのか、同じであれば、同じように扱うというのが普通だと思うのでこういうふうに扱っていきますということなのか整理をして、 |
| 1:09:32 | 対応いただきたいと思います。 |
| 1:09:35 | 全般的に要求機能との関係で整理をするという基本施設等があるかと思えますので、よろしくお願いします。以上です。 |
| 1:09:44 | はい。日本原燃白木承知しました。 |
| 1:09:50 | 成長シミズです。よろしくお願いします。 |
| 1:09:54 | うん。 |
| 1:09:56 | 続いて、あと 234 ページでこれちょっと先ほど確認した後、流出の方ですから確認したことと一緒なんですけど (4) で扉っていうことでここは、 |

| | |
|---------|---|
| 1:10:08 | 水密扉とか防水扉と普通の扉も含んだ項目として書いてて基本は湯流入を考慮するけど、ただし書きであるように、 |
| 1:10:20 | 防水扉とか水密扉とかいうそういう機能を期待してるやつは流入を考慮しません。 |
| 1:10:26 | 今そういう構成になってると理解してますが、間違いないでしょうか。 |
| 1:10:35 | 日本原燃篠崎です。おっしゃられる通り、扉は、基本的に 10 人は流入するものというふうに扱いますが、 |
| 1:10:44 | 防災と学校戸塚に関しが設置されてる場合と 2 床が流入したのものとして扱うという、そういう趣旨でございました。以上です。 |
| 1:10:53 | はい、ありがとうございます。 |
| 1:10:55 | 藤都築 235 ページの積についてなんですが、 |
| 1:11:01 | また書きのところで、S s に地震力による耐震性とか強度とかを確認された積についてはその効果を期待するっていう書き方で、 |
| 1:11:13 | コアの効果を期待しない積とかは特にないんでしょうか。なんか耐震性がないからとか強度がないから、 |
| 1:11:22 | 期待しない積とかもいるんでしょうか。 |
| 1:11:26 | はい。はい。エディオン石崎です。 |
| 1:11:29 | 対象ございません。 |
| 1:11:31 | はい、わかりました設置してる先についてはすべてそういう耐震性とか強度も確認されて期待している席で、流、 |
| 1:11:40 | 防止ですか、ちょっと効果を期待してる石があるしかないってことで、 |
| 1:11:46 | 理解しました。 |
| 1:11:48 | はい。 |
| 1:11:50 | 溢水経路の設定のところまでで他規制庁側から何か確認ございましたらお願いします。 |
| 1:11:59 | 規制庁タジリですけど、最後文章を綺麗にさせていただければいいけど今 235 ページとか言って、ただし書きをもとに、に対して追記してるんですけど、結局同じことを 2 回言ってるようにも見えるので、 |
| 1:12:11 | 多分が何なのか |
| 1:12:14 | 要はちゃんと耐えられて資産のやつは、耐震性だけでなく水圧に対する強度睡眠性が確認されたっていうふうに言ってるので、別に地震の話だけじゃなくて全般の話を言っていて、 |

| | |
|---------|---|
| 1:12:25 | 機器がないので的確かどうかというところではあるかもしれないけど防水扉の水密扉も2回出てきてるような感じにはなってるので、 |
| 1:12:32 | オリジナルの設計があればその部分を書くのはいいと思うんですけど、差分が本当にあるかとかはご検討いただければと思います。 |
| 1:12:43 | 白木所長しました。ちょっと上から下まで迎えにいます。 |
| 1:12:50 | はい。 |
| 1:12:51 | 規制庁志水ほか脇ここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 1:12:58 | はい、どうぞよろしければ、続いて237ページ以降で評価、溢水評価っていうところに入りまして、 |
| 1:13:10 | 藤。 |
| 1:13:11 | まず最初の、 |
| 1:13:13 | 237ページの4ポットの溢水評価の頭書きから、 |
| 1:13:19 | 239から始まる没水影響に対する評価っていうここまですでまず原燃側から説明の方をお願いします。 |
| 1:13:31 | はい。40年シノザキです。237ページ、中段、4ポット溢水評価から再開させていただきます。 |
| 1:13:42 | はい。まず前段ですね、 |
| 1:13:46 | 先ほど挙げました1水源ですね、想定破損による溢水消火水の放水、地震起因による溢水その他の溢水に対して、 |
| 1:13:54 | 没水被水蒸気の観点で、機能を損なわない設計としますということとともに、 |
| 1:14:00 | プールピットのスロッシングで水位低下した場合でも、燃料の冷却及びプールの給水の機能にできるということをまず評価しますよというのが立ってございます。 |
| 1:14:14 | はい。10、 |
| 1:14:20 | 238ページの、 |
| 1:14:23 | 下の方ですね、溢水評価においてっていうことでアクセス通路部の話をしてございますが、 |
| 1:14:32 | これ先ほど、 |
| 1:14:34 | ありましたように、江藤SEと合流した時のですね、アクセスルートの評価との関係ところを踏まえて、 |
| 1:14:42 | ここは、 |
| 1:14:45 | 大分になっていくことになると思います。 |

| | |
|---------|--|
| 1:14:48 | はい。239 ページの、 |
| 1:14:52 | 中段からですね。 |
| 1:14:54 | 没水に対するボス。 |
| 1:14:58 | 提起に対する評価方法ということで、(1) 評価方針から行う。 |
| 1:15:02 | がございます。 |
| 1:15:03 | 基本的にはですね、水源から発生する溢水量と、 |
| 1:15:09 | 算出した溢水水位に対して、 |
| 1:15:13 | 機能喪失高さを比較して防護すべき設備が要求される機能を行えないことを評価するといったのが、 |
| 1:15:21 | 歩数に対する評価方針でございます。 |
| 1:15:26 | はい。で、240 ページからはですね、溢水水位の |
| 1:15:33 | 設定の仕方、 |
| 1:15:38 | 床勾配の考慮ですとか、241 ページにいけますと、滞留面積の効果、 |
| 1:15:47 | こういったもの、視点を踏まえて、高さをどうスタンスしますかといったところを出していただいております。 |
| 1:15:55 | ここで床勾配の |
| 1:15:59 | 設定につきましては、 |
| 1:16:02 | 前のヒアリングでもですね、炉との違いを踏まえて、保守性について説明しろ、することといった、 |
| 1:16:10 | もうコメントいただいておりますので、これちゃんと附属説明資料で、ここだけではなくて他も全部その保守性、有効数字の丸め方みたいな説明資料準備でございますので、 |
| 1:16:20 | 説明さしあげたいというございます。 |
| 1:16:23 | 241 ページ中段から、判定基準ございまして、 |
| 1:16:27 | これ頭でいいましたようにポツに書いてますが、まず |
| 1:16:32 | 機能喪失高さとう位の比較において、土地の高さ、水位が上回らないといったこと、失礼しました。まず判定基準ということで、下に示す A からですね、藤リーダ。 |
| 1:16:45 | はい。厳しい。失礼しました。質疑。はい。C までの条件に合致するがすれば、要求される機能は損なわないですよといったところでございます。まず一つ目が、 |
| 1:16:58 | 数字時のソース高さの比較によって |
| 1:17:02 | そういった形が上回らないといったもの。 |

| | |
|---------|--|
| 1:17:05 | 次Bというのが、荷重性、多様性を有しているもので、 |
| 1:17:11 | これは同時にですね、要求される機能を損なわないといった、 |
| 1:17:15 | 案内基準、三つ目のCがですね重大事故等対処設備につきまして、位置的分散とか分散配置、 |
| 1:17:23 | これを踏まえまして10が重大事故対処に必要な機能が同時に喪失することがないと。 |
| 1:17:29 | これに合致するものが、0ですよといったことを書いてございます。 |
| 1:17:35 | で、244ページから、 |
| 1:17:38 | 今度は没水影響のうち、屋外で発生する溢水に関する溢水評価でございますが、43ページまで1回しましょうか。 |
| 1:17:49 | はい。そうしました。 |
| 1:17:51 | 生協等ですいませんちょっと中身の話シールから始まる前にちょっと自分の方がちょっと気になったんで1点確認なんですけど、237ページのところなんですけど、 |
| 1:18:01 | どの方だと小塚や大場って田口で汚染されたものが外に出ないことを評価しますよっていうふうな話があって、 |
| 1:18:09 | これ技術基準要求の際っていうのは閉じ込めの所、一斉の要件ところではなくて、最初だ閉じ込めの要求があるからっていう整理だと思つたんですけど、 |
| 1:18:20 | 閉じ込めの方でってここ改めて何か確認するんですけど。 |
| 1:18:30 | 規制庁可児薄井照井三輪もともと再処理施設は閉じ込めの要求があつて汚染されたものが外に出てこないっていう中で汚染された水だろうがなんだろうがその中の内数ですっていう形なんで、 |
| 1:18:40 | 計器の要求のところ2項の2項みたいな形で、その要求がないっていうのは認識してるんですけど、 |
| 1:18:47 | 近隣からこれからどこまで見てるかっていう整理だと思いつつなんですけど、ここのところはどこでどう、何かを説明しようとしてるのかっていうのを確認しときたいんですけど。 |
| 1:19:05 | はい。藤。 |
| 1:19:07 | 日本原燃篠崎です。 |
| 1:19:09 | 該当になるかの |
| 1:19:12 | 管理区域が通ろう予防する積 |
| 1:19:18 | なんかにつきましても、溢水評価の中で、 |

| | |
|---------|--|
| 1:19:23 | 溢水経路とか、そういったところの条件に付加して、 |
| 1:19:27 | 溢水評価を行っています。で、下の観点では、何で防護対象とかアクセスルートの関係以外にし、 |
| 1:19:39 | 建屋代表とかっていうのも、ここで見てると整理してるのか、とじ込みに飛ばしてるのかってところの確認だったんですけど。 |
| 1:19:57 | 社長も、 |
| 1:20:06 | はい。日本原燃篠崎です。管理区域外漏えいはえと閉じ込め条文化は、 |
| 1:20:14 | という理解です。はい。すみません。本当にですね、閉じ込め業務側でいいんですけど既認可とかの範囲で別に医師事細かに評価したわけでも何でもないので、 |
| 1:20:24 | それでも大丈夫テレビにはなってると思ってんですけど、今回何かしらの説明をするのかどうか含めて整理結果、閉じ込めだとか溢水の流れの中でどっかで教えてくれんのかわかんないですけど、 |
| 1:20:35 | どっかで教えていただければと思ってお願いします。 |
| 1:20:40 | はい。承知しました。 |
| 1:20:42 | 藤。 |
| 1:20:43 | はい。そういった説明を加えさせていただきます。 |
| 1:20:47 | はい、規制庁谷です。すみません一緒にお話をお願いします。 |
| 1:20:51 | はい。 |
| 1:20:51 | 清町シミズです。頭の方からちょっと気になった点で、 |
| 1:20:57 | 確認したいんですけども、238 ページの後半の方ですかねアクセス通路部の1回下水の話なんですけど、 |
| 1:21:08 | これ |
| 1:21:11 | 推移はちょっとマスキングなので注意していただきたいんですけど、ここに何か原則とかついてる下、この原則って何で、どういう意図で、 |
| 1:21:21 | 書いてるんですかっていう、まず確認させてください。 |
| 1:21:27 | はい。日本原燃篠崎でございます。 |
| 1:21:30 | 滞留水原則、 |
| 1:21:34 | と、 |
| 1:21:35 | もうこの原則でございますけど、その下にですね、なお、通行に支障がないことを別途試験により評価できる場合はこれを考慮するということで、 |
| 1:21:46 | この原則の値を、 |

| | |
|---------|--|
| 1:21:48 | 超える場合は、 |
| 1:21:49 | 超える場合があっても別途試験により、評価してやるってことを評価するという可能性がありますので、原則というワードを使ってございました。 |
| 1:22:00 | はい。規制庁清水です。 |
| 1:22:03 | 実際これを超える何ですか。清の方とかはまだちょっと整理中だとは思いますが、 |
| 1:22:09 | 今やってる範囲で超えるものっていうのがあって、そこは実際、歩くのに問題がないとかそういう試験をされ、 |
| 1:22:20 | てるっていう対象があるっていうことでしょうか。 |
| 1:22:25 | 定義。 |
| 1:22:27 | はい。すみません、日本原燃篠崎です。どうぞ。 |
| 1:22:30 | b a b y ではありません。 |
| 1:22:33 | はい、規制庁シミです。わかりました。 |
| 1:22:37 | ちょっと何となく。はい。 |
| 1:22:39 | 規制庁鳥居ですけど、別途試験によりっていう試験って何か一般的な試験があるんですけど。 |
| 1:22:59 | 日本原燃の山尾でございます。これ実際プールの水を模擬してですね、落下タイペックとかですね |
| 1:23:09 | 防護具を装備した上で、その実際歩けるかという試験を行ってございます。 |
| 1:23:16 | 規制庁館です。歩けない場合なんてそうそうないような気もする、スムーズに歩けない場合も多々ある気がするけど、何が反対基準になるんですかね。 |
| 1:23:25 | 中橋から始まるけたら丸運って言われるとなんか大体の溢水大丈夫になりそうな気もするんですけど。 |
| 1:23:34 | それ判断基準としてはもうただあるだけということになります、 |
| 1:23:39 | 規制庁タジリつってなった時にまず 20センチって何の綺麗だったんだっけっていうところから説明をできるようにしていただければその二重線で持ってくるけど、そういう。 |
| 1:23:49 | すみません。補足です。 |
| 1:23:54 | 何、何か、 |
| 1:23:56 | マスキングしてるのもよくわかりませんが、 |

| | |
|---------|---|
| 1:24:00 | 設工認ですよな。 |
| 1:24:04 | な、何でこんな中途半端なことをこの段階でやってるのかよくわかんないんですが、 |
| 1:24:11 | 判断方法を明確にしないと使用前事業者検査はできないような気がするんですけど、皆さんどうやって検査するつもりなんですか。 |
| 1:24:24 | はい。すいません。日本原燃篠崎です。適切じゃない発言だったと思います。当然、試験やってるから判断基準があってやってますので、 |
| 1:24:36 | 土佐曾田です。その判断基準があるんだったら、もう決まっているはずでそれを設定しその設定根拠として説明をすればいいような気がするんですけど。 |
| 1:24:49 | なんでこういう不透明な言い方になるんですか。 |
| 1:25:12 | コサクですけど、結果として、一体何がやりたいのかっていうこと。 |
| 1:25:17 | なんですけど、二段階でやる意味はありますか。 |
| 1:25:26 | ないよ。二段階って言うてるのは、 |
| 1:25:29 | 原則、何メートル以下と言いながら、また、 |
| 1:25:33 | 試験で評価をすると。 |
| 1:25:36 | 行ってみたりということなんですけど。 |
| 1:25:51 | はい。すいません日本原燃篠崎です。 |
| 1:25:54 | ちょっと勉強で申し訳ないんですが、その原則と書いてある。 |
| 1:25:59 | この滞留水で、 |
| 1:26:02 | 受けるっていうのは、 |
| 1:26:05 | 溢水ではないんですけども、 |
| 1:26:09 | 根拠となるガイドがございまして、それを引用しているというところでございます。 |
| 1:26:13 | で、それを超えるところがあるということで、超える可能性に対しての配慮ということで、この二段階の書き方として、規制庁丹治ですけど原燃としては、今、原則っていうところに書かれてるやつじゃなくて、 |
| 1:26:26 | それよりもプラスアルファ何十センチってところまで確認しましたって結果をもって、そこを判断基準にしますっていうんだったらそっちをはなから値として書けばいいんじゃないかっていう話だと思うんですけど。 |
| 1:26:41 | とコサクです。二段階何段階で、何が元素食うで、 |

| | |
|---------|---|
| 1:26:48 | それが外れてもいい理由っていうのは、単純に支障がないと言っても、じゃあっていう感じになるんで、何らかその条件つきなんじゃないかと思うんですよ。普通、設計する。 |
| 1:26:59 | 二段階で設計するってことは、 |
| 1:27:02 | なんですけど何か説明もなしに、何となくいや試験でやるからいいんですって言われても、 |
| 1:27:08 | どういうコンセプトですかっていうのはわからないということです。先ほどガイドって言われたやつはガイドだったら何で控えちゃった。 |
| 1:27:18 | あの全般よくわかりますよね。 |
| 1:27:24 | 水井シノザキです。ご指摘を最もだと思えます。全然説明できてませんので、整理させてちゃんと説明させていただきます。 |
| 1:27:41 | はい。 |
| 1:27:42 | 規制庁志水です。ちょっと整理の方お願いします。 |
| 1:27:46 | 下の行に続いてなんですけど 238 ページの最後の方、 |
| 1:27:52 | 道路の方発電炉の方で、 |
| 1:27:55 | 二重線があるところ、リコーで発電の固有の設計上の頃考慮ですっていうことで書かれてるんですけど、ここで8年度の方で書いてるのは、 |
| 1:28:07 | 地震の時は時間的余裕があって、一番、 |
| 1:28:11 | 地下階最地下階に流れますと、 |
| 1:28:15 | そこはフォローを |
| 1:28:18 | 設置しますっていうことで書いてあるんですけど、ここのその再処理と炉との違いっていうのは、 |
| 1:28:24 | 何ですか。これちょっといろんな要素が入ってる気がするんですけどまず最初、再処理側では裁可数最地下階も含めて、ちょっと先ほどちょっと減速とかあったんですけど、 |
| 1:28:39 | 最地下階でもう |
| 1:28:42 | 20、 |
| 1:28:43 | メートル以下、 |
| 1:28:45 | いう評価結果になってるんですかね。 |
| 1:28:55 | ちょっと聞き方が悪かったのでこれ発電の鯉江の設計上の考慮っていうちょっと一つでまとめられてるんですけど、具体的にどう、どこに違いがあって、 |

| | |
|---------|--|
| 1:29:05 | 設計上に違いがあるかっていうところをちょっと説明いただければと思います。 |
| 1:29:16 | すいませんコサクです。笹川さんに聞きたいんですけど。 |
| 1:29:21 | 今日のこれこれでもあれか、紙じゃないのかもしれないですけど、 |
| 1:29:26 | これなんですかね、ちょっと私が答えていい顔があるんですけど、原燃さんの場合は、最下層にコサクです。現在やって発電所側のはい。 |
| 1:29:39 | 発電の類推で時間余裕があってっていうのって、何のこと言ってるのか私がちょっと理解できなくて、 |
| 1:29:46 | ちょっと |
| 1:29:48 | P Dは来ないんですけど、根井さんの方は、おそらく、下の方に最下層におりますと、 |
| 1:29:57 | 降りてもアクセスする必要となる区画があるんで、そこにはこれをつけるという、 |
| 1:30:04 | 設計をされてるんだと思います。 |
| 1:30:08 | 古作です。フォローって書いてるのは、発電炉の方なので、はい。 |
| 1:30:14 | はい。 |
| 1:30:15 | ないですね厳然と原燃をはっきり言っていただけるとわかりやすく助かります。はい。すいません。発電の原電さんの |
| 1:30:25 | 原電さんの方は、地下の方にアクセスが必要な区画があって、フォロー設置するというのは |
| 1:30:35 | 対策を打たれてるということです。一方、原燃さんの方は、最下層の方に、 |
| 1:30:46 | それだけ水がたまるわけではないんで、アクセスは十分問題ないということで記載はしてないということでございます。 |
| 1:30:54 | ちょっともう1回、原電さんを確認しますがそういうことで記載すると、ます。 |
| 1:31:06 | よっコサクです。 |
| 1:31:09 | 今の話で原燃は、その理解で書いたっていうことでいいんですか。 |
| 1:31:14 | それでいい。 |
| 1:31:16 | すいません日本原燃篠崎でございます。石川江藤。 |
| 1:31:21 | アクセス通路部っていうのはもう5時と設定して、決定しますよと。で、アクセス通路って何かというと先ほどありましたように、 |
| 1:31:31 | 漏えいを検知して隔離するために、 |

| | |
|---------|---|
| 1:31:35 | 池。 |
| 1:31:36 | 場所なんですけれども、 |
| 1:31:38 | 再処理では、すべて遠隔制御室への遠隔操作で、 |
| 1:31:45 | 漏えいを検知確認できることから、方針としてはそういうところがあれば、ちゃんと規格として設定しますよってなってるんですが、 |
| 1:31:55 | 実際には、 |
| 1:31:56 | だけど(3)っていう、 |
| 1:31:59 | その理由での得策決定はございません。 |
| 1:32:05 | なので道民際にですね再活動だから云々とかといった条件で、特別記載を付与するところがないというところでございます。 |
| 1:32:15 | で、その次のページですね、139ページの頭に、 |
| 1:32:20 | 全然それは言葉足らずなんですけど、必要となる操作を、 |
| 1:32:28 | そもそも制御室で、 |
| 1:32:30 | やるので、やる時には、もう運転員がそこにいますんで、アクセス性とかあんまり簡潔に、 |
| 1:32:36 | 簡潔に対応できますということを書かせていただいております。 |
| 1:32:52 | はい。 |
| 1:32:53 | 規制庁清水です。 |
| 1:32:57 | であれば、 |
| 1:33:01 | ちょっと実用炉との差っていうところは理解しました。 |
| 1:33:07 | で、ちょっとここに一斉のあの時、先ほどアルク分で問題がないことで、確認をとか言ってたんで実際性のこととかが入ってくると実際に操作、 |
| 1:33:20 | できるかとかそういうところも入ってくると思うので、その点は、 |
| 1:33:25 | 何か検討の上、また何か追加があれば説明いただきをお願いします。 |
| 1:33:34 | はい。本件、 |
| 1:33:36 | 4名でしょだけです。承知しました。 |
| 1:33:41 | 等、 |
| 1:33:42 | ここまでで規制庁側から確認他ございますでしょうか。 |
| 1:33:48 | はい。よろしければ先ほど没水の、 |
| 1:33:53 | だって、 |
| 1:33:54 | 区画内の話。 |
| 1:33:57 | 建屋内でのところまでは説明聞いたと思うのでそこまで一旦確認。 |

| | |
|---------|--|
| 1:34:02 | 進めたいと思いますが、 |
| 1:34:04 | 240 ページで先ほど床勾配の、 |
| 1:34:09 | ところは混合、補足説明資料で説明しようと思っておりますところの説明があったんですけど、その保守性とかそういうのを整理して、 |
| 1:34:19 | 今どういう整理状況かとかは説明。 |
| 1:34:22 | できますでしょうか。 |
| 1:34:31 | 日本原燃の堀内でございます。 |
| 1:34:33 | 今おっしゃっていただいた保守性という考え方につきましては今話題に上がっております実際の購買及びですねあとは |
| 1:34:44 | 生命の揺らぎ、 |
| 1:34:46 | こういったところを踏まえまして |
| 1:34:49 | 没水評価における保守性の考え方ということで一つご説明しようという形にまとめてご説明差し上げたいというふうに考えてございます。以上です。 |
| 1:35:00 | はい、規制庁角です。そうですねその整理していただきたいんですけども実際として、実用炉で最大の二倍って言うと、やってるところを、元は最大の2分の1っていう床勾配の、 |
| 1:35:13 | 設定にしてるんですけども、そこの違い。 |
| 1:35:17 | この考え方っていうか、 |
| 1:35:21 | これは、 |
| 1:35:23 | ちょっと内容的なところで、先ほど補足説明資料で示しますというのは理解したんですけど内容的なところは、 |
| 1:35:31 | 説明はできない状況っていう感じでしょうか。 |
| 1:35:49 | 日本原燃堀内でございます。 |
| 1:35:51 | 衛藤県の方でまとめさせていただいております。最大勾配の2分の1という表現につきましては、性質構内の溢水量という考え方も含めまして、より現実的なところでというご考え方をさせていただきます。 |
| 1:36:07 | ここに対する保守性というのは先ほどの繰り返しになりますが、他でか検討している保守性との兼ね合いで担保できる値であるということを補足説明資料の方で詳細に説明させていただきたいと考えております。以上です。 |
| 1:36:21 | はい。規制庁清水です。 |

| | |
|---------|---|
| 1:36:24 | ちょっとただいまの説明だと、まずその次、実用炉でここで保守的に最大の2倍ってしてるのは、その揺らぎとか、そういったところを考慮しての保守性。 |
| 1:36:36 | ていうところ。 |
| 1:36:38 | で、 |
| 1:36:41 | ていう、まだ説明。 |
| 1:36:45 | です。 |
| 1:36:47 | は、その保守性溢水、没水のその保守性の考慮っていうのは何かそのほかにもあの時、 |
| 1:36:54 | あっせん。 |
| 1:36:56 | でしたっけ水。 |
| 1:36:58 | どこの話か。 |
| 1:37:00 | 以降の滞留面積でも |
| 1:37:03 | 裕度を持ちますとか何かそういった、 |
| 1:37:08 | いろいろ保守性の考慮はあるんですけど、もう、その他のところでの保守せ、保守的にこういう設定しまして、してるところあまりぞと。 |
| 1:37:18 | 最初に差がないところ、ここでは差があるっていうところで、今の再処理だとより現実的な |
| 1:37:26 | っていう、若干そのふわっとした説明だったんですけども、 |
| 1:37:32 | より |
| 1:37:34 | 規制庁タジリです。現実的っていうのはどういう考え方をまず簡単に言ってもらっていいですか。はい、じゃあ、 |
| 1:37:43 | 規制庁たですけど、最大として何とかメートルであるっていうふうに言っていて、だけど2分の1でいいんですっていう話を今されていて、 |
| 1:37:52 | 2分の1というのが現実的なのかどうかはぱっと過密化結びつかなかったんで、そこんところを簡単に言ってもらえば、まだ話が通じるんじゃないかと思うんですけど。 |
| 1:38:08 | はい、日本原燃掘内でございます。すみませんちょっと日、簡単にですねご説明させていただきますと、床勾配で考えております範囲におきまして、当然勾配がありますので、 |
| 1:38:20 | 現実的な勾配がある範囲の資格を考えた場合にその半分の何て言いますかね三角の部分といいますか、勾配に沿って水がたまるので、現実的にどうか、 |

| | |
|---------|---|
| 1:38:31 | 実際には高さ最大高さまで見た部分の半分の水位までが、T実際に水がたまる範囲と。 |
| 1:38:39 | いうふうに考えることができるかと思います。今申し上げておりましたというかが次、最大高さの2分の1というのはこういったところを考え、かんがみまして、実態的な |
| 1:38:52 | 表現というか、評価ということで、表現をさせていただきました。以上です。 |
| 1:38:58 | 今の話は端から端までの購買っていうので、ちょうどなかなかまっすぐな直線になってたらそうですって話だと思うんですけど。 |
| 1:39:06 | 何まで担保できそうなんですってこれ。 |
| 1:39:10 | 何か床勾配って、なかなかずっとそういう角度をつけてるって話でしたっけ。 |
| 1:39:20 | 今の半分って多分、そういう意味ですよ。 |
| 1:39:29 | はい、すいません日本原燃篠崎です。マネージャおっしゃられたみたいに、片方に一様に斜めになってる。 |
| 1:39:36 | ことを前提にはモデル、今の説明しましたけれども、実態を踏まえてそれが本当に |
| 1:39:44 | そうなのかっていうところもあわせて説明する必要があると思いますので、しっかりそこ確認してお答えさせていただきます。 |
| 1:39:52 | 規制庁谷井です。すべて何でもかんでも保守的にしようであるとか、よいう言うつもりもないんですけど、ただ現実的っていうんだとするとその値を設定した根拠が欲しいところで、 |
| 1:40:04 | そこが、こういう仮定を置いたらこうなるんですよっていうので別にいいんですけど本当にそうなるのっていうところまで確認して初めて設定根拠だと思ってるので、説明できるように準備いただければと思います。 |
| 1:40:19 | 表面ほりうちSE了解いたしました。 |
| 1:40:24 | 成長シミズです。どうもは没水影響の、 |
| 1:40:29 | に対する屋内っていうのは、 |
| 1:40:33 | いうところまで確認したんですけど、ここまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 1:40:40 | 規制庁のタジリwhat先。 |
| 1:40:43 | 若干お願いします古作ですごめんなさい。 |

| | |
|---------|--|
| 1:40:47 | 今の話十分聞きとれてなかった。 |
| 1:40:50 | 手書きもするんですけど、 |
| 1:40:52 | ちょっと前には、保守的Tというのが全体として、そこが出ないように話しましたが、今の部分は保守的でも何でもなくて、 |
| 1:41:05 | 何か現実的という平均評価をしようとしてるようにも聞こえたんですね。 |
| 1:41:11 | 設計名の平均でいいわけではなくてやはりその厳しいところを確実に |
| 1:41:20 | 評価ができるようにということではあるので、 |
| 1:41:25 | 実際にはこう流れるはずですからとかっていうのはちょっと説明としておかしいかなと思ってます。そこら辺を、田尻が言ったんだとは思いますが、根本的な考え違いはしないようにと。 |
| 1:41:39 | ということで一応付け加えておきます。以上です。 |
| 1:41:44 | はい。どうも須崎です。宇津木お願いします。 |
| 1:41:48 | 辻同じです |
| 1:41:51 | 平均評価は平均評価しかないはずなので、 |
| 1:41:54 | それちょっとあれですんで、ちょっとすみません、少しだけ差%持たせてしまって恐縮なんですけど。 |
| 1:42:02 | 等 |
| 1:42:04 | 手をタジリツガネ評価対象部位の話どこに書いてありましたっけ、評価、機能喪失高とか、機能喪失高さは5枚239ページのところで、 |
| 1:42:13 | 機能喪失高さの認識合わせなんですけど、 |
| 1:42:16 | 今日聞き後藤とかに決まってる、電気品だったらその最下部とか水路決まったりすると思うんですけど、 |
| 1:42:23 | 今回 |
| 1:42:25 | 静的なやつは一応、改めて注意してくれたんですってやつがいたと思うんですけど。 |
| 1:42:30 | あいつらの機能とした方ってどこで設定してんでしたっけ。 |
| 1:42:40 | はいすいません日本原燃、篠崎でございます。質問の趣旨と違ったら申し訳ないです。 |
| 1:42:48 | 入口で、 |
| 1:42:49 | 説明させていただきました。 |
| 1:42:54 | 量例えば取り入れのケースですと、 |
| 1:42:57 | 区画で、あそこが一番ですねその排風機、 |

| | |
|---------|---|
| 1:43:02 | の機能喪失をさせる。 |
| 1:43:05 | 部位として一番低ければ、 |
| 1:43:08 | そこが機能喪失高さってくんだ。はい。規制庁、佐治です趣旨はですねあるでいいんですけど、そこに配管がいたとするじゃないですか。さっきは機能喪失は閉塞したらやらんですって話の絡みだったんで、 |
| 1:43:21 | その場合配管の状態が木下ガスの方は東海林木下片野かどっちでしたっけっていう質問です。 |
| 1:43:29 | あ、失礼しました日本原燃篠崎です。配管、開口部の下端を通す高さにしてます。はい。そういう状態ですんで、その方にした時なんですけど、要はそこから先の配管がどう繋がってるかで違うような気がしていて、 |
| 1:43:43 | 簡単なんだけど水入ってく中で、 |
| 1:43:47 | 何だろう、U字型とかになってたらそりゃあ駄目じゃないですか。 |
| 1:43:50 | なんでそこの先がどうなってるか含めて言わないと木下が設定できないような気もするので、そこを含めて設定してるんですよっていう説明ができるように入ってた水がどっかに滞留して計測するんだったら |
| 1:44:03 | 駄目で、入口が閉塞するかどうか判断でもないような気がするので、ごめんなさい、古作です。 |
| 1:44:10 | ごめんなさい、補足ですけど、今型にしてるから、相川が上に行こうが下に降下物的に判断できますっていう設定のような気がする際勘違いしてる方ですね。 |
| 1:44:24 | だから、それでいいですよ。 |
| 1:44:27 | そうです。そう言ったことを評価しなくても、明らかにということがいえるように型にしたってことです。勘違いしました。厳しい方にやってるってことですね。わかりました。 |
| 1:44:44 | はい。 |
| 1:44:45 | 規制庁清水です。ここまでの説明で規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 1:44:52 | 続いて衛藤没水の久我伊井。 |
| 1:44:56 | に関する評価 244 ページからですかね、そこをまだ説明原燃からの説明までだった気がするのをお願いします。 |
| 1:45:09 | はい。今日はどこまで。そうです。日本原燃塩崎です。 |
| 1:45:13 | 244 ページ。 |

| | |
|---------|--|
| 1:45:17 | 頭からになります。4ポツ1ポツ2で屋外で発生する。 |
| 1:45:22 | 溢水に関する溢水評価方法ということで説明させていただきます。 |
| 1:45:26 | こちら大きく二つございまして、 |
| 1:45:30 | (1)で防護すべき設備を内包する建屋に対して、屋外の発生を想定する水が、防護服に半ないことを評価すると。 |
| 1:45:42 | 中に建屋の中に入らないことを評価するというものと、 |
| 1:45:52 | どこだ。 |
| 1:45:54 | 246ページにございますけども、 |
| 1:45:58 | 屋外に設置される防護すべき設備に対して没水に対して、 |
| 1:46:05 | 要求される機能を損なわないことを評価するといった、二つに大別してございます。 |
| 1:46:10 | はい244ページでは、 |
| 1:46:14 | 今言いましても、 |
| 1:46:15 | 繰り返しなりますが、ポツで屋外タンク等からのということで、これ水源外にあり水源が破損した場合に、 |
| 1:46:22 | 薬水が中に入らないことを評価するということで、評価方法、 |
| 1:46:29 | こちらが |
| 1:46:32 | 先ほど説明と変わりますが屋外タンク等の破損により内包する流体の全量をです、 |
| 1:46:39 | 影響評価範囲全体に新市に広げるといった、一斉に広がったと。 |
| 1:46:46 | いう場合の推移を算出しまして、建屋の開口部高さと比較することで中に入らないといった評価をしてございます。 |
| 1:46:58 | はい。で、 |
| 1:47:00 | 245ページの中段ですね地下水による、 |
| 1:47:07 | 影響、評価方法ですけども、サブドレンの話をしてますが、地下水の方の影響評価では、サブドレンポンプの機能喪失を想定し、 |
| 1:47:19 | 排水不能となった地下水の防護すべき設備に与える影響について評価する、しているということでございます。 |
| 1:47:27 | この評価方法につきましては、 |
| 1:47:31 | 近くに対しては、地表面まで建屋水位、周辺の水位が上昇することを想定し、 |
| 1:47:42 | 中に流入することに防錆。 |
| 1:47:45 | に、 |

| | |
|---------|---|
| 1:47:46 | 説明与える影響を評価するということで、判定基準としまして、 |
| 1:47:57 | すいません等、 |
| 1:47:59 | 地下水流入による影響評価をする上で期待する範囲を境界っちゃところに、流入して、統合すべき設備が要求される機能を損なわないことを確認する。 |
| 1:48:11 | 判定に実測されます。 |
| 1:48:15 | 246 ページ中段からが、 |
| 1:48:19 | 屋外に属する防護設備に対する評価というところで、 |
| 1:48:27 | 先ほどと同じようにです建屋内流入の時と同じように、 |
| 1:48:33 | 屋外タンク等の破損で、全量をですね、 |
| 1:48:37 | 影響評価範囲に漏らしまして、 |
| 1:48:43 | その水位と、防護すべき設備の機能装置高さを比較して評価しているというところでございます。 |
| 1:48:52 | はい。で、そこの考え方につきましてはB ポツ判定基準でございます、 |
| 1:48:56 | 一つが、今言ったシンプルにスイスイ時のソース高さの比較。 |
| 1:49:04 | 8 ページのB としまして、多重性多様性を有し有して別。 |
| 1:49:11 | 特に、設置されているときに、同時に機能が損なわれないか。 |
| 1:49:15 | 重大事故対処設備につきましては位置的分散とか分散配置を考慮して重大事故対象にするために必要な機能が同時に送付することがないと、いうことを確認できることをもって、この三つの判定基準をもってマルバツ発表してございます。 |
| 1:49:30 | うん。 |
| 1:49:31 | ちょっとすみません、説明時かかってしまって申し訳ないですけど、屋外で発生する地震に対する溢水評価方法、説明以上です。 |
| 1:49:39 | はい。規制庁清水です。いつもありがとうございます。ちょっと一旦今日のヒアリングについて確認なんですけどちょっと今まだ影響評価の今没水のところまでようやくきてこの後まだ被水 |
| 1:49:52 | 蒸気影響とかいろいろあとそのあとでは対策設備についてとあと薬品とかの確認があるのでなかなかちょっと教授にすべてやるのは厳しいかなと思っ |
| 1:50:02 | なので、とりあえず今日今説明があった没水のところまでにしてちょっと以降は、早々にヒアリングがちょっと、 |

| | |
|---------|---|
| 1:50:11 | 事務的に調整させていただいてセットさせていただきたいんですけども。 |
| 1:50:15 | そんな感じでも原燃側よろしいでしょうかそれとも、どうしても教授ということであれば、検討します。 |
| 1:50:24 | はい。日本原燃塩崎でございます。今日もらった指摘も踏まえて、 |
| 1:50:30 | 準備もして参りたいと思いますので、今日ここまででして、次また4月に設置していただいた方が、我々としても幸いです。 |
| 1:50:39 | はい、わかりました。あと、没水の屋外のところでちょっと確認したいと思います。 |
| 1:50:47 | 前回のヒアリングで確認したんですけどまずここを次、口の露頭変え、大きくその構成が違ってて、違ってるとかなんか認識してて、 |
| 1:50:58 | 炉の方は、ここで影響評価でも水被水状景況として項目を挙げた後、また別項目で、屋外で発生する溢水に関する溢水評価方法ってということが、後ろの方で書かれてるんですけども原燃の方は各没水なり、 |
| 1:51:17 | 被水なり蒸気影響なりそ、その中に奥屋内屋外ってということで入れ分けて |
| 1:51:24 | 各影響評価に入れてるってところで構成が違うって認識してるのでちょっとものの方、 |
| 1:51:30 | 何も書いてない状態ではありますけど一応比較対象あるのでこれはちゃんと入れていただくってことで今後の、 |
| 1:51:38 | 修正でお願いしてます。 |
| 1:51:40 | 等で、 |
| 1:51:41 | 具体的な中身についてなんですけども、 |
| 1:51:45 | 都丸 244 ページで表、 |
| 1:51:50 | 屋外タンク等からの溢水による影響評価方法ってところで、 |
| 1:51:55 | 各、 |
| 1:51:56 | 公営の、 |
| 1:51:58 | 評価方法ですね、ほんで影響評価、再処理施設の敷地のうち、影響評価範囲において、 |
| 1:52:05 | 何とか何とか均一に広がってってということで書かれてるこの影響評価範囲ってところが、条件として重要なところになると思うんですけどここってどういう。 |

| | |
|---------|--|
| 1:52:17 | 設定されたのかっていうところを説明お願いしますちょっとなんか第1回の時に補足説明資料で説明があったところとも思うんですけども特に、 |
| 1:52:27 | 詳細を2回目以降で確認するとしていると、点で何か追加事項とか、 |
| 1:52:33 | あれば、どういう範囲を設定されたっていうところをまず説明をお願いします。 |
| 1:52:40 | 日本原燃篠崎です。すいません。これまずミスがありました。247ページご覧ください。 |
| 1:52:48 | はい。この上から4行目に、以下、影響評価範囲というふうに定義づけておりますけれども、すいません。これいろいろ閉会したときに間違ったと思いますが、 |
| 1:53:01 | これ本来244ページ初めて影響評価範囲というキーワードが出たときに設定すべきでした。申し訳ございません。 |
| 1:53:07 | で、ここに詳しくは書いていないんですが、再処理施設の敷地っていうふうに、 |
| 1:53:17 | 面積を設定しますと、 |
| 1:53:19 | 再処理施設、東側、等にずっと |
| 1:53:26 | 燃料のですね、搬入の道路とかですね。 |
| 1:53:30 | あたり、北川西側に、結構中身、 |
| 1:53:36 | メインプラントなんかね、プロセスがないようなところでも敷地広うございますので、 |
| 1:53:42 | そういったところも含めて全部敷地内に広がりますよとやってしまうと、かなりそれは違うだろうという評価になると思ってございます。 |
| 1:53:51 | そういう意味で |
| 1:53:53 | 防護すべき設備がですね、大体固まってございますので、そういったところを内包する範囲として、 |
| 1:54:03 | 評価上の面積を設定していると、それを影響評価範囲というふうにかかせていただいておりますので、 |
| 1:54:11 | どの範囲というのは、第1回申請の時は概略評価なので、まずは示しましたが、 |
| 1:54:18 | 第2回におきましてお配りの補足説明資料、 |
| 1:54:22 | 説明させていただきますので、その中で、具体的にこういう範囲を、 |

| | |
|---------|---|
| 1:54:27 | 適切に評価範囲として、面積として設定しますと、いうことを説明させていただこうと思っております。 |
| 1:54:33 | 以上です。はい。規制庁清水ですと状況を理解しました。 |
| 1:54:40 | この久我飯野、奥田担当の溢水について前回のヒアリングでもちょっと確認したんですけども、その方は |
| 1:54:48 | 藤堀全体に均一に広がる評価。 |
| 1:54:52 | あと局所的なその数的な変化を考慮した。 |
| 1:54:56 | 評価っていうのをやってましてで、前回のヒアリングでの原燃の説明だと、何か実用炉では勢いがある、 |
| 1:55:06 | 実際処理は閉店だから減ったんだからといったようなちょっとすいません私の |
| 1:55:11 | 理解がちょっと十分じゃないんですけどそういう説明があったんですけども。 |
| 1:55:15 | 先ほど澤がいた区等の具体的なその水源としてこう聞いた。 |
| 1:55:21 | 内容だとタンクだけじゃなくて地下のピットとか、冷却塔とかもあるって言うてる中で、そういう局所的な評価的とかそういうのは炉の方でやってるようなのは次。 |
| 1:55:34 | 再処理ではやっぱり不要っていう、 |
| 1:55:37 | そういうところの説明。 |
| 1:55:40 | ちょっともう少し具体的にいただけると、 |
| 1:55:44 | 思うんですけどいかがでしょうか。 |
| 1:55:48 | はい。日本原燃篠崎でございます。これも前回指摘をもらってますので屋外の溢水評価の補足説明資料の方でしっかり説明させていただくことを考えてございますが、 |
| 1:55:59 | それで場合によっては添付書類の方にも書かなきゃいけないことと認識しておりますが、 |
| 1:56:04 | ちょっと前回の説明の半分繰り返してしまいますけれども、その労働ですね、極小評価やった背景という仮説を確認しましたところ、 |
| 1:56:17 | それでタンクなんかです非常に高いところに設置されていまして、 |
| 1:56:23 | それが破損したときに、 |
| 1:56:26 | 一定の方向性共有をもって流れチェーン溢水防護対象建屋に、 |
| 1:56:33 | 当たるといったような位置関係にあるということから、跳ね返りによる瞬間的なという形の先端的な短期的な |

| | |
|---------|--|
| 1:56:43 | 高さ評価みたいのをやってるところがございます。 |
| 1:56:46 | 一方、最初におきましては、先ほど言いましたちょっと、 |
| 1:56:51 | 地下とかのお話は、 |
| 1:56:53 | もともと低いところにあるかあれなんですけど、 |
| 1:56:55 | 高いところに設置されたい水源があって、1方向に対して勢いを持って流れるといった、事象が起きませんので、 |
| 1:57:08 | 全体、敷地一般全体広がったA評価ということにとどめるといった対応としてございます。 |
| 1:57:16 | やろうと思ってございます。 |
| 1:57:18 | 以上です。規制庁の田尻です。ちょっと炉がどうだったかっていうのは記憶が定かじゃないところがあるんですけど、 |
| 1:57:26 | 高さがあればもうそれは一方向だと思うんですけど、そもそも水源がどう壊れるかの条件なんて決めないことになってて全量漏えいっていう想定をしてるので、 |
| 1:57:36 | 極端なスタッフとか座屈してそっち方向に、おっきな穴あきましたっついたらそっちの方向に水が流れる気がするんですけど、 |
| 1:57:43 | 平たんだったら一方向には水が流れないってことになるんですけど。 |
| 1:57:50 | あ、すいませんコサクです。それも含めて、 |
| 1:57:55 | 1水源と評価部位の関係性を何も言わずに単純に、 |
| 1:58:00 | 均一に広がるとかって言ってるから良くないので、 |
| 1:58:04 | そういったところも含めてちゃんと整理をして説明をする、添付書類でもちゃんと書くと、 |
| 1:58:10 | ということがまず入口だとは思いますが。 |
| 1:58:17 | はい。日本原燃篠崎されており冒頭で説明できるだけの内容ではないと思いますので、ちゃんと説明させていただきます。 |
| 1:58:30 | はい。規制庁清水です。そうです先ほど |
| 1:58:34 | 所制限溢水量の設定っていうところでも確認したんですけどもその他の溢水について結構ではちゃんと示しているところろ再処理では説明が入っ全くなかったりするのでもまずはそういう入口からの整理をお願い。 |
| 1:58:50 | します。 |
| 1:58:53 | お願いしますと言ってそれをどこで示されるのかっていうのは、補足説明資料ということなのかもしれないんですけどもちょっと |

| | |
|---------|---|
| 1:59:04 | 整理をすいませんコサクです。補足説明資料ではなくて添付で必要だと私は申し上げたつもりで、その上で、補足できちりと説明した上で |
| 1:59:16 | 添付としてはこういうふうにしたいというふうに言われればいいと思いますけども、 |
| 1:59:21 | よろしくお願いします。 |
| 1:59:24 | よろしく一面でしたでしょうか。 |
| 1:59:28 | よろしくお願いします。 |
| 1:59:30 | ちょっとなんか全般的に補足説明資料で説明するのっていうことで結構か。今のやつはまだ入口の整理からしないといけないから今そこだ形、口頭で説明してもっていうことだと思うんですけども全般的に補足で後で説明しますというところの回答が多いので、 |
| 1:59:48 | 内容、補足は後で示していただくとしても、どういう整理をしてるかっていうところは |
| 1:59:57 | 適宜ヒアリングで確認していければと思うのでよろしくお願いします。 |
| 2:00:06 | はい。 |
| 2:00:07 | はい。 |
| 2:00:08 | はい、承知しました。 |
| 2:00:09 | はい、屋外については今のところが一番大きかったので、ちょっとまだ整理するっていうことなので、 |
| 2:00:16 | とりあえずここまでで規制庁側からほか確認ございますでしょうか。 |
| 2:00:21 | 清町の丹治ですけど、圧縮と、どうぞ。ごめんなさいコサクです。 |
| 2:00:26 | 衛藤、随分前に話をするという、同じですけど、地下水について、 |
| 2:00:31 | 最初、前半で話したのは、設計方針としてっていうことで聞きましたけど、 |
| 2:00:38 | 何か、 |
| 2:00:40 | 止水措置するって言うっておきながらここでまた評価をするってなってる、 |
| 2:00:47 | 全体として結局どうなるんだったっけ。 |
| 2:01:01 | はい。今年シノザキでございます。止水処置等の対策を実施することに奥瀬 |
| 2:01:07 | 守るべき協会に入らないということの評価して、影響なしというふうに説明をしていきたいと思います。 |

| | |
|---------|--|
| 2:01:16 | ごめんなさいコサクです。だったら別にここ影響評価する必要のないような気がするんですけど。 |
| 2:01:21 | 設計の評価をすればいいです。何か構造設計の評価をすればいいだけで、 |
| 2:01:28 | 評価といっても、止水性の担保っていうのは、 |
| 2:01:33 | 結局は試験施工方法とかで担保をとるということにしかなくて、こういった数量的な評価ってできるのかなっていう気がしてですね。 |
| 2:01:45 | 他のその溢水量を見て、機能に影響しないっていうのは全然性格が違うんですけど。 |
| 2:01:53 | これは実用炉でも何かそういう。 |
| 2:01:57 | ことやってるんですか。 |
| 2:02:00 | うん。 |
| 2:02:22 | 菅野さんがちょっとまだ、 |
| 2:02:40 | 古作です逆に言うと、MOXではどうしましたっていう。 |
| 2:02:45 | のが有井、影響評価はまだやってないことだとは思うんですけど、 |
| 2:02:52 | 開口部については、十分に表面から十分な高さに設置すると、それより下は止水をするということで、 |
| 2:03:03 | 大枠説明があり、 |
| 2:03:05 | それは、 |
| 2:03:07 | その外部溢水だけでなく降水も含めて、もろもろのことを考えてというふうに整理をしてあったかと思うんですが、 |
| 2:03:18 | まずそのときに、こういう評価をするのかなあというのがちょっと疑問があったんですけど |
| 2:04:06 | 補足ですけど、 |
| 2:04:08 | あれですか、止水性が担保されるっていうことの評価を、 |
| 2:04:12 | 溢水影響評価ということではなく、 |
| 2:04:16 | 止水性の評価っていうのが、まぜこぜでここでやるってことですか。 |
| 2:04:28 | はい。すいません日本原燃篠崎です。地下水、 |
| 2:04:33 | 特有のそういったことをするつもりはございませんで、当然貫通部止水処置をやりますと、 |
| 2:04:39 | その申請みたいなのは、担保された設計しますけども、それは建屋内とか等、 |
| 2:04:47 | 環境ですとかの、 |

| | |
|---------|--|
| 2:04:49 | 市制評価と同じものでございますけどここ特有で何かという話ではございません。 |
| 2:04:57 | コサクです。そうだとすると、なんで、 |
| 2:05:00 | 影響兵庫が必要なのかっていう感じがするんですけどそのあたりがどう整理してますか。 |
| 2:05:26 | はい。日本原燃人だけでございますすいません。差説明できませんでしたと確認しました |
| 2:05:32 | 地下建屋の |
| 2:05:38 | 建屋をバウンダリーとして、そこから入ってこないよという対策を全部てれば、おっしゃる通り、もう対策で、そんな評価いらないうで終わると思うんですけども、 |
| 2:05:50 | 最初からあちこちでお話しました通り、一部です建屋ではなくて、建屋の内側にバウンダリーを設けて、 |
| 2:05:59 | そこで対策を実施するところがございます。そこについては、 |
| 2:06:06 | 積とかもあるのかなというところあります。入ってくる水の量に、水の量に対して、こういう高さの対策をとっているから、この境界で守れますみたいな話をさせていただくことになりますので、 |
| 2:06:19 | そうなると、ポスト影響評価と、 |
| 2:06:22 | 等々ですね、同様の説明をさせていただくことになると考えていました。 |
| 2:06:33 | わかりました。それは、都市建屋内の堰の高さの評価をするっていうことですか。 |
| 2:06:43 | はい。日本原燃シノザキですはい。そういうことになります。 |
| 2:06:48 | わかりましたそうするとあれです。 |
| 2:06:51 | MOXのように、開口部について十分な高さを追ってはないものが再処理にはあるっていうことですね。 |
| 2:07:00 | はい。2番目の磯崎です。おっしゃる通り |
| 2:07:03 | 屋外でも、地表面以上のところの屋外タンク等の破損については、開口高さで中に入らないというところをバウンダリーに設けますし、 |
| 2:07:13 | 地下性に関しては、一部、その中に入ってくる場所ありますので建屋の中に境界を置いて、その対策で守るといったところが出てくるということでございます。 |
| 2:07:23 | ごめんなさい、地下水、自分が混乱しまして申し訳ない。 |

| | |
|---------|---|
| 2:07:28 | 地下水が入ってくる場所があるっていうのはそれはどういうところなんですか。 |
| 2:07:42 | 耐震の一般道道が、開口として、水防護対象設備に繋がってございまして、 |
| 2:07:52 | そこについては、その一般道路には水が入るものとして、さらに閉じられない開口があるところについては、 |
| 2:08:02 | 中に入ってくるものとして、内側で守らなければいけないといった箇所がございます。 |
| 2:08:08 | はい。コサクですよくわかりました。 |
| 2:08:12 | とコサクですって、それがわかるように書いてありましたっけ。 |
| 2:08:20 | はい。すいません日本原燃篠崎です。期待できるかどうか、別の問題としまして今はすべて、 |
| 2:08:29 | とか建屋開口部と違って、 |
| 2:08:33 | 溢水、地下水の流入による影響を評価する上で期待する範囲を境界としたという、 |
| 2:08:40 | こういう表現にしかしてませんので、今みたいな話は明示的に書いていないという、 |
| 2:08:47 | 状況だと思います。 |
| 2:08:52 | わかりました。ちょっと今の話でいうと、 |
| 2:08:56 | 期待する範囲をっていうところの前の措置を踏まえてっていうので、何か全体的に措置してるかのように私が見えちゃったんで、 |
| 2:09:06 | そこら辺最初の設計の部分と含めて誤解のないように整理を進めていただければと思います。 |
| 2:09:14 | 日本原燃所だけ承知いたしました。 |
| 2:09:17 | 規制庁かです。ちょっと今のところ、気になったんですが、再処理側ではそういうものがあるとしてMOXって、 |
| 2:09:27 | は、そういうところってあるんでしょうか。 |
| 2:09:45 | 日本メディアでございます。 |
| 2:09:48 | MOXで申請したところで飛び建屋で今、篠崎が言ったような場所は最初に特有な場所でもあるのでボックスには対象がないという整理だと思ってました。以上です。 |
| 2:09:59 | はい。規制庁岡です。1回目でその辺ちょっと聞いてた都合もあって、はい。ないということで理解しました。 |

| | |
|---------|--|
| 2:10:08 | 以上です。 |
| 2:10:11 | はい。 |
| 2:10:12 | 先生をタジリるちょっと別件ですか。 |
| 2:10:14 | 1点だけ247ページの下から4行目ぐらいで括弧Bってやつで、屋外の僕すべき設備のうち水防護対象設備に関してはうんたらかんだで別区画どうこうの話書いたんですけど。 |
| 2:10:26 | これ奥歯の設備ってそんなやつとかそんな価格とかってあるんですけど。 |
| 2:10:35 | はい。日本原燃篠崎です。大変失礼しました。屋外は屋外という一つの区画しかございませんので、 |
| 2:10:42 | 比較というかそういう私は必要ございませんので、この表は全くもって適切じゃなかった。失礼しました。中修文します。 |
| 2:10:49 | はい。規制庁谷です。 |
| 2:10:51 | 多重性多様性図られてはいるとは思んですけど、何かいちいちそれに期待しているのかもなんか1回目の時冷却塔のところで水木ませんよと確認したので両方確認するだけな気もするので、 |
| 2:11:04 | 今そもそもこの9倍の話を別途書いてる線で何かいろいろコチャコチャになってる気もするので、全体まとめて書いたら綺麗になる気もするんでご検討いただければと思います。自分からは以上です。 |
| 2:11:20 | はい。 |
| 2:11:21 | 規制庁志水です。 |
| 2:11:23 | ここままで、規制庁側から確認ございますでしょうか。 |
| 2:11:32 | 延長してもいいです。ちなみに最後タジリの方からお伝えした、 |
| 2:11:38 | 屋外のところ別途書いてる急いでっていうところでした、明日、次の都築のヒアリングでは確認しようと思うんですけども、それで言うと被水とか、 |
| 2:11:49 | ところでも、その屋外の、 |
| 2:11:52 | 方、 |
| 2:11:54 | 整理がちょっとよくわからないところがあるのでそこは次回、次回っていか次の被水のところで確認しようと思ってるのでご認識。 |
| 2:12:02 | いただければと思います。 |
| 2:12:04 | ね、全体を通して、はい、お願いします。 |
| 2:12:08 | 店長側からも確認ございますでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 2:12:14 | よろしければ、とりあえずここまでで原燃側から振り返り。 |
| 2:12:19 | をお願いしますちょっと一部回答なかったところもあるのでそういったところろう都築やる時に答えるのかとかそういった点で、 |
| 2:12:28 | 振り返りの方をお願いします。 |
| 2:12:35 | はい。 |
| 2:12:36 | 日本原燃塩崎様。 |
| 2:12:40 | 切り換えさせていただきます。 |
| 2:12:44 | たくさんコメント等ございましたので、友田、紹介します。 |
| 2:12:51 | まず |
| 2:12:53 | 大きいところで、S Aとの演奏増加は、 |
| 2:12:59 | 引き続きですね整理させていただこうと思ってます。 |
| 2:13:03 | あと評価対象設備の今の再整理の件ですけれども、 |
| 2:13:11 | 整理が全部終わるまで待たず、現状として、こういう状況だと言ったのを、一条の2と補足説明資料、こちらで説明する予定ですので、 |
| 2:13:21 | こちら現場で速やかにご提示させていただこうと思います。 |
| 2:13:26 | あと全般的なところで、マスキングのがおかしいところの例ということで、可能性があるのも、そこについてはもう一度考え全部確認させていただきます。 |
| 2:13:37 | あとは炉との比較ですね、比較になってないところこれ前回もいただいたコメントで今修繕中でございますけれども、そういったところを修正させていただきます。 |
| 2:13:46 | それでは、そもそも、添付書類3と4分けることによって、適切に比較する文章をですね、持ってこれてない、右に比較できるように、 |
| 2:14:00 | 整理できてないというところもありますんで、そういったところを共通0としてしっかり説明 |
| 2:14:06 | 市の方終了させていただきます。 |
| 2:14:14 | 応募対象の選定の件でございます。 |
| 2:14:21 | 静的機器のタイトクイそこにつきまして、 |
| 2:14:25 | 配管の |
| 2:14:29 | 今機能があるかどうかとかですね。 |
| 2:14:31 | そういった時に(2)で整理するのは、言い過ぎのところもございますので、 |

| | |
|---------|---|
| 2:14:39 | 流路構成等をちゃんと整理した上で整理をいたします。あとは全体ですね漏れなく抽出できるよといったところを説明できるようにですね、その共通 09 で整理した安全機能通知。 |
| 2:14:55 | 年度にですね、機能の潰し込みをやっていっているといったような、そういった作業やってるところを明確にさせていただきたいと思います。 |
| 2:15:04 | はい。あと作業状況としまして (4) フェイルセーフですね、これについては、今、まだ確認中の段階というところもございますので、しっかりまだやって参ります。 |
| 2:15:17 | S A 対象設備の、 |
| 2:15:21 | 選定の整理状況につきましても、 |
| 2:15:25 | このアクセスルートは言ってるんですけど、操作場所、 |
| 2:15:29 | について再整理が体系ないというところもありますので、 |
| 2:15:34 | それも並行してやっていきます。 |
| 2:15:41 | 後は溢水区画図つけてございますが、いろんな情報をいろんなところに出てきてますので、出てきますので、これ葛西側でもご指摘いただけますが、 |
| 2:15:53 | どこでどの図面で何を説明するのかといったのを整理して、同じような図がですねあっちこっちにつかないように、説明に応じて必要な図の使い分けみたいなものをしっかりやって参りたいと思います。 |
| 2:16:10 | 1 線の、 |
| 2:16:15 | 設定ですねどれが 1 水源除外の対象にしているのかみたいなのところの、 |
| 2:16:23 | 見える化というか、 |
| 2:16:26 | それ、何がどうできるかといったところについてですね。 |
| 2:16:29 | これは補足の方で示していこうというふうに考えてございますが、 |
| 2:16:36 | その示し方についてはちょっとどのようにやっていくかってのは考えた上で、相談をさせていただきたいと思っています。 |
| 2:16:46 | あと蒸気影響評価のところでもただし書きがございまして、 |
| 2:16:52 | 安全率を掛けているといったところですね、こちら、 |
| 2:16:57 | その理由について、 |
| 2:16:59 | 最初、 |
| 2:17:00 | でやってない人すぐ説明できませんでしたのでここはしっかり確認して説明できるようにして参ります。 |

| | |
|---------|--|
| 2:17:13 | あとは、 |
| 2:17:19 | 自主検査これも先ほど1週間、BCクラスの1元から除外する対策につきましては、 |
| 2:17:30 | ここを評価して、どこを補強してるかといったところの同定ができないと、下地検査考えますと、 |
| 2:17:39 | そこは必要だということでここは定義が必要ということ、ご指摘いただきました。 |
| 2:17:48 | 消火水。 |
| 2:17:52 | はい。消火水で |
| 2:17:57 | 備考でですね。 |
| 2:17:59 | 外の |
| 2:18:01 | 違いを説明してるところがございましたけど、この説明も、 |
| 2:18:06 | 適切ありませんでし何かわからないところありましたのでそこについてはしっかりと書かせていただきます。 |
| 2:18:21 | エスエーがですね、デービーの1.0S sとSAの1.2S sの整理につきまして、 |
| 2:18:28 | 今日 |
| 2:18:30 | 我々、私いろいろ混乱する話をさせていただき、さしてしまいました |
| 2:18:35 | が、 |
| 2:18:35 | そこについてはちゃんと整理して参ります。 |
| 2:18:45 | あとプールのスロッシング化ですね。 |
| 2:18:49 | ええ。 |
| 2:18:51 | 補足で説明するよと言いましたけれども、 |
| 2:18:55 | ふたの取り外しを含めて、どういう評価をやって、いつまでにどういう結果が出るのかというところもですね、 |
| 2:19:05 | 早々に情報をまとめて、勉強差し上げたいと思います。 |
| 2:19:13 | あとは |
| 2:19:17 | 屋外の漏えいところですね。 |
| 2:19:21 | 冷却と、設備リストにない冷却というキーワードを使ってしまいましたけれども、 |
| 2:19:28 | そういった設備リストに記載のない設備に対する、申請上の整理っていうのはしっかり |

| | |
|---------|---|
| 2:19:35 | 前提として与えた上で、表現とかですね説明をさして参りたいと思います。 |
| 2:19:42 | あとは、自然現象に想定されるもの、こちらについては、今日方針はお答えしましたけども、 |
| 2:19:50 | しっかり添付書類の方に反映して参ります。 |
| 2:19:57 | 塀を、すいません次C A Q評価の経路のところでございますが、 |
| 2:20:02 | こちら全体的にただし書きが会社についているところ、 |
| 2:20:09 | ついてないところがあったりとかですね。 |
| 2:20:12 | そどこにただし書きが |
| 2:20:16 | 適用されるのかとか、 |
| 2:20:18 | 或いは、各崖錐の天井面開口部の |
| 2:20:23 | 滞留分の流出を、 |
| 2:20:25 | 考慮しないみたいなところで記載がですね。 |
| 2:20:28 | 不明なところがあるといったご指摘もいただきました。あとは、大きいところでハッチですね、水密ハッチと止水ハッチとかあの辺の話で、 |
| 2:20:40 | 設計要件を考えて、どういう違いがあってどう使うのかといったところは、整理して参りたいと思います。フェーラーのところは全体的に記載を見直さしていただくことにしています。 |
| 2:20:50 | あとは没水のところで管理区域外漏えいについては、 |
| 2:20:54 | 閉じ込め上限という話はしましたけど、これについては、しっかり整理してですね、どこで何をどう説明するかというところは、別途説明させていただきます。 |
| 2:21:05 | あとアクセス通路部の滞留水についての原則ですね、ここ我々の考えも、あと試験でやるといったところの判断基準とかそういったところも、全く説明できませんでしたので、 |
| 2:21:18 | これについてはしっかり整理して参ります。 |
| 2:21:22 | あと床勾配の考え方とかですね。 |
| 2:21:25 | こういったところも、 |
| 2:21:28 | 現実的な数字みたいな言い方をさせていただきましたけども、 |
| 2:21:33 | そもそもその現実的になってるのかわからないと。 |
| 2:21:38 | 設定としては |
| 2:21:40 | その平均的な話というよりは、やっぱり保守的にどこが厳しいかといったようなところを前提に、 |

| | |
|---------|---|
| 2:21:47 | 評価すると。 |
| 2:21:51 | 何でもかんでもとして期待はないけれどもしっかり根拠を示さないと、設計の説明にならないといったご指摘をいただきました。 |
| 2:21:59 | はい。あとは屋外評価内容のところにあります。 |
| 2:22:04 | 音の比較が全然できていないので、そういったところは、ちゃんと共通00でもし質疑して参りますし、違う説明できる人が入ります。 |
| 2:22:14 | あとは極種うちの一つでございますけど、局所評価ですね。 |
| 2:22:20 | 屋外タンク等の破損による没水評価の局所評価の話につきましては、 |
| 2:22:27 | 今日口頭で説明させていただきましたけど、それは当然口頭ではなくて、添付書類の説明資料でしっかり書くべきだということで、 |
| 2:22:36 | これについては、方針まとめてしっかり説明させていただきます。 |
| 2:22:42 | あとは地下水の評価のところですね、今日説明したような文章になってなくて、わかりづらいし、誤解を招くような表現がいっぱいということで、ここは修正させていただきます。 |
| 2:22:55 | はい。 |
| 2:22:59 | 代表例としてすいません付けはあるかもしれませんが、すべてホールでしっかりコメント拾って参りますので、対応させていただきます。 |
| 2:23:10 | 以上です。 |
| 2:23:12 | はい。 |
| 2:23:12 | 規制庁押見です。 |
| 2:23:14 | ありがとうございます。ちょっと都築山田のヒアリング設定させていただきたいと思ってるのでちょっと |
| 2:23:21 | 一通りあった後に、進め方っていうところも確認したいと思ってます。ヒアリングの場で今資料には書いてないけどこういう考え方にします。 |
| 2:23:31 | 実際こういうふうを書くつもりですっていう説明があった内容とあと |
| 2:23:36 | 実際何でこういう書き方してるのかっていうのが回答今できなかったものとあとまた整理。 |
| 2:23:42 | 中ですっていうものとかいろいろあった後整理終わってるけど補足説明資料で詳細示しますとかいうものもいろいろあったと思うのでちょっと今後の進め方っていうのは、 |
| 2:23:53 | また次のヒアリングの続きのヒアリングの最後に確認しようと思うのでよろしくお願いします。 |

| | |
|---------|--------------------------------|
| 2:24:00 | はい。全体を通して規制庁側から他、確認ございますでしょうか。 |
| 2:24:08 | 図面側特によろしいでしょうか。 |
| 2:24:12 | はい。大丈夫です。次回に向けて調整させてください。はい。 |
| 2:24:16 | 連絡します。 |
| 2:24:18 | これでヒアリングを終了したいと思いますので録音を軽視し、 |